

平成27年度

# 市民意識調査報告書



蕨市マスコットキャラクター「ワラビー」

蕨 市

# 目次

---

## 調査の概要

1 目的	1
2 調査内容	1
3 調査方法	1
4 回収結果	1

## 調査の結果

### 【まちへの愛着】

問1 「自分のまち」としての愛着	2
問2 愛着を感じている理由	4

### 【永住意識】

問3 永住意識	6
問4 住みたいと思う理由	8
問5 住みたいと思わない理由	12

### 【まちづくり】

#### <防災について>

問6 防災への備え	16
問7 災害発生時の情報取得	18

#### <自転車における交通安全について>

問8 自転車の安全利用	19
問9 ヘルメット未着用・保険未加入の理由	19

#### <子育てについて>

問10 子育てのしやすさ	20
問11 子育てしやすいまちづくりのために大切なこと	22

#### <高齢期に大切なことについて>

問12 高齢期に大切なこと	24
問13 高齢期を生き生きと過ごすために大切な環境	26

#### <まちなにぎわいについて>

問14 商店街・大型店の利用頻度	28
問15 商店街への要望	30

#### <健康づくり、運動・スポーツについて>

問16 健康に対する意識	32
--------------	----

問 17	運動・スポーツの頻度	33
問 18	運動・スポーツの種類	35
<b>&lt;ごみの減量化について&gt;</b>		
問 19	ごみの減量やリサイクルへの関心	37
問 20	ごみを減らすための取り組み	38
<b>&lt;市民活動について&gt;</b>		
問 21	地域等での活動（現在の状況、今後の意向）	39
問 22	地域等での活動の参加促進に必要なこと	41
<b>&lt;市民参加について&gt;</b>		
問 23	市政の計画づくりやまちづくりへの参加意向	43
<b>&lt;協働のまちづくりについて&gt;</b>		
問 24	協働のまちづくりを進めるための行政の取り組み	45
問 25	協働のまちづくりを進めるための市民の取り組み	46
問 26	市の情報の取得方法	47
<b>【今後の公共施設のあり方などについて】</b>		
問 27	全国的な公共施設等更新問題に対する認識	48
問 28	蕨市の公共施設等更新問題に対する認識	48
問 29	過去1年間の公共施設等の利用状況と未利用の理由	49
問 30	公共施設等に対して感じていること	51
問 31	公共施設等に係る今後の取り組みについての意向	53
問 32	公共施設等の機能は行政・民間どちらが実施すべきか	54
問 33	公共施設等の維持・整備で重視すべきこと	55
<b>【重点施策】</b>		
問 34	重点施策（重要度・満足度）	56

## 回答者の属性

ア	地区	64
イ	性別	64
ウ	年齢層	64
エ	職業	65
オ	通勤・通学地	65
カ	住宅形態	65
キ	居住年数	66
ク	家族構成	66

# 調査の概要

## 1 目的

この調査は、まちの将来像「安心とにぎわい みんなにათათかい 日本一のコンパクトシティ蕨」の実現を目指して、市民のまちづくりに対する意見や要望、満足度などを把握し、まちづくりの理念「みんなで未来の蕨を創る」に基づき、市民と行政が一体となったまちづくりを推進していく上で必要となる基礎資料を得ることを目的とする。

## 2 調査内容

- 1) まちへの愛着
- 2) 永住意識
- 3) まちづくり
  - (ア) 防災について
  - (イ) 自転車における交通安全について
  - (ウ) 子育てについて
  - (エ) 高齢期に大切なことについて
  - (オ) まちのにぎわいについて
  - (カ) 健康づくり、運動・スポーツについて
  - (キ) ごみの減量化について
  - (ク) 市民活動について
  - (ケ) 市民参加について
  - (コ) 協働のまちづくりについて
- 4) 今後の公共施設のあり方などについて
- 5) 重点施策

## 3 調査方法

- 1) 調査期間 平成27年8月4日から8月31日まで
- 2) 調査対象 市内在住の20歳以上の男女
- 3) 対象者数 2,000人
- 4) 抽出方法 住民基本台帳から各地区の年齢層別の人口比率に基づき、男女別に無作為抽出。
- 5) 調査方法 行政連絡員による送付、郵便による回答

## 4 回収結果

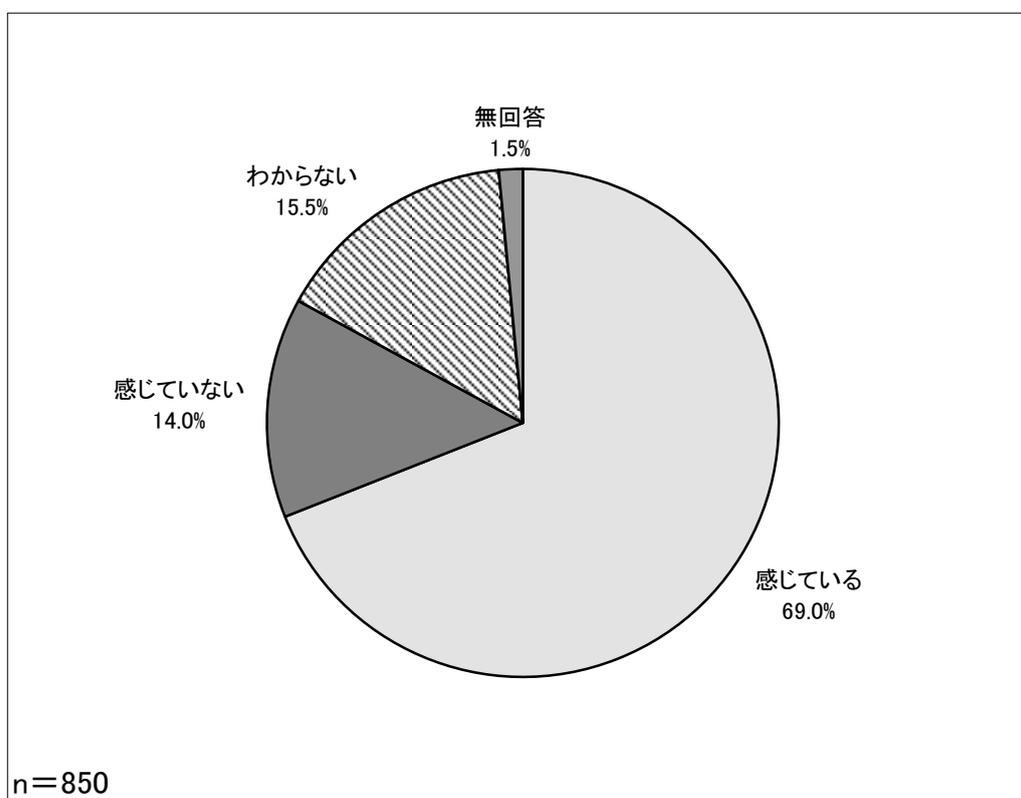
対象者2,000人に対し、850人から回答があり、回収率は42.5%。

## 調査の結果

### 【まちへの愛着】

問1 あなたは、蕨市に「自分のまち」としての愛着を感じていますか。(○印は1つ)

回答対象者:850人	件数	割合	順位
感じている	586	69.0%	1
感じていない	119	14.0%	3
わからない	132	15.5%	2
無回答	13	1.5%	



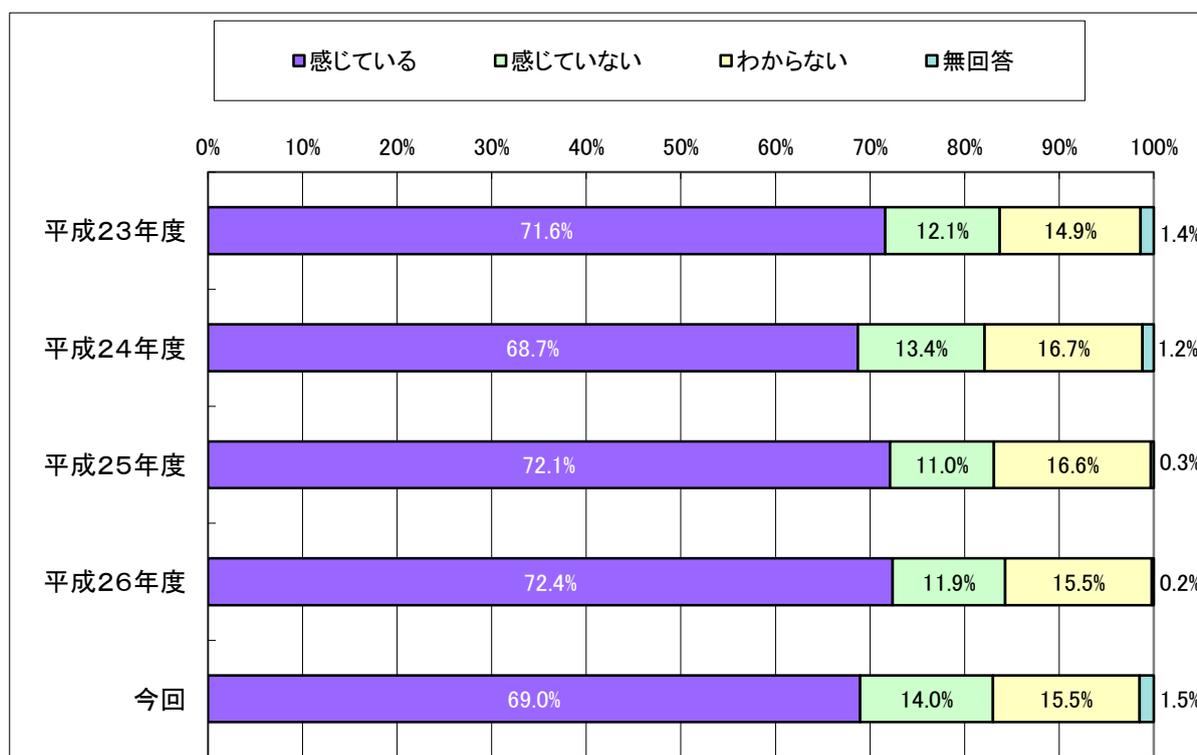
蕨市に自分のまちとしての愛着を感じている人は69.0%で、約7割の結果となっています。

一方、「感じていない」は14.0%、「わからない」は15.5%となっています。

## <経年変化>

平成23年度からの推移を見ると、「感じている」の割合は、変動はあるものの、近年は70%前後で推移しています。

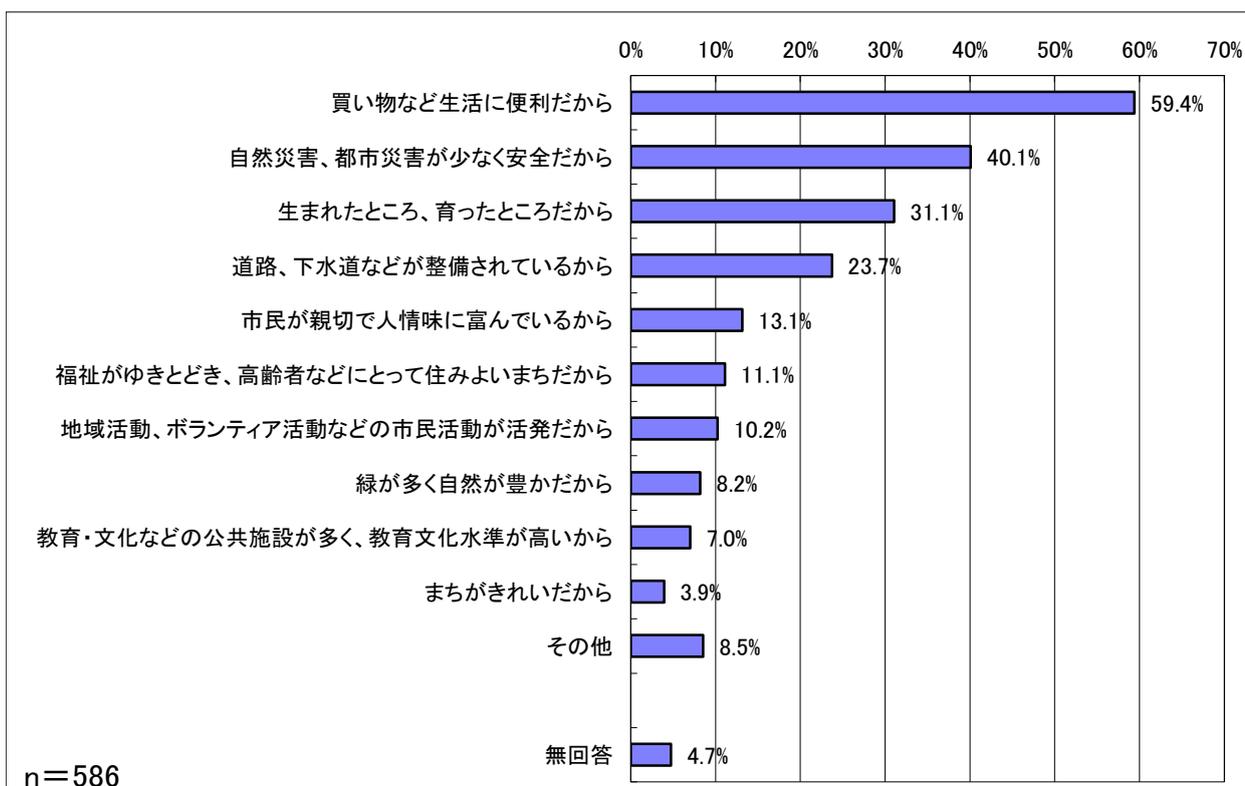
### ●まちへの愛着(平成23年度からの推移)



問1で「感じている」と答えた人のみ回答

**問2 愛着を感じている理由はなんですか。(○印は3つ以内)**

回答対象者: 586人	件数	割合	順位
買い物など生活に便利だから	348	59.4%	1
自然災害、都市災害が少なく安全だから	235	40.1%	2
生まれたところ、育ったところだから	182	31.1%	3
道路、下水道などが整備されているから	139	23.7%	4
市民が親切で人情味に富んでいるから	77	13.1%	5
福祉がゆきとどき、高齢者などにとって住みよいまちだから	65	11.1%	6
地域活動、ボランティア活動などの市民活動が活発だから	60	10.2%	7
緑が多く自然が豊かだから	48	8.2%	8
教育・文化などの公共施設が多く、教育文化水準が高いから	41	7.0%	9
まちがきれいだから	23	3.9%	10
その他	50	8.5%	—
無回答	15	4.7%	



蔵市に自分のまちとしての愛着を感じていると答えた人に、その理由をたずねたところ、1位は「買い物など生活に便利だから」が59.4%、以下、「自然災害、都市災害が少なく安全だから」が40.1%、「生まれたところ、育ったところだから」が31.1%、「道路、下水道などが整備されているから」が23.7%と続いています。

## <経年変化>

平成23年度からの推移を見ると、上位の項目の構成に大きな変化はありませんが、前回大きく増加した「買い物など生活に便利だから」が64.4%から59.4%に減少しています。また、「市民が親切で人情味に富んでいるから」が10.7%から13.1%に増加し、順位も一つ上げて5位となっております。

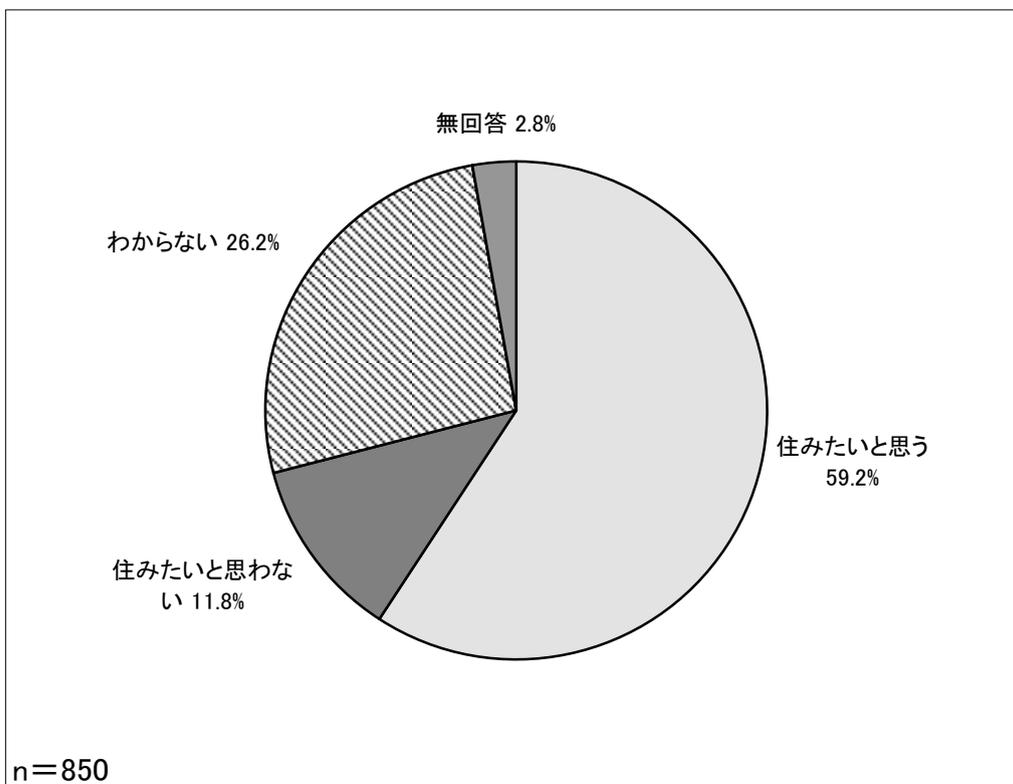
### ●愛着を感じている理由上位5位(平成23年度からの推移)

	1位	2位	3位	4位	5位
平成23年度	買い物など生活に便利だから 59.6%	自然災害、都市災害が少なく安全だから 35.1%	生まれたところ、育ったところだから 30.8%	道路、上下水道などが整備されているから 20.9%	緑が多く自然が豊かだから 13.2%
平成24年度	買い物など生活に便利だから 48.6%	自然災害、都市災害が少なく安全だから 41.5%	生まれたところ、育ったところだから 33.0%	道路、上下水道などが整備されているから 24.0%	市民が親切で人情味に富んでいるから 14.1%
平成25年度	買い物など生活に便利だから 52.0%	自然災害、都市災害が少なく安全だから 35.5%	道路、下水道などが整備されているから 23.8%	生まれたところ、育ったところだから 23.4%	市民が親切で人情味に富んでいるから 16.8%
平成26年度	買い物など生活に便利だから 64.4%	自然災害、都市災害が少なく安全だから 43.2%	生まれたところ、育ったところだから 30.9%	道路、下水道などが整備されているから 21.1%	緑が多く自然が豊かだから 11.7%
今回	買い物など生活に便利だから 59.4%	自然災害、都市災害が少なく安全だから 40.1%	生まれたところ、育ったところだから 31.1%	道路、下水道などが整備されているから 23.7%	市民が親切で人情味に富んでいるから 13.1%

## 【永住意識】

問3 あなたは、これからもずっと蕨市に住みたいと思いますか。(○印は1つ)

回答対象者: 850人	件数	割合	順位
住みたいと思う	503	59.2%	1
住みたいと思わない	100	11.8%	3
わからない	223	26.2%	2
無回答	24	2.8%	-

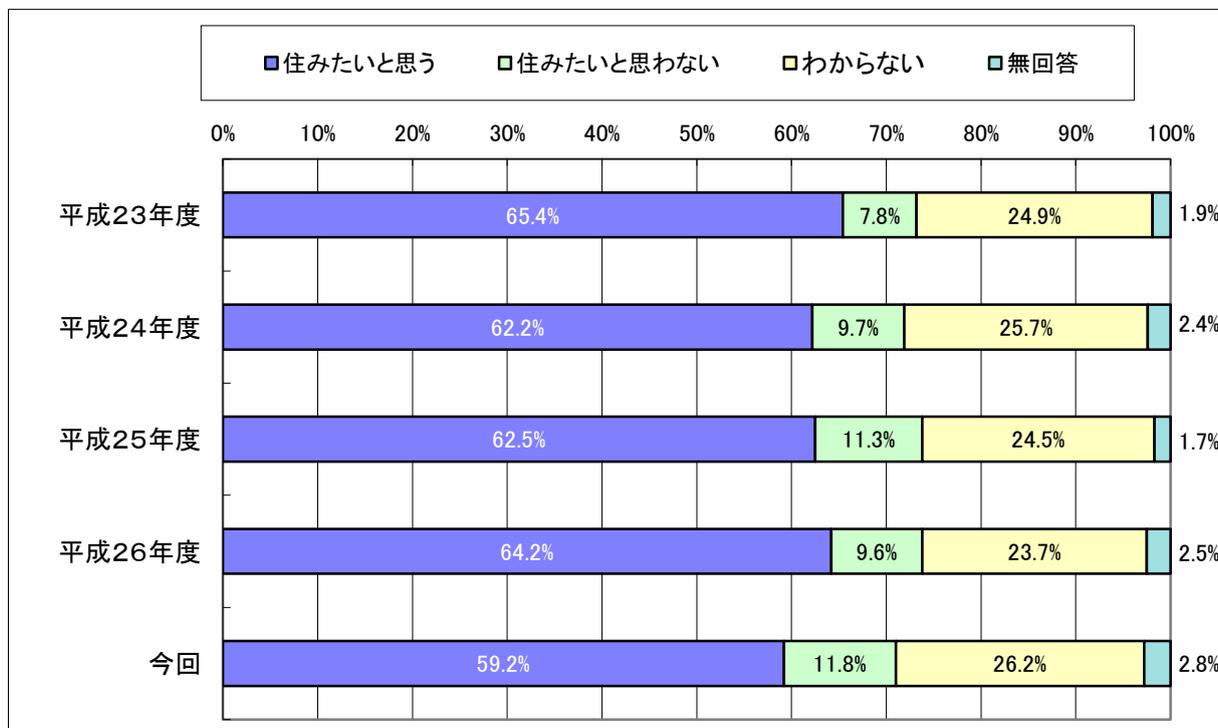


永住の意向についてたずねたところ、住みたいと思う人は59.2%、住みたいと思わない人は11.8%となっています。  
一方、26.2%の人が「わからない」と答えています。

## < 経年変化 >

平成23年度からの推移を見ると、「住みたいと思う」の割合が概ね60%前後で推移しており、大きな変化はありません。

### ●永住意識(平成23年度からの推移)

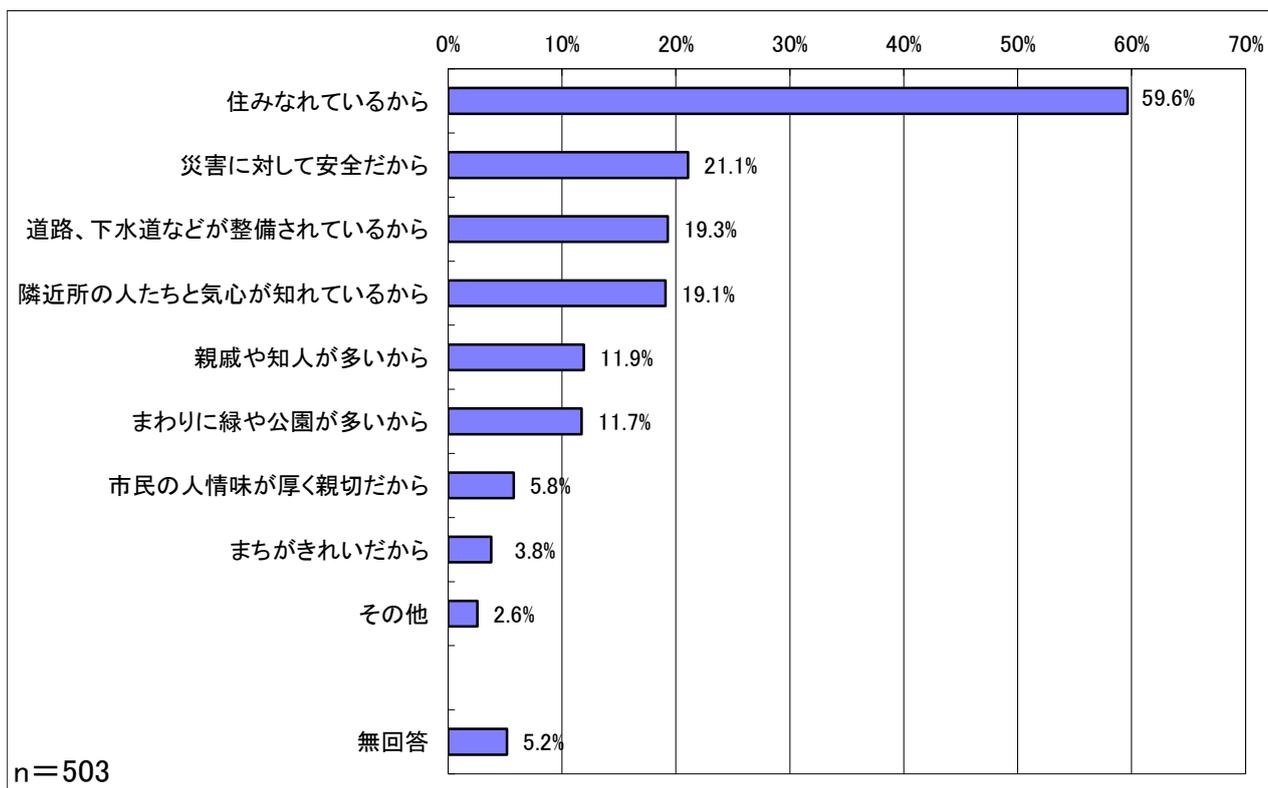


問3で「住みたいと思う」と答えた人のみ回答

問4 住みたいと思う理由はなんですか。最も近い理由を下欄の「環境上の理由」「生活上の理由」からそれぞれお選びください。(○印はそれぞれ2つ以内)

●環境上の理由

回答対象者: 503人	件数	割合	順位
住みなれているから	300	59.6%	1
災害に対して安全だから	106	21.1%	2
道路、下水道などが整備されているから	97	19.3%	3
隣近所の人たちと気心が知れているから	96	19.1%	4
親戚や知人が多いから	60	11.9%	5
まわりに緑や公園が多いから	59	11.7%	6
市民の人情味が厚く親切だから	29	5.8%	7
まちがきれいだから	19	3.8%	8
その他	13	2.6%	—
無回答	26	5.2%	



今後も蕨市に住みたいと答えた人に、その理由をたずねたところ、環境上の理由としては、「住みなれているから」が59.6%で最も多く、次いで「災害に対して安全だから」が21.1%、「道路、下水道などが整備されているから」が19.3%と続いています。

## <経年変化>

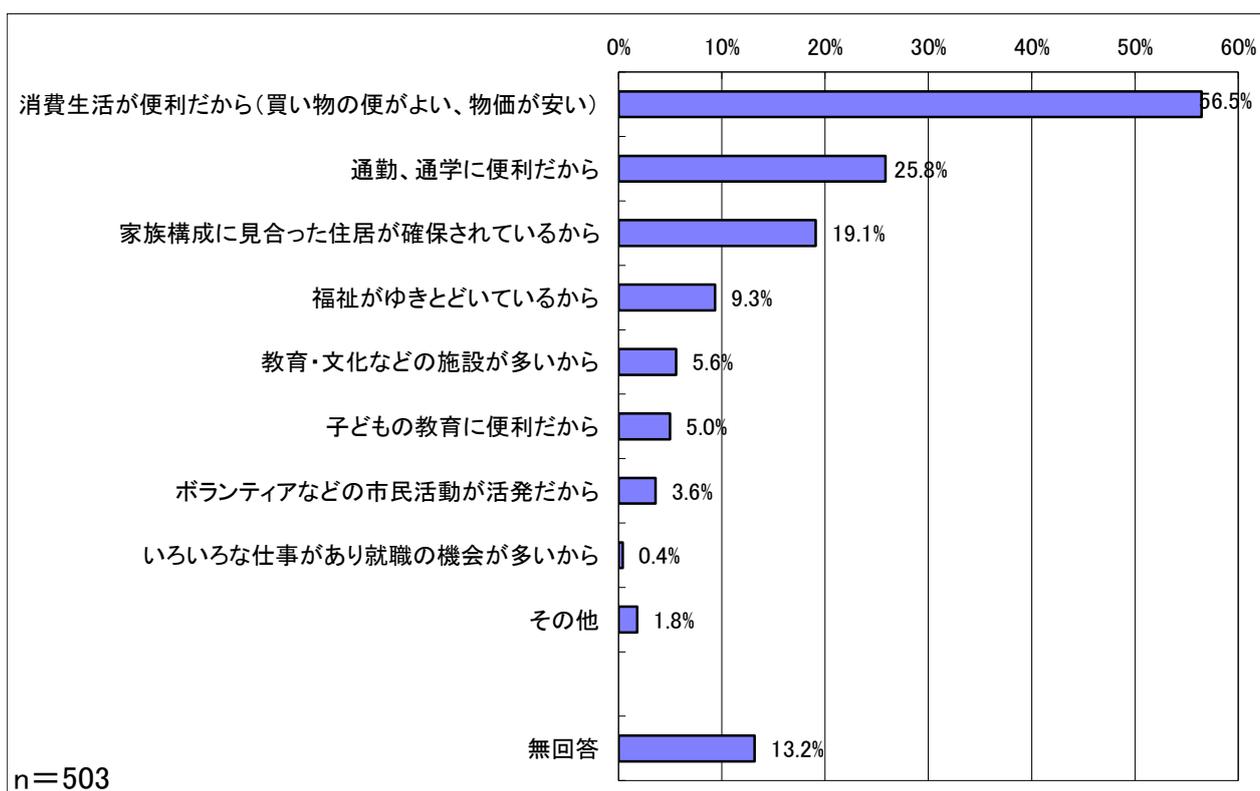
平成23年度からの推移を見ると、上位の項目の構成に大きな変化はありませんが、「隣近所の人たちと気心が知れているから」が12.5%から19.1%に増加し、順位も二つ上げて4位となっています。

### ●住みたいと思う環境上の理由 上位5位(平成23年度からの推移)

	1位	2位	3位	4位	5位
平成23年度	住みなれているから 60.9%	道路、下水道などが整備されているから 21.4%	災害に対して安全だから 20.3%	隣近所の人たちと気心が知れているから 19.6%	親戚や知人が多いから 15.9%
平成24年度	住みなれているから 62.0%	道路、下水道などが整備されているから 23.4%	災害に対して安全だから 19.1%	隣近所の人たちと気心が知れているから 18.7%	まわりに緑や公園が多いから 15.4%
平成25年度	住みなれているから 50.9%	道路、下水道などが整備されているから 21.6%	災害に対して安全だから 19.4%	隣近所の人たちと気心が知れているから 15.8%	まわりに緑や公園が多いから 14.4%
平成26年度	住みなれているから 60.1%	災害に対して安全だから 26.7%	道路、下水道などが整備されているから 18.9%	まわりに緑や公園が多いから 14.6%	親戚や知人が多いから 13.2%
今回	住みなれているから 59.6%	災害に対して安全だから 21.1%	道路、下水道などが整備されているから 19.3%	隣近所の人たちと気心が知れているから 19.1%	親戚や知人が多いから 11.9%

●生活上の理由

回答対象者: 503人	件数	割合	順位
消費生活が便利だから(買い物の便がよい、物価が安い)	284	56.5%	1
通勤、通学に便利だから	130	25.8%	2
家族構成に見合った住居が確保されているから	96	19.1%	3
福祉がゆきとどいているから	47	9.3%	4
教育・文化などの施設が多いから	28	5.6%	5
子どもの教育に便利だから	25	5.0%	6
ボランティアなどの市民活動が活発だから	18	3.6%	7
いろいろな仕事があり就職の機会が多いから	2	0.4%	8
その他	9	1.8%	—
無回答	37	13.2%	



今後も蕨市に住みたいと答えた人に、その理由をたずねたところ、生活上の理由としては、「消費生活が便利だから」が56.5%と最も多く、次いで「通勤、通学に便利だから」が25.8%、「家族構成に見合った住居が確保されているから」が19.1%で上位となっています。

## <経年変化>

平成23年度からの推移を見ると、上位の項目の構成に大きな変化はありませんが、「通勤、通学に便利だから」が大きく減少し、43.8%から25.8%になっております。

### ●住みたいと思う生活上の理由 上位5位(平成23年度からの推移)

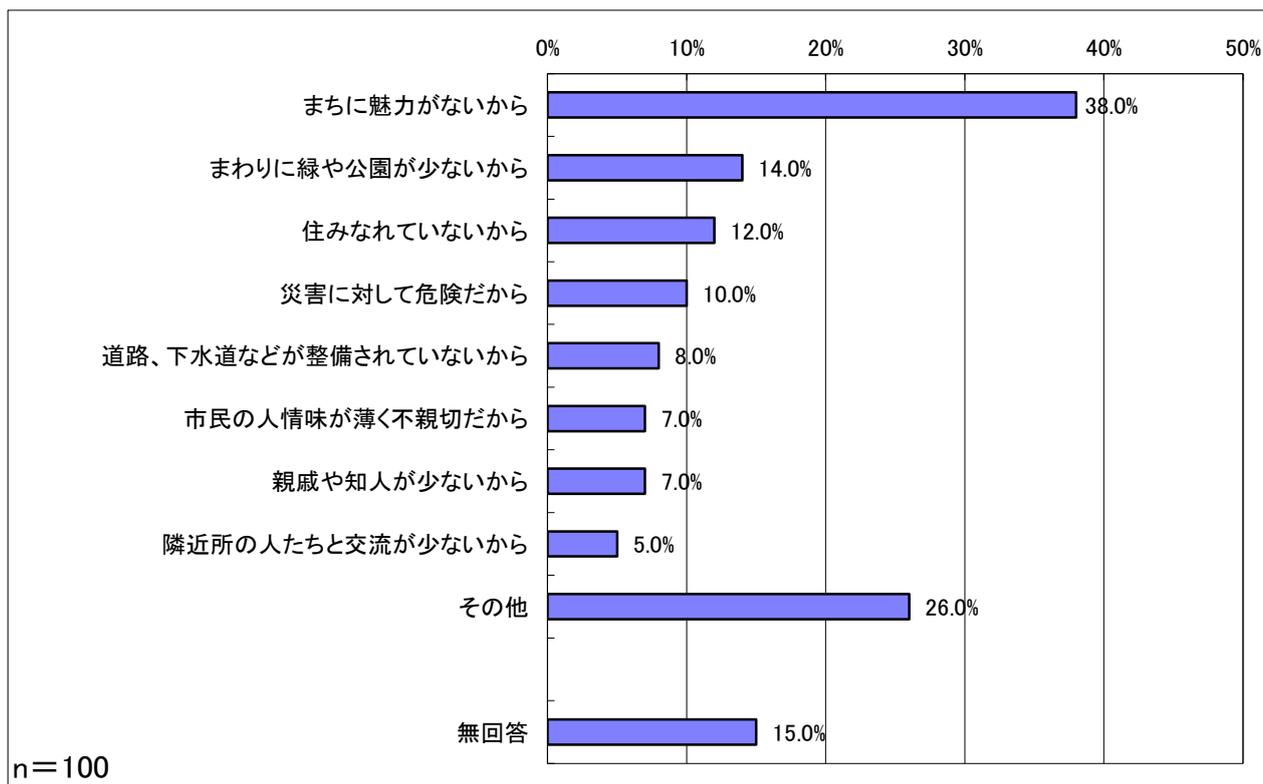
	1位	2位	3位	4位	5位
平成23年度	消費生活が便利だから(買い物の便がよい、物価が安い) 59.8%	通勤、通学に便利だから 48.6%	家族構成に見合った住居が確保されているから 25.0%	福祉がゆきとどいているから 9.1%	子どもの教育に便利だから 6.5%
平成24年度	消費生活が便利だから(買い物の便がよい、物価が安い) 57.4%	通勤、通学に便利だから 41.6%	家族構成に見合った住居が確保されているから 26.4%	福祉がゆきとどいているから 11.1%	教育・文化などの公共施設が多いから 7.2%
平成25年度	消費生活が便利だから(買い物の便がよい、物価が安い) 56.8%	通勤、通学に便利だから 37.8%	家族構成に見合った住居が確保されているから 22.1%	教育・文化などの公共施設が多いから 9.9%	福祉がゆきとどいているから 9.5%
平成26年度	消費生活が便利だから(買い物の便がよい、物価が安い) 48.8%	通勤、通学に便利だから 43.8%	家族構成に見合った住居が確保されているから 25.6%	福祉がゆきとどいているから 11.4%	子どもの教育に便利だから 7.1%
今回	消費生活が便利だから(買い物の便がよい、物価が安い) 56.5%	通勤、通学に便利だから 25.8%	家族構成に見合った住居が確保されているから 19.1%	福祉がゆきとどいているから 9.3%	教育・文化などの公共施設が多いから 5.6%

問3で「住みたいと思わない」と答えた人のみ回答

問5 住みたいと思わない理由はなんですか。最も近い理由を下欄の「環境上の理由」「生活上の理由」からそれぞれお選びください。(○印はそれぞれ2つ以内)

●環境上の理由

回答対象者: 100人	件数	割合	順位
まちに魅力がないから	38	38.0%	1
まわりに緑や公園が少ないから	14	14.0%	2
住みなれていないから	12	12.0%	3
災害に対して危険だから	10	10.0%	4
道路、下水道などが整備されていないから	8	8.0%	5
市民の人情味が薄く不親切だから	7	7.0%	6
親戚や知人が少ないから	7	7.0%	6
隣近所の人たちと交流が少ないから	5	5.0%	8
その他	26	26.0%	—
無回答	15	15.0%	



蕨市に住みたいと思わないと答えた人に対し、その理由をたずねたところ、環境上の理由としては、「まちに魅力がないから」が38.0%と最も多く、次いで「まわりに緑や公園が少ないから」が14.0%、「住みなれていないから」が12.0%と続いています。

## <経年変化>

平成23年度からの推移を見ると、上位の項目の構成に大きな変化はありませんが、「まちに魅力がないから」が大きく減少しています。

※母数が少ないことを考慮する必要があります。

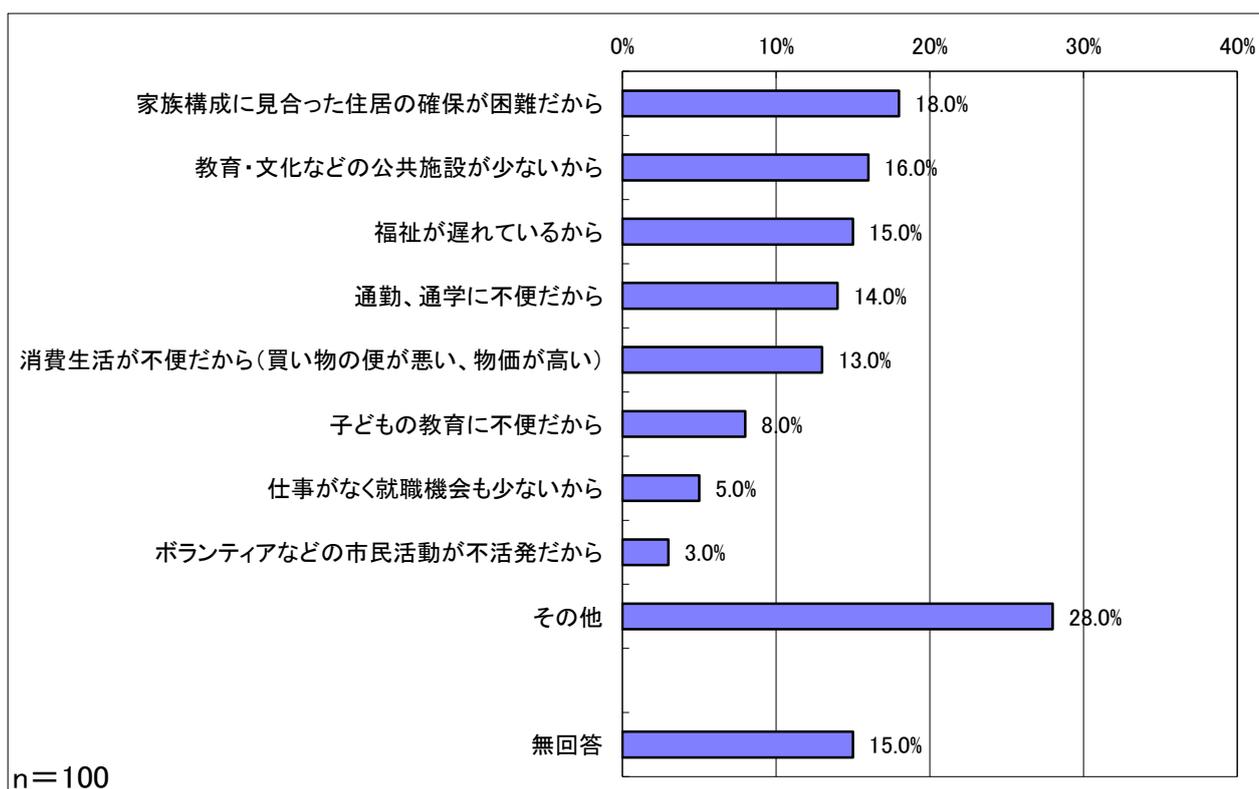
### ●住みたいと思わない環境上の理由 上位5位(平成23年度からの推移)

	1位	2位	3位	4位	5位
平成23年度	まちに魅力がないから 57.6%	住みなれていないから 21.2%	親戚や知人が少ないから 15.2%	隣近所の人たちと交流が少ないから 9.1%	まわりに緑や公園が少ないから/道路、下水道などが整備されていないから/災害に対して危険だから 6.1%
平成24年度	まちに魅力がないから 55.8%	道路、下水道などが整備されていないから まわりに緑や公園が少ないから 12.6%	市民の人情味が薄く不親切だから 親戚や知人が少ないから 11.6%		
平成25年度	まちに魅力がないから 52.5%	災害に対して危険だから 20.0%	まわりに緑や公園が少ないから 17.5%	市民の人情味が薄く不親切だから 15.0%	親戚や知人が少ないから/隣近所の人たちと交流が少ないから 10.0%
平成26年度	まちに魅力がないから 57.1%	親戚や知人が少ないから まわりに緑や公園が少ないから 住みなれていないから 11.9%			隣近所の人たちと交流が少ないから 9.5%
今回	まちに魅力がないから 38.0%	まわりに緑や公園が少ないから 14.0%	住みなれていないから 12.0%	災害に対して危険だから 10.0%	道路、下水道などが整備されていないから 8.0%

※「その他」は除く

●生活上の理由

回答対象者: 100人	件数	割合	順位
家族構成に見合った住居の確保が困難だから	18	18.0%	1
教育・文化などの公共施設が少ないから	16	16.0%	2
福祉が遅れているから	15	15.0%	3
通勤、通学に不便だから	14	14.0%	4
消費生活が不便だから(買い物の便が悪い、物価が高い)	13	13.0%	5
子どもの教育に不便だから	8	8.0%	6
仕事がなく就職機会も少ないから	5	5.0%	7
ボランティアなどの市民活動が不活発だから	3	3.0%	8
その他	28	28.0%	—
無回答	15	15.0%	



歳市に住みたいと思わないと答えた人に対し、その理由をたずねたところ、生活上の理由としては、「家族構成に見合った住居の確保が困難だから」が18.0%で最も多く、次いで「教育・文化などの公共施設が少ないから」が16.0%、「福祉が遅れているから」が15.0%と続いています。

## <経年変化>

平成23年度からの推移を見ると、「家族構成に見合った住居の確保が困難だから」が18.0%で1位となっています。

※母数が少ないことを考慮する必要があります。

### ●住みたいと思わない生活上の理由 上位5位(平成23年度からの推移)

	1位	2位	3位	4位	5位
平成23年度	消費生活が不便だから(買い物の便が悪い、物価が高い) 24.2%	福祉が遅れているから 21.2%	教育・文化などの公共施設が少ないから 家族構成に見合った住居の確保が困難だから 18.2%		仕事がなく就職機会も少ないから 15.2%
平成24年度	教育・文化などの公共施設が少ないから 24.2%	消費生活が不便だから(買い物の便が悪い、物価が高い) 20.0%	家族構成に見合った住居の確保が困難だから 通勤、通学に不便だから 18.9%		福祉が遅れているから 14.7%
平成25年度	消費生活が不便だから(買い物の便が悪い、物価が高い) 27.5%	教育・文化などの公共施設が少ないから 25.0%	子どもの教育に不便だから 17.5%	家族構成に見合った住居の確保が困難だから 12.5%	通勤、通学に不便だから 10.0%
平成26年度	福祉が遅れているから 21.4%	通勤、通学に不便だから 16.7%	教育・文化などの公共施設が少ないから 11.9%	消費生活が不便だから(買い物の便が悪い、物価が高い) 9.5%	子どもの教育に不便だから/家族構成に見合った住居の確保が困難だから/仕事がなく就職機会も少ないから 7.1%
今回	家族構成に見合った住居の確保が困難だから 18.0%	教育・文化などの公共施設が少ないから 16.0%	福祉が遅れているから 15.0%	通勤、通学に不便だから 14.0%	消費生活が不便だから(買い物の便が悪い、物価が高い) 13.0%

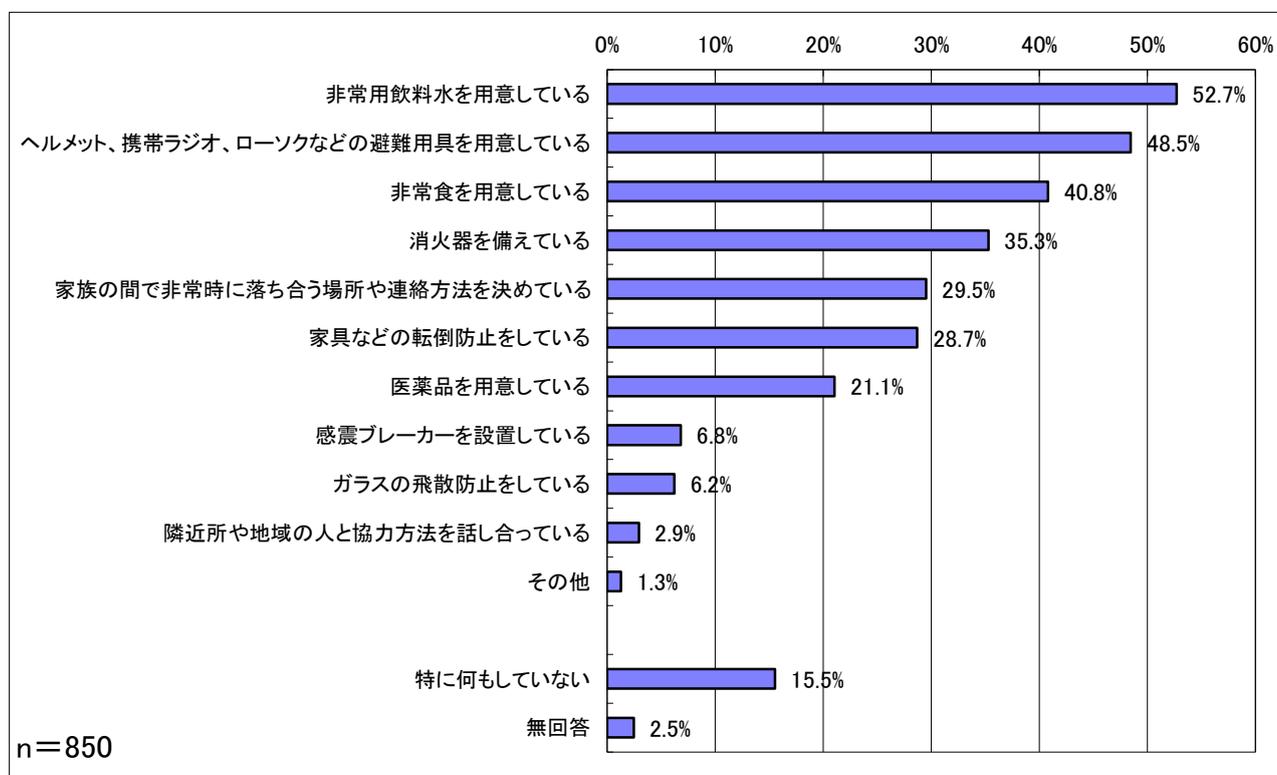
※「その他」は除く

## 【まちづくり】

### <防災について>

問6 あなたの家では、地震などの災害に備えて何か準備をしていますか。  
(○印はいくつでも)

回答対象者: 850人	件数	割合	順位
非常用飲料水を用意している	448	52.7%	1
ヘルメット、携帯ラジオ、ローソクなどの避難用具を用意している	412	48.5%	2
非常食を用意している	347	40.8%	3
消火器を備えている	300	35.3%	4
家族の間で非常時に落ち合う場所や連絡方法を決めている	251	29.5%	5
家具などの転倒防止をしている	244	28.7%	6
医薬品を用意している	179	21.1%	7
感震ブレーカーを設置している	58	6.8%	8
ガラスの飛散防止をしている	53	6.2%	9
隣近所や地域の人と協力方法を話し合っている	25	2.9%	10
その他	11	1.3%	—
特に何もしていない	132	15.5%	
無回答	21	2.5%	



災害への備えについてたずねたところ、「非常用飲料水を用意している」が52.7%で最も多く、次いで「ヘルメット、携帯ラジオ、ローソクなどの避難用具を用意している」が48.5%、「非常食を用意している」が40.8%となっており、物品の備えに関するものが上位になりました。

また、およそ80%の人が何らかの災害に対する備えをしていると回答しています。

## <経年変化>

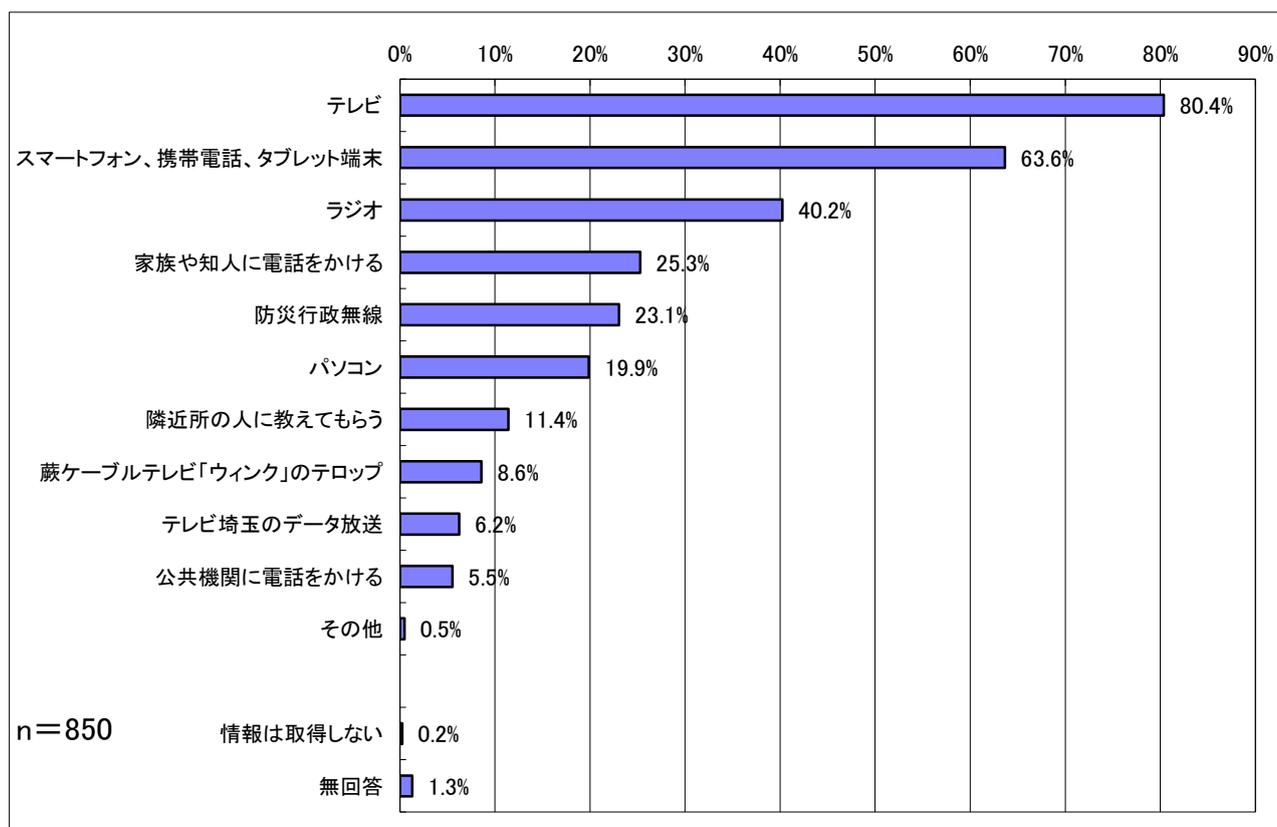
平成23年度からの推移を見ると、「非常用飲料水を用意している」、「ヘルメット、携帯ラジオ、ローソクなどの避難用具を用意している」、「非常食を用意している」といった震災対策に関する項目が上位となっています。これは、平成23年3月11日に発生した東日本大震災の影響が考えられ、その傾向は変わりません。

### ●災害に備えて準備していること 上位5位(平成23年度からの推移)

	1位	2位	3位	4位	5位
平成23年度	ヘルメット、携帯ラジオ、ローソクなどの避難用具を用意している 60.9%	非常用飲料水を用意している 53.1%	非常食を用意している 40.8%	消火器を備えている 40.3%	家具などの転倒防止をしている 35.8%
平成24年度	非常用飲料水を用意している 54.2%	ヘルメット、携帯ラジオ、ローソクなどの避難用具を用意している 52.1%	非常食を用意している 41.1%	消火器を備えている 37.3%	家具などの転倒防止をしている 36.0%
平成25年度	非常用飲料水を用意している 53.5%	ヘルメット、携帯ラジオ、ローソクなどの避難用具を用意している 50.1%	非常食を用意している 40.8%	家具などの転倒防止をしている 39.4%	消火器を備えている 34.6%
平成26年度	非常用飲料水を用意している 52.5%	ヘルメット、携帯ラジオ、ローソクなどの避難用具を用意している 50.9%	非常食を用意している 44.3%	家具などの転倒防止をしている 34.7%	消火器を備えている 33.1%
今回	非常用飲料水を用意している 52.7%	ヘルメット、携帯ラジオ、ローソクなどの避難用具を用意している 48.5%	非常食を用意している 40.8%	消火器を備えている 35.3%	家族の間で落ち合う場所や連絡方法を決めている 29.5%

問7 あなたは災害が発生した場合、どのような方法で情報を取得しますか。  
(○印はいくつでも)

回答対象者:850人	件数	割合	順位
テレビ	683	80.4%	1
スマートフォン、携帯電話、タブレット端末	541	63.6%	2
ラジオ	342	40.2%	3
家族や知人に電話をかける	215	25.3%	4
防災行政無線	196	23.1%	5
パソコン	169	19.9%	6
隣近所の人に教えてもらう	97	11.4%	7
蕨ケーブルテレビ「ウィンク」のテロップ	73	8.6%	8
テレビ埼玉のデータ放送	53	6.2%	9
公共機関に電話をかける	47	5.5%	10
その他	4	0.5%	—
情報は取得しない	2	0.2%	
無回答	11	1.3%	



災害が発生した場合、どのような方法で情報を取得するかたずねたところ、「テレビ」が80.4%で最も多く、次いで「スマートフォン、携帯電話、タブレット端末」が63.6%と即時性が高い方法で情報を取得していることが伺えます。

<自転車における交通安全について>

**問8** あなたと、あなたと同居のご家族における自転車の安全利用についてお伺いします。

回答対象者：850人		人数
家族の人数(あなたを含む)		2,246人
うち、自転車を利用する人数		1,609人
乗車時にヘルメットを着用する人数		83人
自転車保険に加入している人数		502人
TSマーク※付帯保険に加入している人数		438人
個人賠償責任保険の対象となる人数(自動車保険・火災保険の特約)		531人

自転車の安全利用についてたずねたところ、多くの方が自転車を利用しており、ヘルメットの着用割合は5%程度の結果となりました。

問8で「ヘルメットを未着用または保険に未加入」と答えた人のみ回答

**問9** ヘルメットを着用しない、または保険に加入しない理由はなんですか。  
(○印はいくつでも)

ヘルメットを着用しない理由(回答対象者：567人)	件数	割合	順位
そもそも意識したことがない	361	63.7%	1
重い、蒸れるなど不快、髪型が崩れる	162	28.6%	2
交通ルールを守っているため不要	109	19.2%	3
見た目が悪い	85	15.0%	4
値段が高い	42	7.4%	5
その他	41	7.2%	—

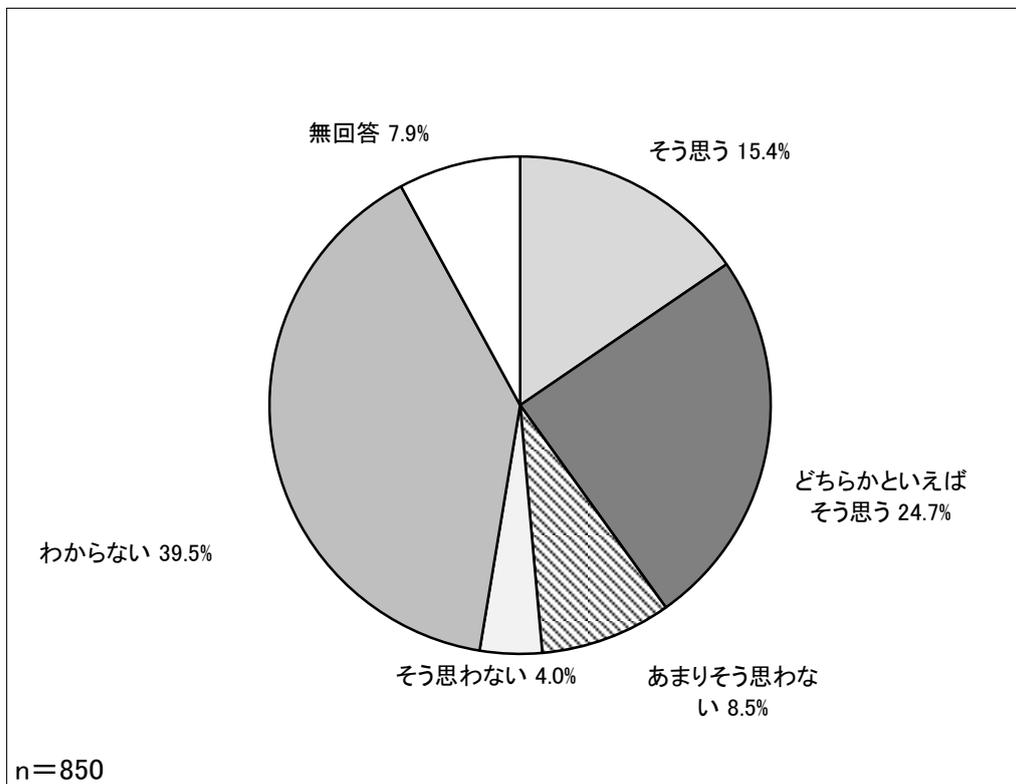
保険に加入しない理由(回答対象者：369人)	件数	割合	順位
そもそも意識したことがない	163	44.2%	1
手続きが面倒	51	13.8%	2
交通ルールを守っているため不要	51	13.8%	2
加入方法が分からない	44	11.9%	4
保険料が高い	31	8.4%	5
その他	29	7.9%	—

ヘルメットを着用しない理由、保険に加入しない理由をたずねたところ、どちらも「そもそも意識したことがない」という回答が多い結果となりました。

<子育てについて>

問10 蕨市は子育てしやすいまちだと思いますか。(○印は1つ)

回答対象者: 850人	件数	割合	順位
そう思う	131	15.4%	3
どちらかといえばそう思う	210	24.7%	2
あまりそう思わない	72	8.5%	4
そう思わない	34	4.0%	5
わからない	336	39.5%	1
無回答	67	7.9%	



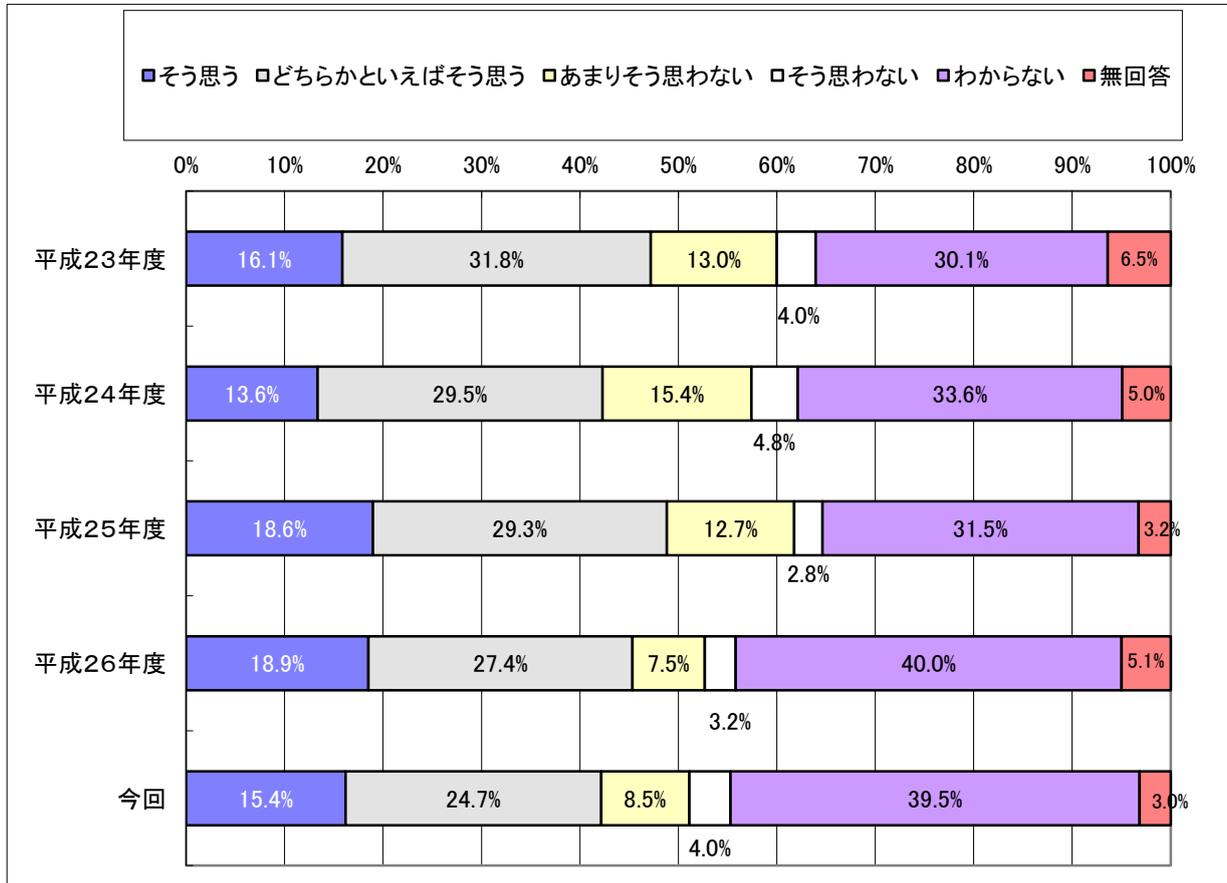
蕨市は子育てしやすいまちだと思うかたずねたところ、「そう思う」15.4%、「どちらかといえばそう思う」24.7%を合わせると40.1%、一方、「そう思わない」4.0%、「あまりそう思わない」8%を合わせると12.5%となり、子育てしやすいまちだと思っている人の方が3倍以上多い結果となりました。

一方、約4割の人が「わからない」と答えています。

## <経年変化>

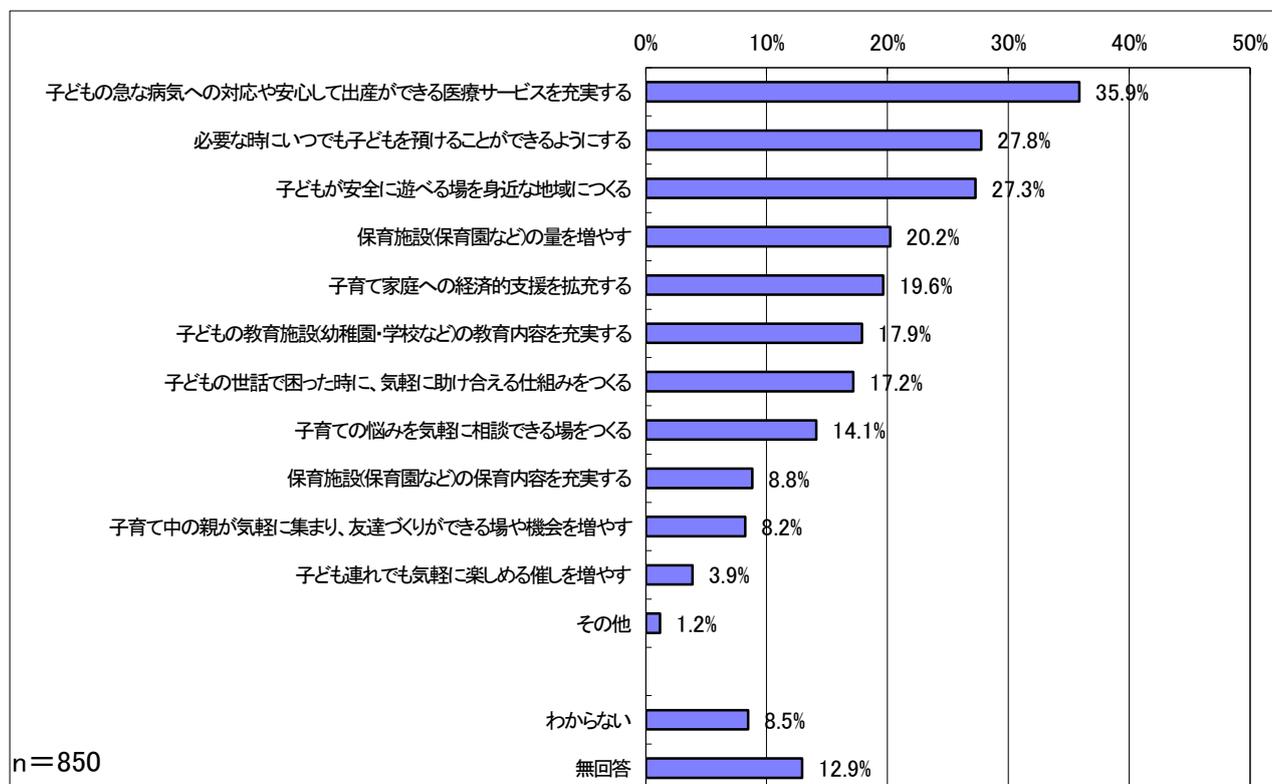
平成23年度からの推移を見ると、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計は40%を超えています。また、「わからない」が増加傾向にあります。

### ●子育てについて(平成23年度からの推移)



問11 蕨市をより子育てしやすいまちにするためには、どのようなことが大切だと思いますか。(○印は3つ以内)

回答対象者:850人	件数	割合	順位
子どもの急な病気への対応や安心して出産ができる医療サービスを充実する	305	35.9%	1
必要な時にいつでも子どもを預けることができるようにする	236	27.8%	2
子どもが安全に遊べる場を身近な地域につくる	232	27.3%	3
保育施設(保育園など)の量を増やす	172	20.2%	4
子育て家庭への経済的支援を拡充する	167	19.6%	5
子どもの教育施設(幼稚園・学校など)の教育内容を充実する	152	17.9%	6
子どもの世話で困った時に、気軽に助け合える仕組みをつくる	146	17.2%	7
子育ての悩みを気軽に相談できる場をつくる	120	14.1%	8
保育施設(保育園など)の保育内容を充実する	75	8.8%	9
子育て中の親が気軽に集まり、友達づくりができる場や機会を増やす	70	8.2%	10
子ども連れでも気軽に楽しめる催しを増やす	33	3.9%	11
その他	10	1.2%	—
わからない	72	8.5%	
無回答	110	12.9%	



蕨市をより子育てしやすいまちにするために大切なことをたずねたところ、「子どもの急な病気への対応や安心して出産ができる医療サービスを充実する」が35.9%と最も多く、次いで、「必要な時にいつでも子どもを預けることができるようにする」が27.8%、「子どもが安全に遊べる場を身近な地域につくる」が27.3%と続いています。

## <経年変化>

平成23年度からの推移を見ると、上位の項目の構成に大きな変化はありませんが、「必要な時にいつでも子どもを預けることができるようにする」の順位が近年上昇傾向にあります。

### ●子育てしやすいまちにするため大切だと思うこと 上位5位(平成23年度からの推移)

	1位	2位	3位	4位	5位
平成23年度	子どもの急な病気に対応できる医療サービスを充実する 49.3%	子どもが安全に遊べる場を身近な地域につくる 39.8%	幼稚園、保育所、学校など子どもの保育、教育を充実する 33.9%	必要な時にいつでも子どもを預けることができるようにする 28.9%	子どもの世話で困った時に、気軽に助け合える仕組みをつくる 19.0%
平成24年度	子どもの急な病気に対応できる医療サービスを充実する 47.4%	幼稚園、保育所、学校など子どもの保育、教育を充実する 39.6%	子どもが安全に遊べる場を身近な地域につくる 34.8%	必要な時にいつでも子どもを預けることができるようにする 29.7%	子育ての悩みを気軽に相談できる場をつくる 25.4%
平成25年度	子どもの急な病気に対応できる医療サービスを充実する 46.2%	子どもが安全に遊べる場を身近な地域につくる 36.6%	必要な時にいつでも子どもを預けることができるようにする 34.6%	幼稚園、保育所、学校など子どもの保育、教育を充実する 34.1%	子どもの世話で困った時に、気軽に助け合える仕組みをつくる 20.0%
平成26年度	子どもの急な病気への対応や安心して出産ができる医療サービス 38.4%	必要な時にいつでも子どもを預けることができるようにする 29.0%	子どもが安全に遊べる場を身近な地域につくる 28.5%	子どもの世話で困った時に、気軽に助け合える仕組みをつくる 22.4%	保育施設(保育園など)の量を増やす 22.1%
今回	子どもの急な病気への対応や安心して出産ができる医療サービスを充実する 35.9%	必要な時にいつでも子どもを預けることができるようにする 27.8%	子どもが安全に遊べる場を身近な地域につくる 27.3%	保育施設(保育園など)の量を増やす 20.2%	子育て家庭への経済的支援を拡充する 19.6%

※回答項目の修正をしている箇所があるため同じ選択項目になっていません。

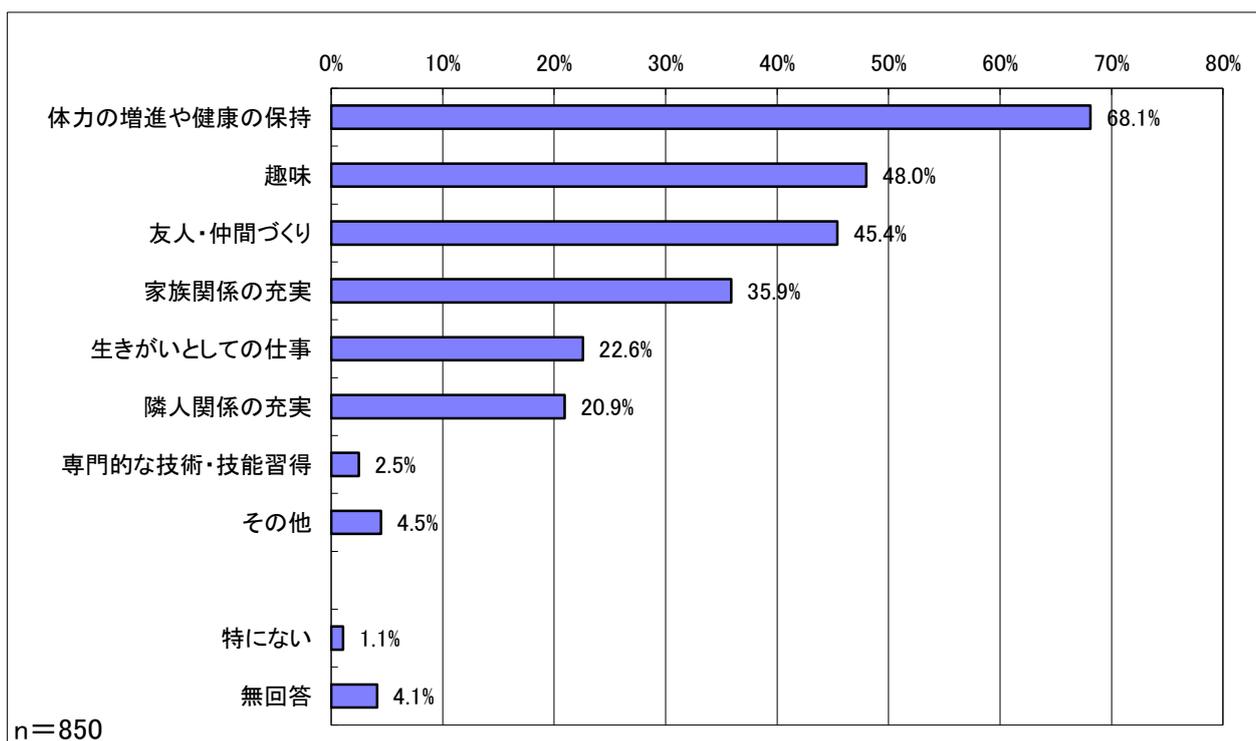
※平成26年度より回答の選択肢を増やしたため、割合が全体的に下がっています。

(11項目→13項目)

<高齢期に大切なことについて>

問12 あなたが高齢期を迎える(迎えた)ときに何が大切だと思いますか。  
(○印は3つ以内)

回答対象者:850人	件数	割合	順位
体力の増進や健康の保持	579	68.1%	1
趣味	408	48.0%	2
友人・仲間づくり	386	45.4%	3
家族関係の充実	305	35.9%	4
生きがいとしての仕事	192	22.6%	5
隣人関係の充実	178	20.9%	6
専門的な技術・技能習得	21	2.5%	7
その他	38	4.5%	—
特にない	9	1.1%	
無回答	35	4.1%	



高齢期を迎える(迎えた)ときに大切だと思うことについてたずねたところ、「体力の増進や健康の保持」が68.1%と最も多く、次いで、「趣味」が48.0%、「友人・仲間づくり」が45.4%、「家族関係の充実」が35.9%となっています。

## <経年変化>

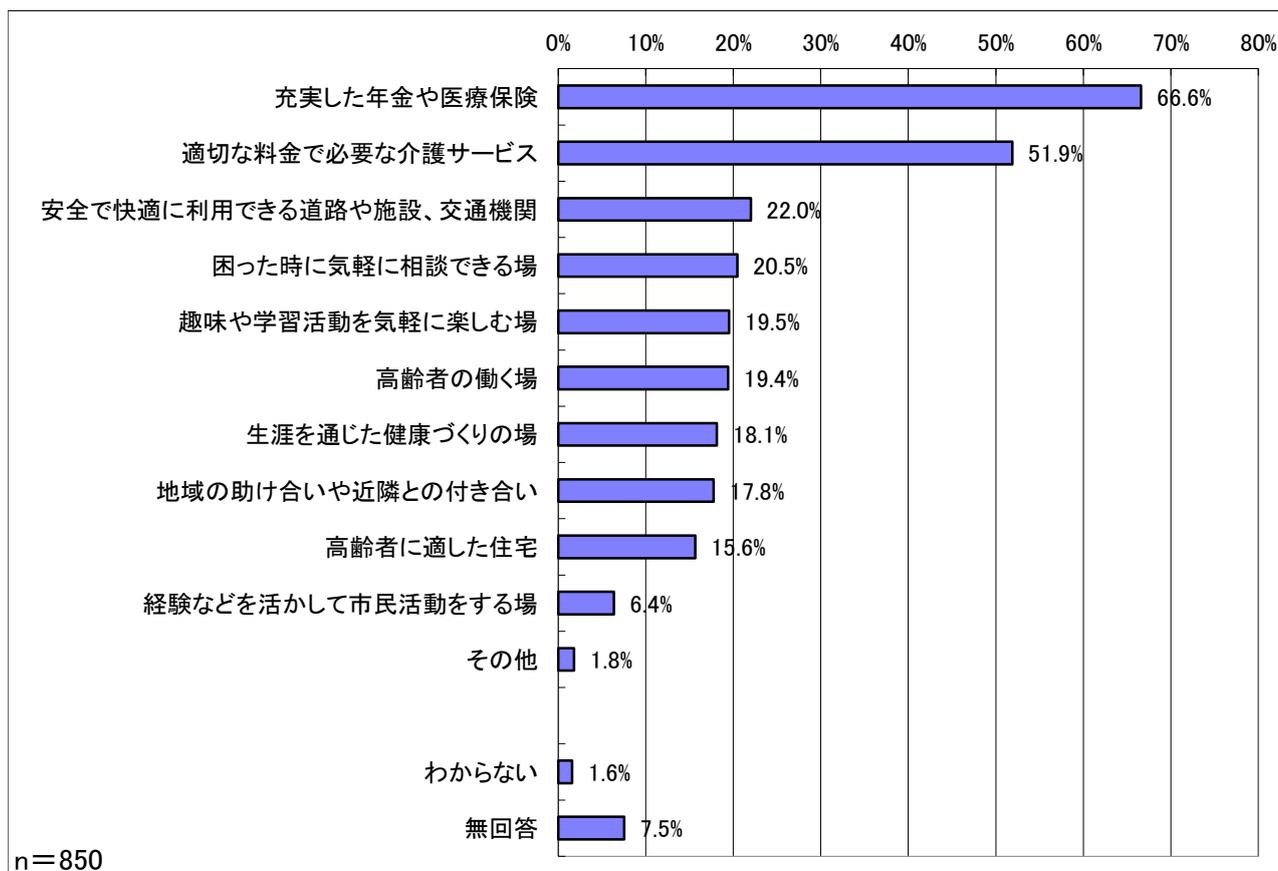
平成23年度からの推移を見ると、上位の項目の構成に大きな変化はありませんが、増加傾向にあった「趣味」が54.3%から48.0%に減少しています。

### ●高齢期を迎える(迎えた)ときに大切だと思うこと 上位5位(平成23年度からの推移)

	1位	2位	3位	4位	5位
平成23年度	体力の増進や健康の保持 68.2%	友人・仲間づくり 53.1%	趣味 46.9%	家族関係の充実 37.2%	生きがいとしての仕事 24.2%
平成24年度	体力の増進や健康の保持 64.5%	友人・仲間づくり 49.3%	趣味 47.2%	家族関係の充実 35.2%	隣人関係の充実 29.4%
平成25年度	体力の増進や健康の保持 65.4%	趣味 53.2%	友人・仲間づくり 49.0%	家族関係の充実 31.3%	隣人関係の充実 29.3%
平成26年度	体力の増進や健康の保持 69.6%	趣味 54.3%	友人・仲間づくり 47.0%	家族関係の充実 39.3%	生きがいとしての仕事 20.8%
今回	体力の増進や健康の保持 68.1%	趣味 48.0%	友人・仲間づくり 45.4%	家族関係の充実 35.9%	生きがいとしての仕事 22.6%

問13 高齢期を生き生きと過ごせるまちなにするため、どのような環境が大切だと思いますか。  
(○印は3つ以内)

回答対象者: 850人	件数	割合	順位
充実した年金や医療保険	566	66.6%	1
適切な料金で必要な介護サービス	441	51.9%	2
安全で快適に利用できる道路や施設、交通機関	187	22.0%	3
困った時に気軽に相談できる場	174	20.5%	4
趣味や学習活動を気軽に楽しむ場	166	19.5%	5
高齢者の働く場	165	19.4%	6
生涯を通じた健康づくりの場	154	18.1%	7
地域の助け合いや近隣との付き合い	151	17.8%	8
高齢者に適した住宅	133	15.6%	9
経験などを活かして市民活動をする場	54	6.4%	10
その他	8	1.8%	-
わからない	7	1.6%	
無回答	33	7.5%	



高齢期を生き生きと過ごせるまちなにするために大切な環境についてたずねたところ、「充実した年金や医療保険」が66.6%と最も多く、次いで「適切な料金で必要な介護サービス」の51.9%と、高齢期の生活基盤・医療・福祉が充実した環境を必要とする回答が多くなっています。

## <経年変化>

平成23年度からの推移を見ると、上位の項目の構成に大きな変化はありませんが、前回19.4%で6位だった「安全で快適に利用できる道路や施設、交通機関」が22.0%となり、順位が3つ上がっています。

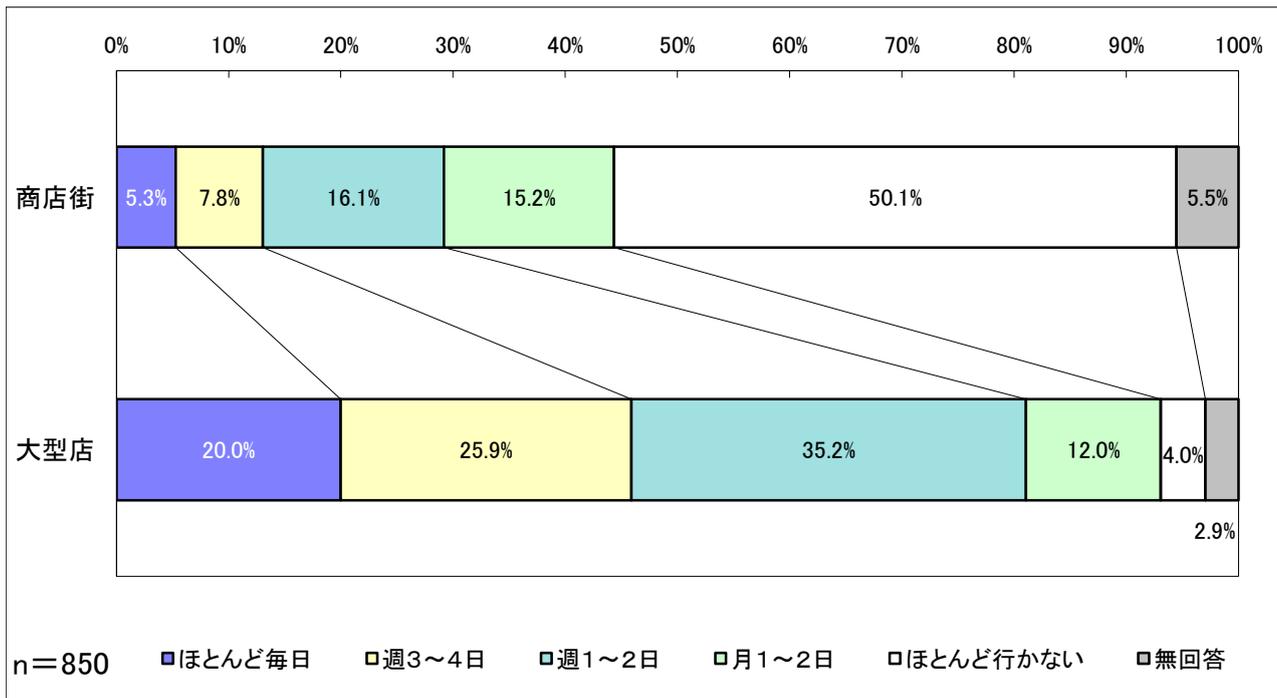
### ●高齢期を生き生きと過ごせるまちにするために大切な環境 上位5位(平成23年度からの推移)

	1位	2位	3位	4位	5位
平成23年度	充実した年金や医療保険 68.2%	適切な料金で必要な介護サービス 52.8%	趣味や学習活動を気軽に楽しむ場 25.6%	困った時に気軽に相談できる場 22.5%	高齢者の働く場 21.8%
平成24年度	充実した年金や医療保険 63.7%	適切な料金で必要な介護サービス 51.7%	高齢者の働く場 23.9%	趣味や学習活動を気軽に楽しむ場 23.8%	安全で快適に利用できる道路や施設、交通機関 21.9%
平成25年度	充実した年金や医療保険 62.8%	適切な料金で必要な介護サービス 48.2%	趣味や学習活動を気軽に楽しむ場 28.2%	安全で快適に利用できる道路や施設、交通機関 25.6%	困った時に気軽に相談できる場 22.5%
平成26年度	充実した年金や医療保険 68.5%	適切な料金で必要な介護サービス 51.4%	趣味や学習活動を気軽に楽しむ場 26.9%	地域の助け合いや近隣との付き合い 21.5%	生涯を通じた健康づくりの場 19.6%
今回	充実した年金や医療保険 66.6%	適切な料金で必要な介護サービス 51.9%	安全で快適に利用できる道路や施設、公共機関 22.0%	困った時に気軽に相談できる場 20.5%	趣味や学習活動を気軽に楽しむ場 19.5%

<まちのにぎわいについて>

問14 買い物についてお伺いします。あなたが商店街や大型店(スーパーマーケット、デパート)へ行く頻度について、あてはまるものをお選びください。(○印はそれぞれ1つ)

回答対象者:850人	商店街			大型店		
	件数	割合	順位	件数	割合	順位
ほとんど毎日	45	5.3%	5	170	20.0%	3
週3~4日	66	7.8%	4	220	25.9%	2
週1~2日	137	16.1%	2	299	35.2%	1
月1~2日	129	15.2%	3	102	12.0%	4
ほとんど行かない	426	50.1%	1	34	4.0%	5
無回答	47	5.5%		25	2.9%	



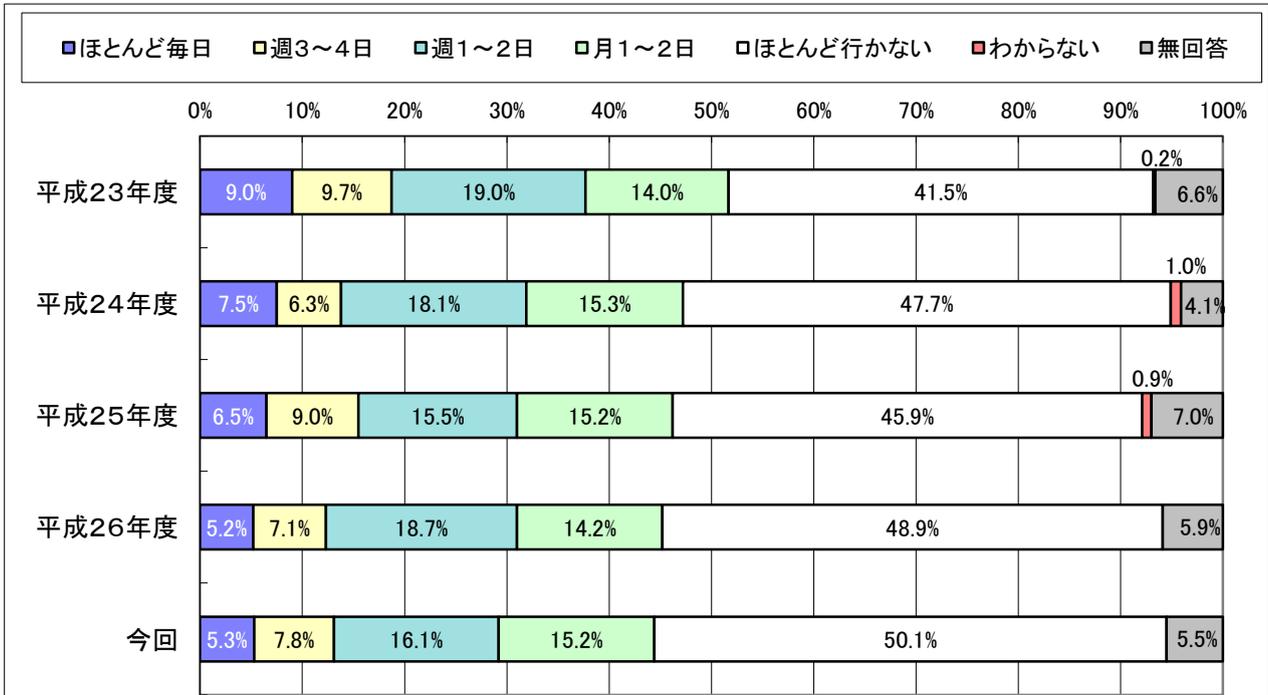
商店街や大型店(スーパーマーケット、デパート)へ買い物に行く頻度をたずねたところ、「ほとんど毎日」「週3~4日」「週1~2日」の割合の合計は、商店街の29.2%に対し、大型店は81.1%で2.5倍以上になっています。  
また、「ほとんど行かない」が商店街の50.1%に対し、大型店は4.0%となっています。

## <経年変化>

### 【商店街】

平成23年度からの推移を見ると、商店街については、買い物に行く頻度が減少傾向にあります。

#### ●商店街に買い物に行く頻度(平成23年度からの推移)

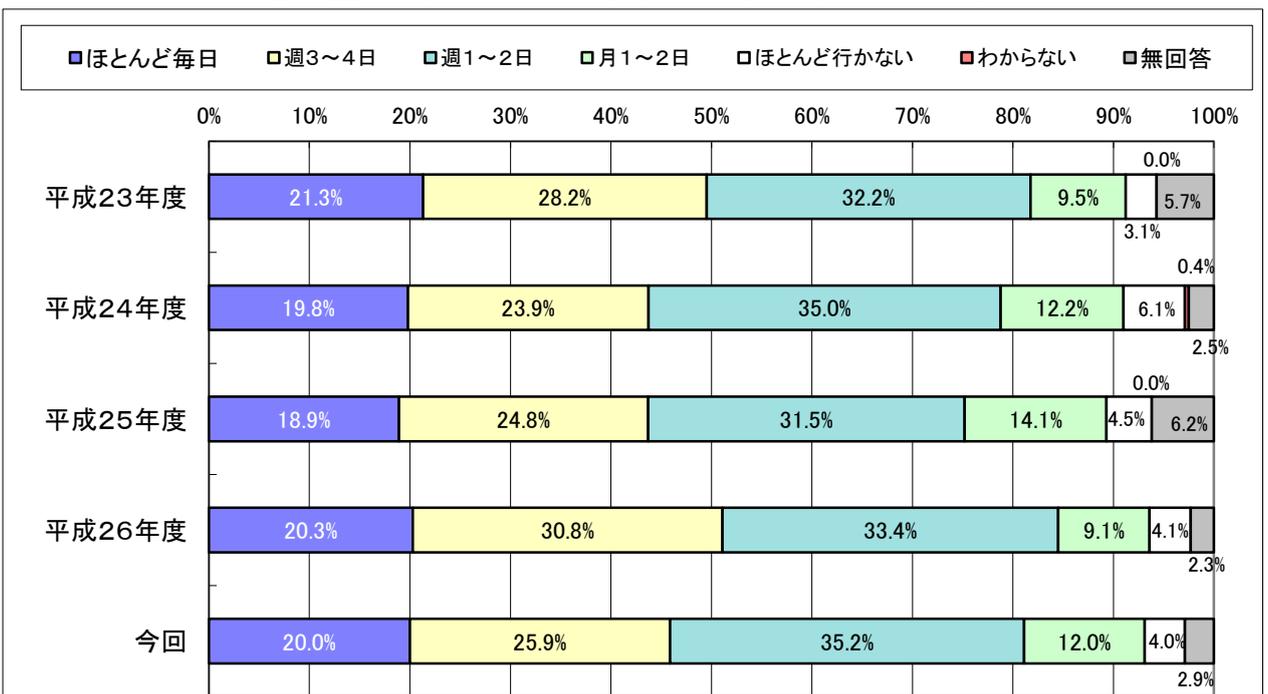


※平成26年度から「わからない」という選択肢を削除しました。

### 【大型店】

平成23年度からの推移を見ると、大型店に買い物に行く頻度が週1日以上の方がおおむね8割程度となっています。

#### ●大型店に買い物に行く頻度(平成23年度からの推移)

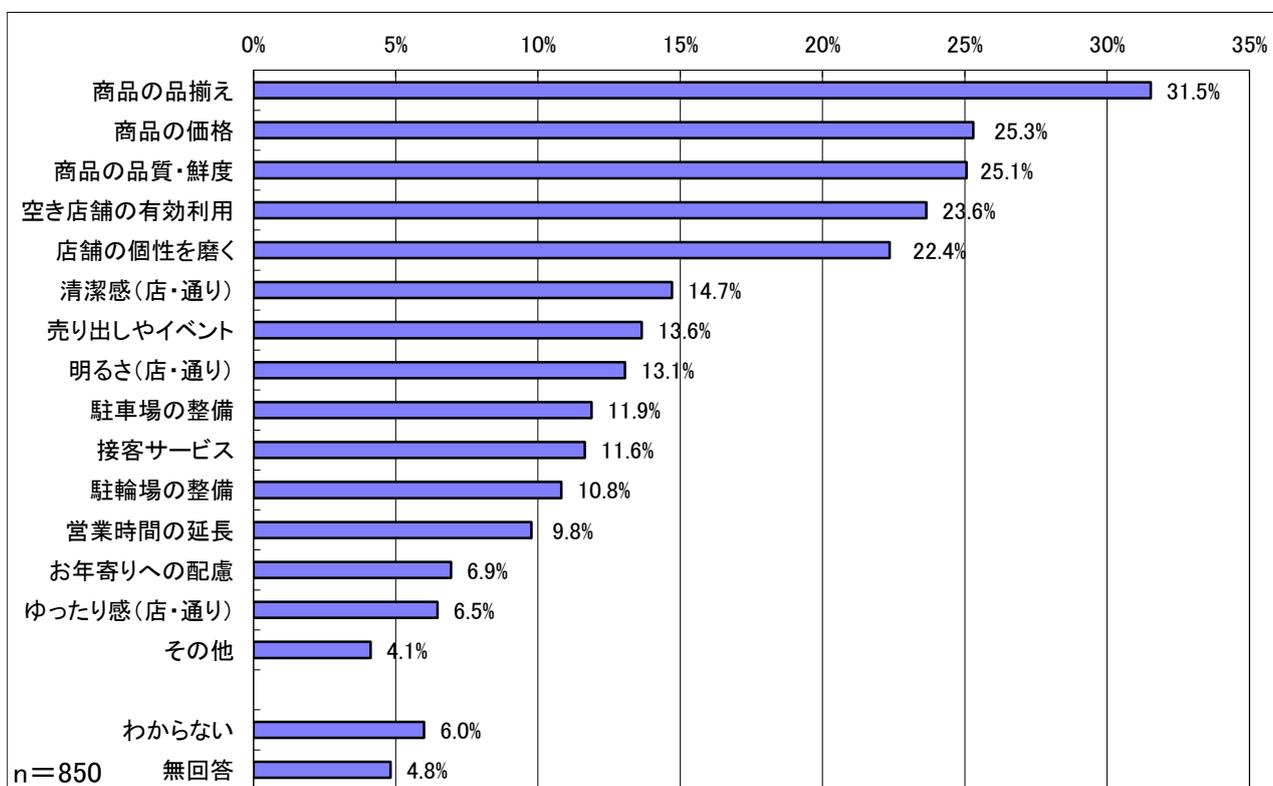


※平成26年度から「わからない」という選択肢を削除しました。

問15

商店街の活性化についてお伺いします。あなたが商店街に望むことについて、あてはまるものをお選びください。(○印は3つ以内)

回答対象者: 850人	件数	割合	順位
商品の品揃え	268	31.5%	1
商品の価格	215	25.3%	2
商品の品質・鮮度	213	25.1%	3
空き店舗の有効利用	201	23.6%	4
店舗の個性を磨く	190	22.4%	5
清潔感(店・通り)	125	14.7%	6
売り出しやイベント	116	13.6%	7
明るさ(店・通り)	111	13.1%	8
駐車場の整備	101	11.9%	9
接客サービス	99	11.6%	10
駐輪場の整備	92	10.8%	11
営業時間の延長	83	9.8%	12
お年寄りへの配慮	59	6.9%	13
ゆったり感(店・通り)	55	6.5%	14
その他	35	4.1%	—
わからない	51	6.0%	
無回答	41	4.8%	



商店街に望むことについてたずねたところ、最も望むことは「商品の品揃え」の31.5%、次いで「商品の価格」の25.3%と上位は品揃えと価格に関する要望が多くなっています。

## <経年変化>

平成23年度からの推移を見ると、上位の項目の構成について大きな変化はありませんが、前回と比べて「商品の価格」が21.9%から25.3%に増加し、順位も3つ上げています。

### ●商店街に望むこと 上位5位(平成23年度からの推移)

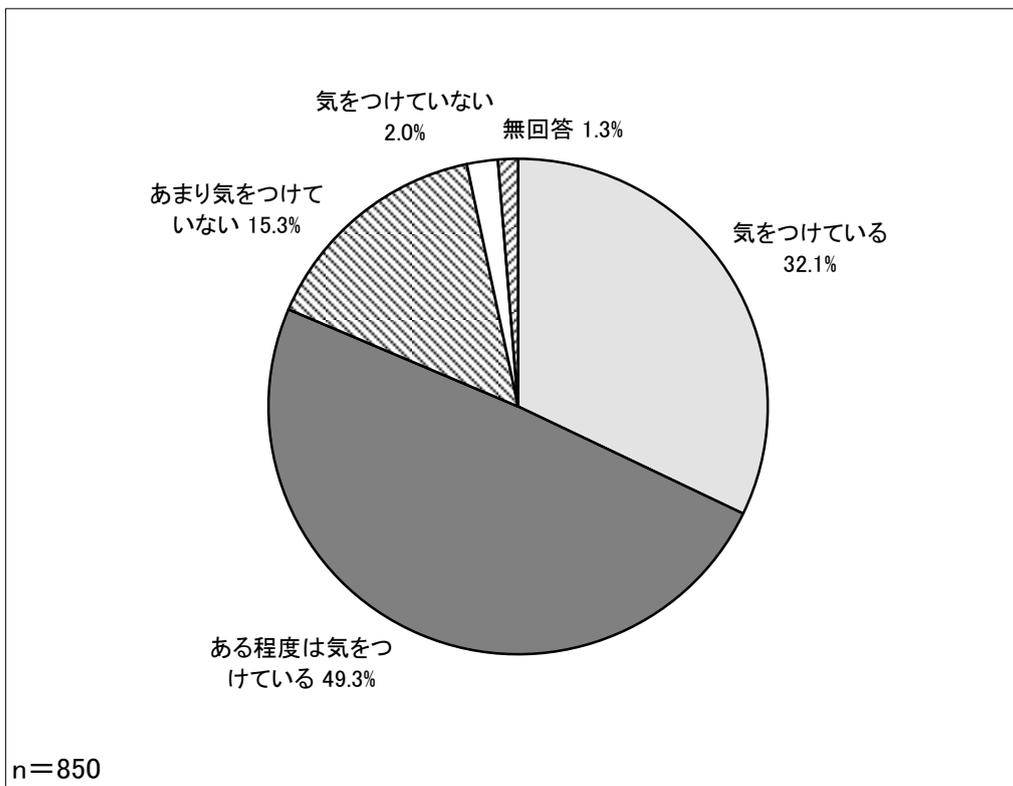
	1位	2位	3位	4位	5位
平成23年度	商品の品揃え 36.7%	商品の価格 31.5%	商品の品質・鮮度 31.3%	店舗の個性を磨く 23.2%	空き店舗の有効利用 21.1%
平成25年度	商品の品質・鮮度 29.9%	商品の品揃え 28.5%	商品の価格 24.5%	空き店舗の有効利用 22.8%	店舗の個性を磨く 21.1%
平成26年度	商品の品質・鮮度 30.1%	商品の品揃え 27.6%	空き店舗の有効利用 26.9%	店舗の個性を磨く 23.5%	商品の価格 21.9%
今回	商品の品揃え 31.5%	商品の価格 25.3%	商品の品質・鮮度 25.1%	空き店舗の有効利用 23.6%	店舗の個性を磨く 22.4%

※平成24年度は本項目の調査を行っていません。

<健康づくり、運動・スポーツについて>

問16 あなたは、日頃、自分の健康に気をつけていますか。(○印は1つ)

回答対象者: 850人	件数	割合	順位
気をつけている	273	32.1%	2
ある程度は気をつけている	419	49.3%	1
あまり気をつけていない	130	15.3%	3
気をつけていない	17	2.0%	4
無回答	11	1.3%	

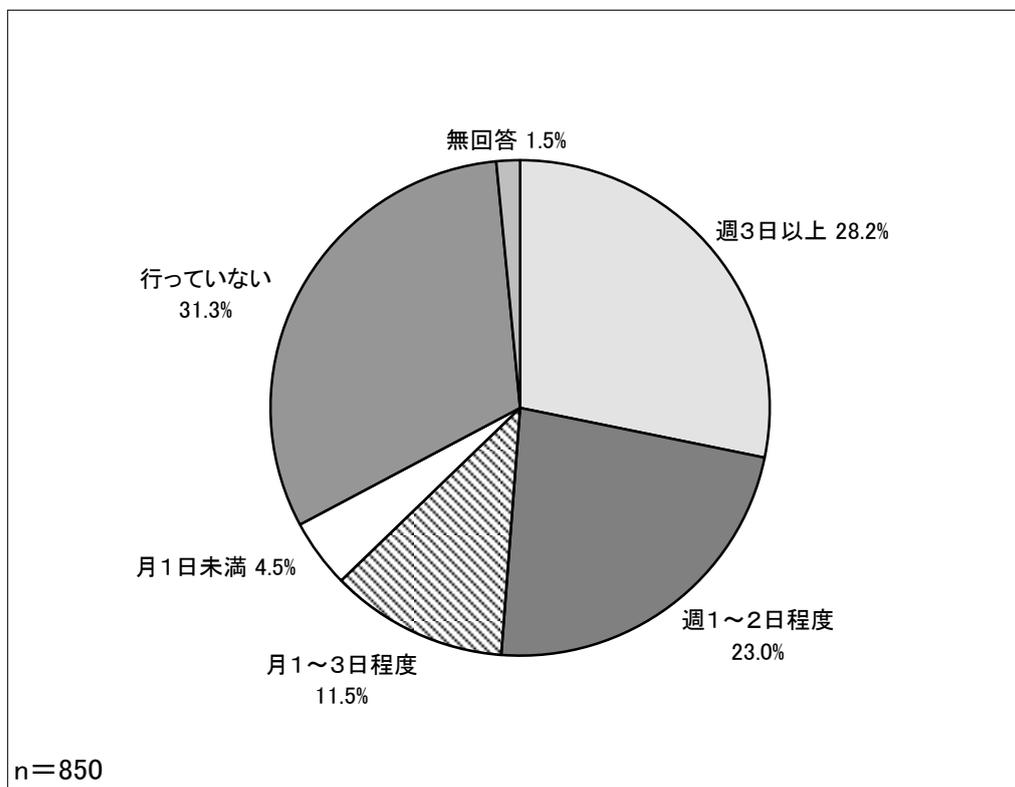


自分の健康にどのくらい気をつけているかたずねたところ、「気をつけている」、「ある程度は気をつけている」を合わせると、81.4%の人が日頃から自分の健康に気をつけているという結果になっています。

<健康づくり、運動・スポーツについて>

問17 健康づくりなどに運動・スポーツは非常に大切であるといわれています。  
あなたは、どのくらいの頻度で運動・スポーツをしていますか。(○印は1つ)

回答対象者: 850人	件数	割合	順位
週3日以上	240	28.2%	2
週1～2日程度	195	23.0%	3
月1～3日程度	98	11.5%	4
月1日未満	38	4.5%	5
行っていない	266	31.3%	1
無回答	13	1.5%	

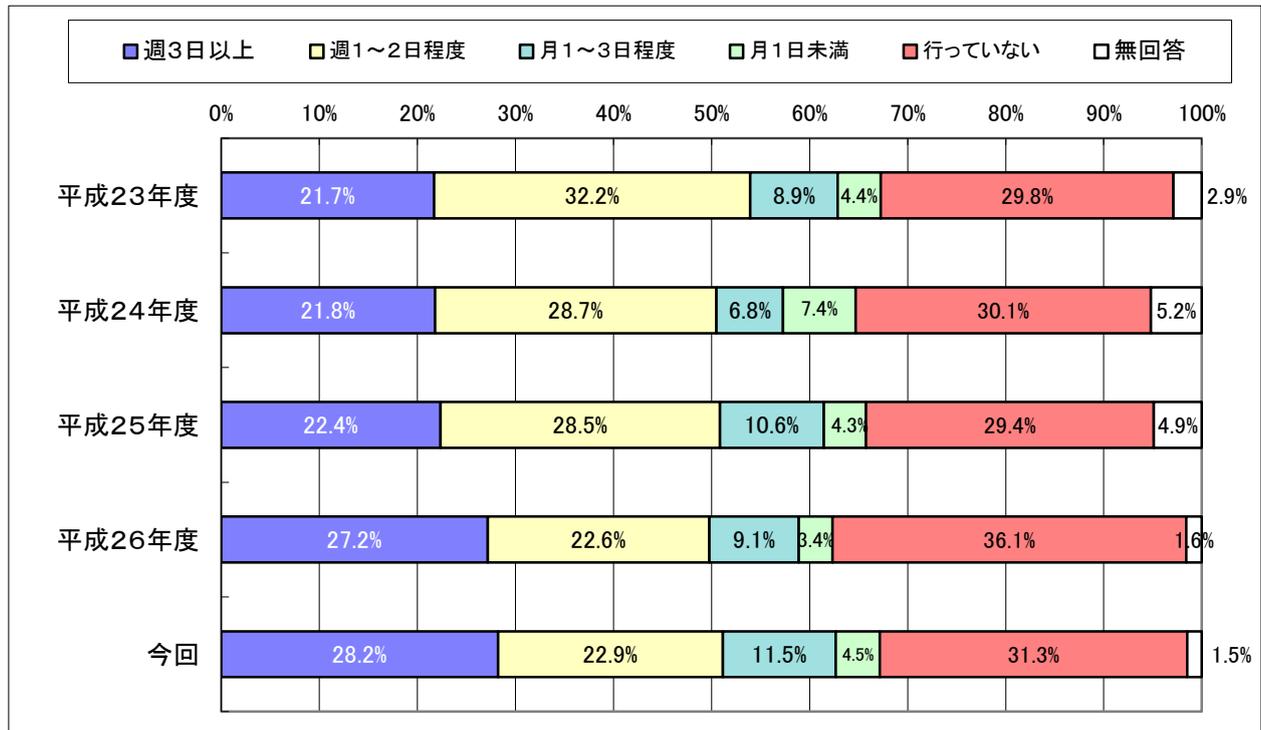


どのくらいの頻度で運動・スポーツをしているかたずねたところ、「週3日以上」が28.2%で最も多く、次いで「週1～2日程度」が23.0%、「月1～3日程度」が11.5%と続いており、およそ50%の人が、週1日以上何らかの運動・スポーツをしているという結果になっています。

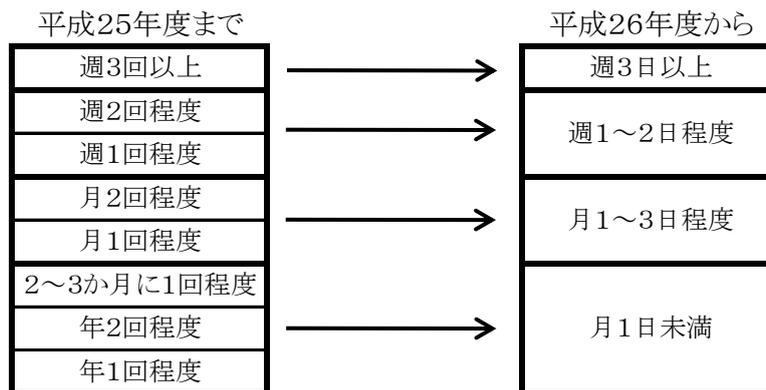
## <経年変化>

運動・スポーツをしている頻度について平成23年度からの経年変化を見ると、週1日以上スポーツをしている人の割合は50%程度で推移しています。

### ●運動・スポーツをしている頻度(平成23年度からの推移)



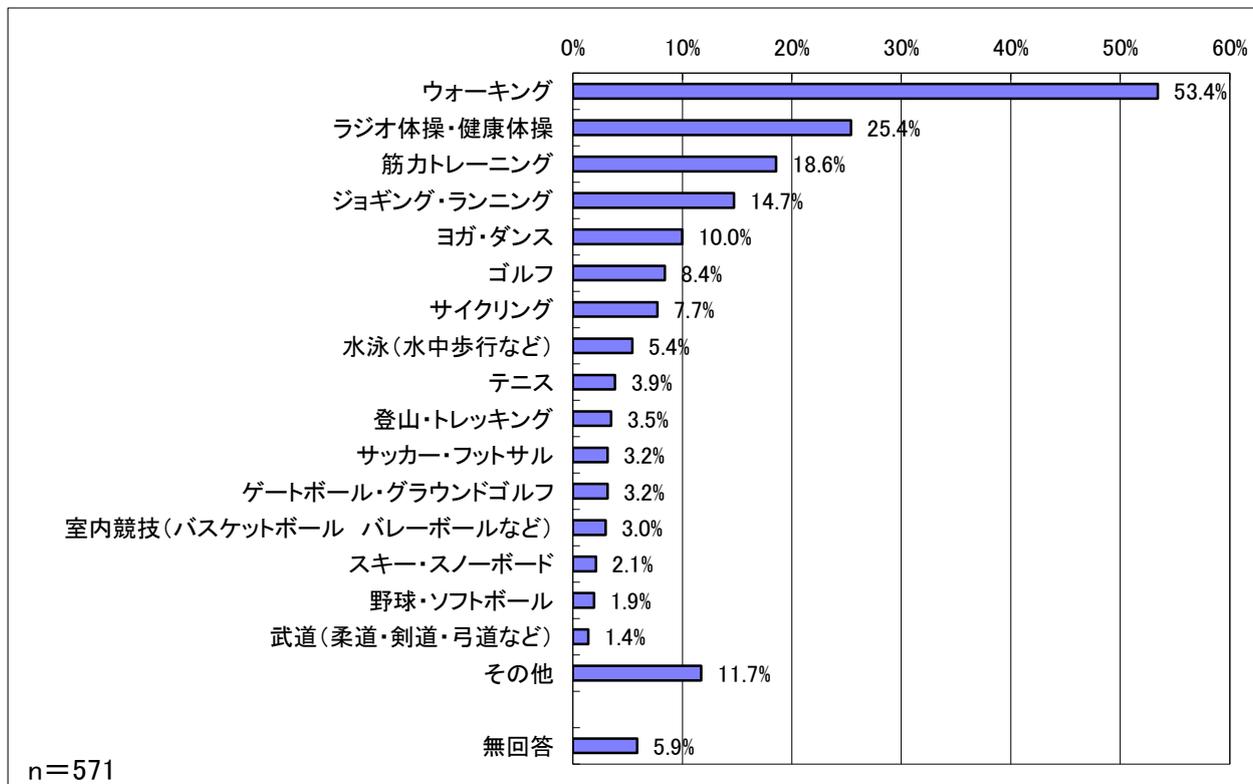
※平成26年度より回答の選択肢を変更したため、平成25年度以前の割合を現在の選択肢に合わせて再集計しました。



問17で「週3日以上」「週1～2日程度」「月1～3日程度」「月1日未満」と答えた人のみ回答

問18 あなたは、主にどのような運動・スポーツをしていますか。(○印は3つ以内)

回答対象者:571人	件数	割合	順位
ウォーキング	305	53.4%	1
ラジオ体操・健康体操	145	25.4%	2
筋力トレーニング	106	18.6%	3
ジョギング・ランニング	84	14.7%	4
ヨガ・ダンス	57	10.0%	5
ゴルフ	48	8.4%	6
サイクリング	44	7.7%	7
水泳(水中歩行など)	31	5.4%	8
テニス	22	3.9%	9
登山・トレッキング	20	3.5%	10
サッカー・フットサル	18	3.2%	11
ゲートボール・グラウンドゴルフ	18	3.2%	11
室内競技(バスケットボール パレーボールなど)	17	3.0%	13
スキー・スノーボード	12	2.1%	14
野球・ソフトボール	11	1.9%	15
武道(柔道・剣道・弓道など)	8	1.4%	16
その他	32	11.7%	—
無回答	16	5.9%	



最も行われている運動・スポーツは「ウォーキング」で53.4%、次いで「ラジオ体操・健康体操」が25.4%、「筋力トレーニング」が18.6%となっています。

## <経年変化>

平成23年度からの推移を見ると、上位の項目に大きな変化はありませんが、1位の「ウォーキング」が前回と同様に50%を超えています。

### ●どのような運動・スポーツをしているか 上位5位(平成23年度からの推移)

	1位	2位	3位	4位	5位
平成23年度	ウォーキング 48.4%	体操(軽体操・エアロビなど) 19.4%	ジョギング・ランニング 17.2%	筋力トレーニング 15.0%	ゴルフ 13.6%
平成24年度	ウォーキング 49.3%	体操(軽体操・エアロビなど) 21.3%	筋力トレーニング 12.7%	ゴルフ 12.3%	ジョギング・ランニング 12.0%
平成25年度	ウォーキング 45.7%	体操(軽体操・エアロビなど) 18.8%	ジョギング・ランニング 15.1%	筋力トレーニング 14.7%	サイクリング 12.2%
平成26年度	ウォーキング 57.1%	ラジオ体操・健康体操 23.8%	筋力トレーニング 17.9%	ジョギング・ランニング 15.4%	ヨガ・ダンス 9.9%
今回	ウォーキング 54.3%	ラジオ体操・健康体操 25.4%	筋力トレーニング 18.6%	ジョギング・ランニング 14.7%	ヨガ・ダンス 10.0%

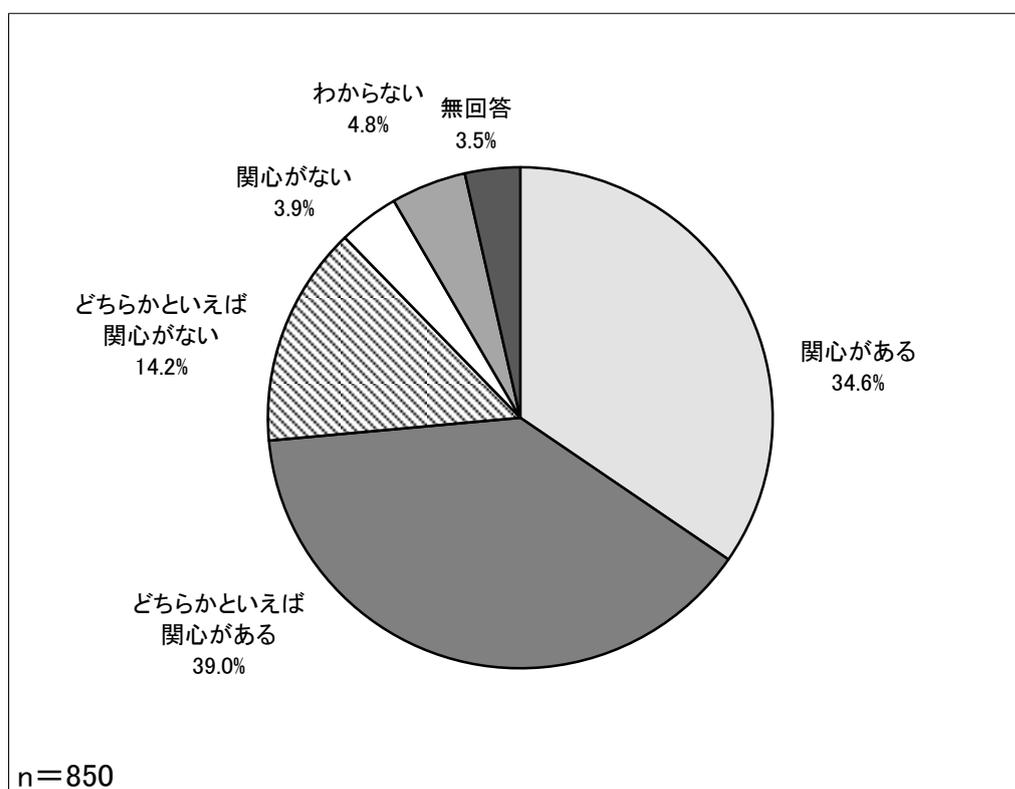
※回答項目の修正をしている箇所があるため同じ選択項目になっていません。

※平成25年度までは、運動・スポーツをしていない人を含めた回答者全体を分母としていましたが、平成26年度より、設問の対象を運動・スポーツをしている人のみに変更したため、平成25年度以前の割合を運動・スポーツをしていると回答した人だけを分母とする割合に再計算しました。

<ごみの減量化について>

問19 ごみの減量化やリサイクルについて関心がありますか。(○印は1つ)

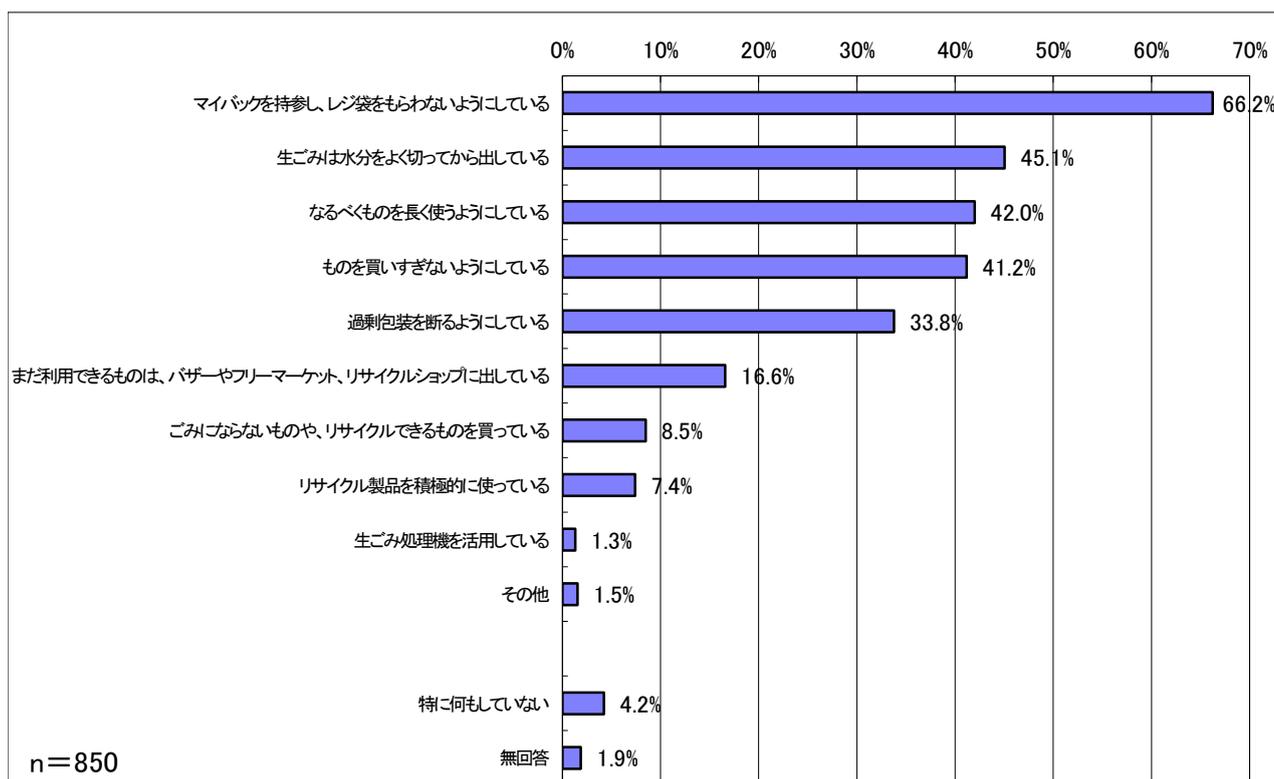
回答対象者:850人	件数	割合	順位
関心がある	294	34.6%	2
どちらかといえば関心がある	331	39.0%	1
どちらかといえば関心がない	121	14.2%	3
関心がない	33	3.9%	5
わからない	41	4.8%	4
無回答	30	3.5%	



ごみの減量やリサイクルについて関心があるかたずねたところ、「関心がある」34.6%、「どちらかといえば関心がある」39.0%を合わせると73.6%、一方、「関心がない」3.9%、「どちらかといえば関心がない」14.2%を合わせると18.1%となり、多くの人がごみの減量化やリサイクルについて関心があると回答しています。

問20 ごみを減らすためどのような取り組みをしていますか。(○印はいくつでも)

回答対象者: 850人	件数	割合	順位
マイバックを持参し、レジ袋をもらわないようにしている	563	66.2%	1
生ごみは水分をよく切ってから出している	383	45.1%	2
なるべくものを長く使うようにしている	357	42.0%	3
ものを買すぎないようにしている	350	41.2%	4
過剰包装を断るようになっている	287	33.8%	5
まだ利用できるものは、バザーやフリーマーケット、リサイクルショップに出している	141	16.6%	6
ごみにならないものや、リサイクルできるものを買っている	72	8.5%	7
リサイクル製品を積極的に使っている	63	7.4%	8
生ごみ処理機を活用している	11	1.3%	9
その他	13	1.5%	-
特に何もしていない	36	4.2%	-
無回答	16	1.9%	-



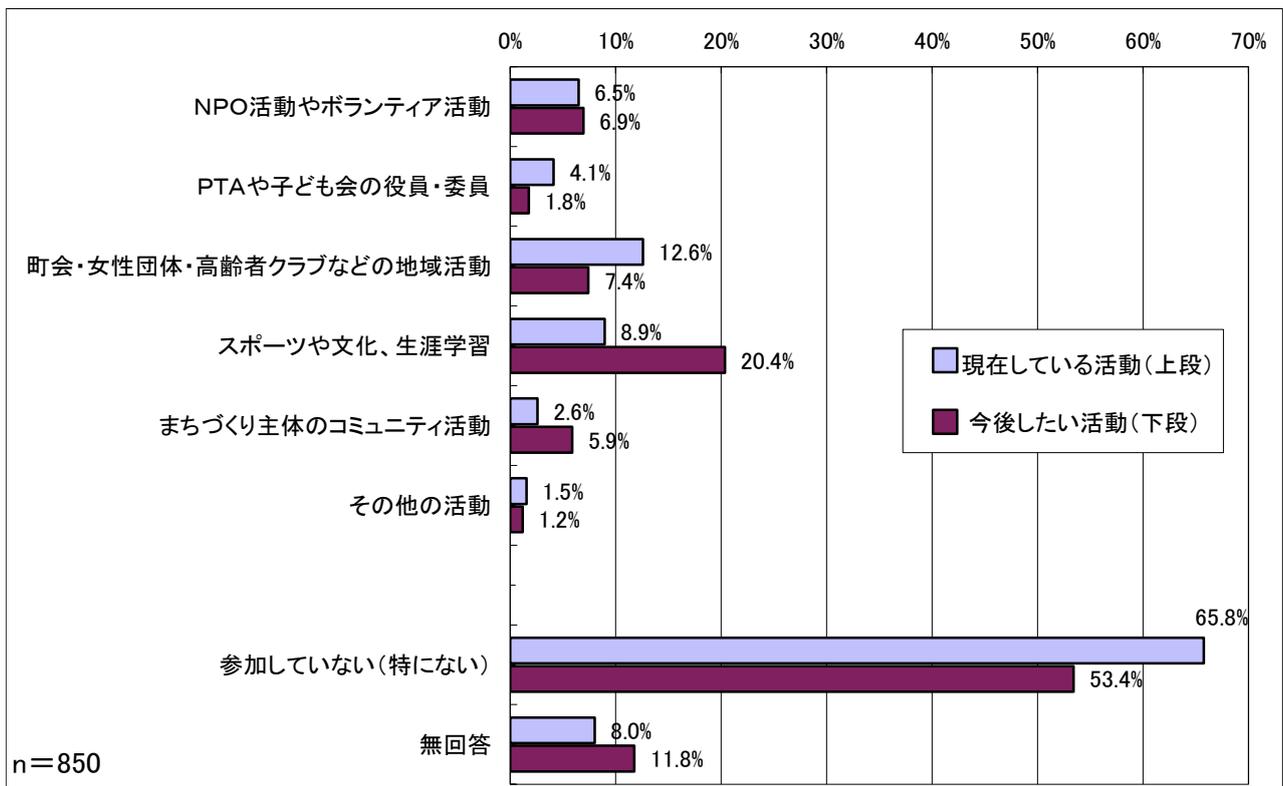
ごみを減らすためどのような取り組みをしているかたずねたところ、「マイバックを持参し、レジ袋をもらわないようにしている」が最も多く66.2%、次いで「生ごみは水分をよく切ってから出している」が45.1%、「なるべくものを長く使うようにしている」が42.0%、「ものを買すぎないようにしている」が41.2%となっています。

また、95%以上の人が、ごみを減らすための何らかの取り組みを行っていると回答しています。

<市民活動について>

問21 あなたは現在、お住まいの地域等で何か活動をしていますか。また、今後したいと思う活動は何ですか。それぞれあてはまるものをお選びください。  
(○印はそれぞれいくつでも)

回答対象者:850人	現在している活動			今後したい活動		
	件数	割合	順位	件数	割合	順位
NPO活動やボランティア活動	55	6.5%	3	59	6.9%	3
PTAや子ども会の役員・委員	35	4.1%	4	15	1.8%	5
町会・女性団体・高齢者クラブなどの地域活動	107	12.6%	1	63	7.4%	2
スポーツや文化、生涯学習	76	8.9%	2	173	20.4%	1
まちづくり主体のコミュニティ活動	22	2.6%	5	50	5.9%	4
その他の活動	13	1.5%	—	10	1.2%	—
参加していない(特にない)	559	65.8%		454	53.4%	
無回答	68	8.0%		100	11.8%	



現在している市民活動と今後したい市民活動についてたずねたところ、活動に参加している人の中では、「町会・女性団体・高齢者クラブなどの地域活動」が12.6%で最も多く、次いで「スポーツや文化、生涯学習」の8.9%となっています。

一方、今後したい活動としては、「スポーツや文化、生涯学習」の20.4%が最も多く、次いで、「町会・女性団体・高齢者クラブなどの地域活動」の7.4%となっています。

## <経年変化>

### 【現在の状況】

平成23年度からの推移を見ると、上位の項目の構成に大きな変化はありませんが、「参加していない」の割合をみると、全体的に市民活動に参加している人は増加していることが伺えます。

#### ●現在している市民活動 上位5位(平成23年度からの推移)

	1位	2位	3位	4位	5位	参加していない
平成23年度	町会・女性団体・高齢者クラブなどの地域活動 15.2%	スポーツや文化、学習活動 8.8%	NPO活動やボランティア活動 4.7%	PTAの役員・委員 3.8%	まちづくり主体のコミュニティ活動 3.3%	63.0%
平成24年度	町会・女性団体・高齢者クラブなどの地域活動 15.0%	スポーツや文化、学習活動 10.2%	NPO活動やボランティア活動 5.2%	PTAの役員・委員 2.7%	まちづくり主体のコミュニティ活動 2.3%	67.7%
平成25年度	町会・女性団体・高齢者クラブなどの地域活動 13.2%	スポーツや文化、学習活動 10.1%	NPO活動やボランティア活動 5.6%	PTAの役員・委員 3.1%	まちづくり主体のコミュニティ活動 2.8%	64.5%
平成26年度	町会・女性団体・高齢者クラブなどの地域活動 10.0%	スポーツや文化、生涯学習 8.2%	NPO活動やボランティア活動 5.0%	PTAや子ども会の役員・委員 2.7%	まちづくり主体のコミュニティ活動 2.1%	70.3%
今回	町会・女性団体・高齢者クラブなどの地域活動 12.6%	スポーツ文化、学習活動 8.9%	NPO活動やボランティア活動 6.5%	PTAや子ども会の役員・委員 4.1%	まちづくり主体のコミュニティ活動 2.6%	65.8%

※「その他」・「無回答」は除く

### 【今後の意向】

平成23年度からの推移を見ると、「スポーツや文化、生涯学習」が1位となっています。また今回は「NPO活動やボランティア活動」が、12.3%から6.9%に減少し、順位も一つ下がっています。

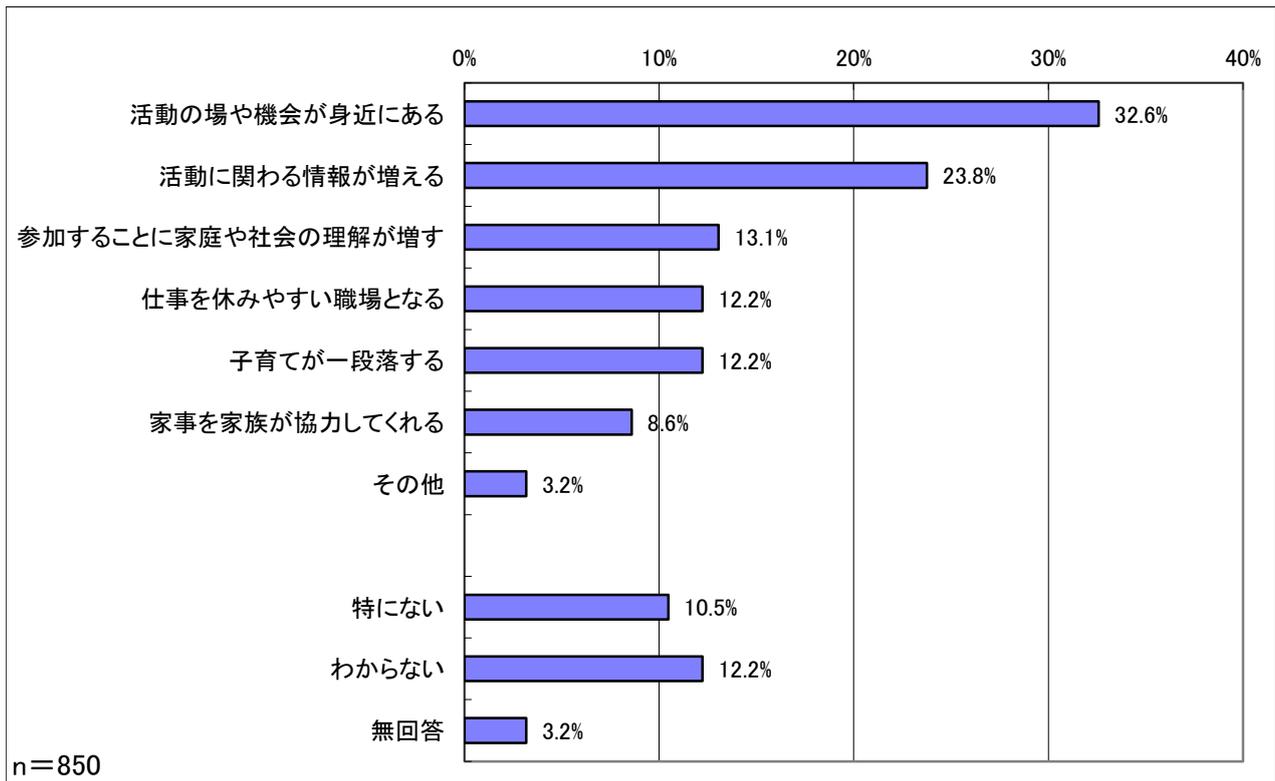
#### ●今後したいと思う市民活動 上位5位(平成23年度からの推移)

	1位	2位	3位	4位	5位	特にない
平成23年度	スポーツや文化、学習活動 20.4%	NPO活動やボランティア活動 9.2%	町会・女性団体・高齢者クラブなどの地域活動 8.8%	まちづくり主体のコミュニティ活動 8.3%	PTAの役員・委員 0.7%	53.3%
平成24年度	スポーツや文化、学習活動 22.5%	NPO活動やボランティア活動 10.1%	町会・女性団体・高齢者クラブなどの地域活動 9.6%	まちづくり主体のコミュニティ活動 6.7%	PTAの役員・委員 1.3%	53.8%
平成25年度	スポーツや文化、学習活動 18.3%	NPO活動やボランティア活動 10.4%	町会・女性団体・高齢者クラブなどの地域活動／まちづくり主体のコミュニティ活動 8.5%	まちづくり主体のコミュニティ活動 8.0%	PTAの役員・委員 1.7%	52.1%
平成26年度	スポーツや文化、生涯学習 20.3%	NPO活動やボランティア活動 12.3%	まちづくり主体のコミュニティ活動 9.4%	町会・女性団体・高齢者クラブなどの地域活動 8.0%	PTAや子ども会の役員・委員 2.1%	52.3%
今回	スポーツや文化、生涯学習 20.4%	町会・女性団体・高齢者クラブなどの地域活動 7.4%	NPO活動やボランティア活動 6.9%	まちづくり主体のコミュニティ活動 5.9%	PTAや子ども会の役員・委員 1.8%	53.4%

※「その他」・「無回答」は除く

問22 上記のような活動に参加しやすくするためには、どのような環境が必要だと思いますか。(○印は2つ以内)

回答対象者: 850人	件数	割合	順位
活動の場や機会が身近にある	277	32.6%	1
活動に関わる情報が増える	202	23.8%	2
参加することに家庭や社会の理解が増す	111	13.1%	3
仕事を休みやすい職場となる	104	12.2%	4
子育てが一段落する	104	12.2%	4
家事を家族が協力してくれる	73	8.6%	6
その他	27	3.2%	—
特にない	89	10.5%	
わからない	104	12.2%	
無回答	27	3.2%	



市民活動に参加しやすい環境についてたずねたところ、最も多かったのが「活動の場や機会が身近にある」の32.6%、次いで「活動に関わる情報が増える」の23.8%、「参加することに家庭や社会の理解が増す」の13.1%となっています。

## <経年変化>

平成23年度からの推移を見ると、上位の項目の構成に大きな変化はなく、1位の「活動の場や機会が身近にある」が30%を超えています。

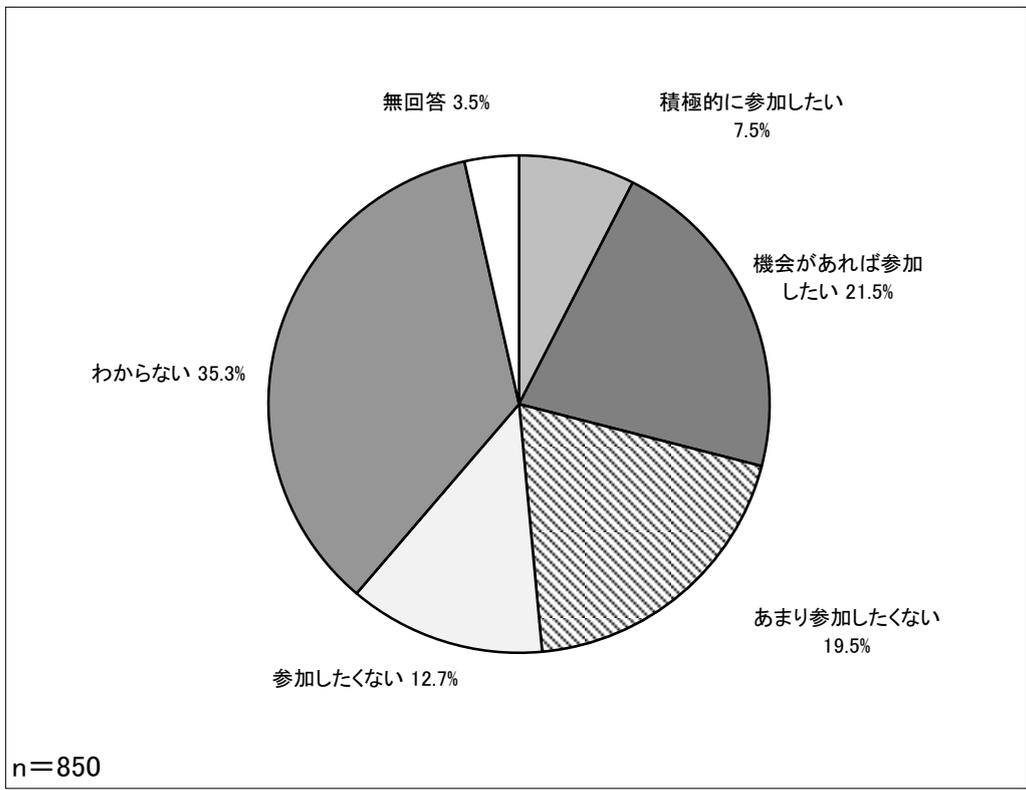
### ●市民活動に参加しやすくなる環境 上位5位(平成23年度からの推移)

	1位	2位	3位	4位	5位
平成23年度	活動の場や機会が身近にある 34.1%	活動に関わる情報が増える 27.5%	参加することに家庭や社会の理解が増す 12.1%	仕事を休みやすい職場となる 子育てが一段落する 11.6%	
平成24年度	活動の場や機会が身近にある 32.6%	活動に関わる情報が増える 24.2%	休みを取りやすい職場となる 15.3%	参加することに家庭や社会の理解が増す 15.2%	子育てが一段落する 11.5%
平成25年度	活動の場や機会が身近にある 31.5%	活動に関わる情報が増える 27.6%	仕事を休みやすい職場となる 14.4%	参加することに家庭や社会の理解が増す 13.2%	子育てが一段落する 11.3%
平成26年度	活動の場や機会が身近にある 38.8%	活動に関わる情報が増える 25.8%	参加することに家庭や社会の理解が増す 15.5%	仕事を休みやすい職場となる 11.0%	子育てが一段落する 10.5%
今回	活動の場や機会が身近にある 32.6%	活動に関わる情報が増える 23.8%	参加することに家庭や社会の理解が増す 13.1%	仕事を休みやすい職場となる 子育てが一段落する 12.2%	

<市民参加について>

**問23** あなたは、市政の計画づくりやまちづくりに参加したいと思いますか。(○印は1つ)

回答対象者: 850人	件数	割合	順位
積極的に参加したい	64	7.5%	5
機会があれば参加したい	183	21.5%	2
あまり参加したくない	166	19.5%	3
参加したくない	108	12.7%	4
わからない	300	35.3%	1
無回答	29	3.5%	

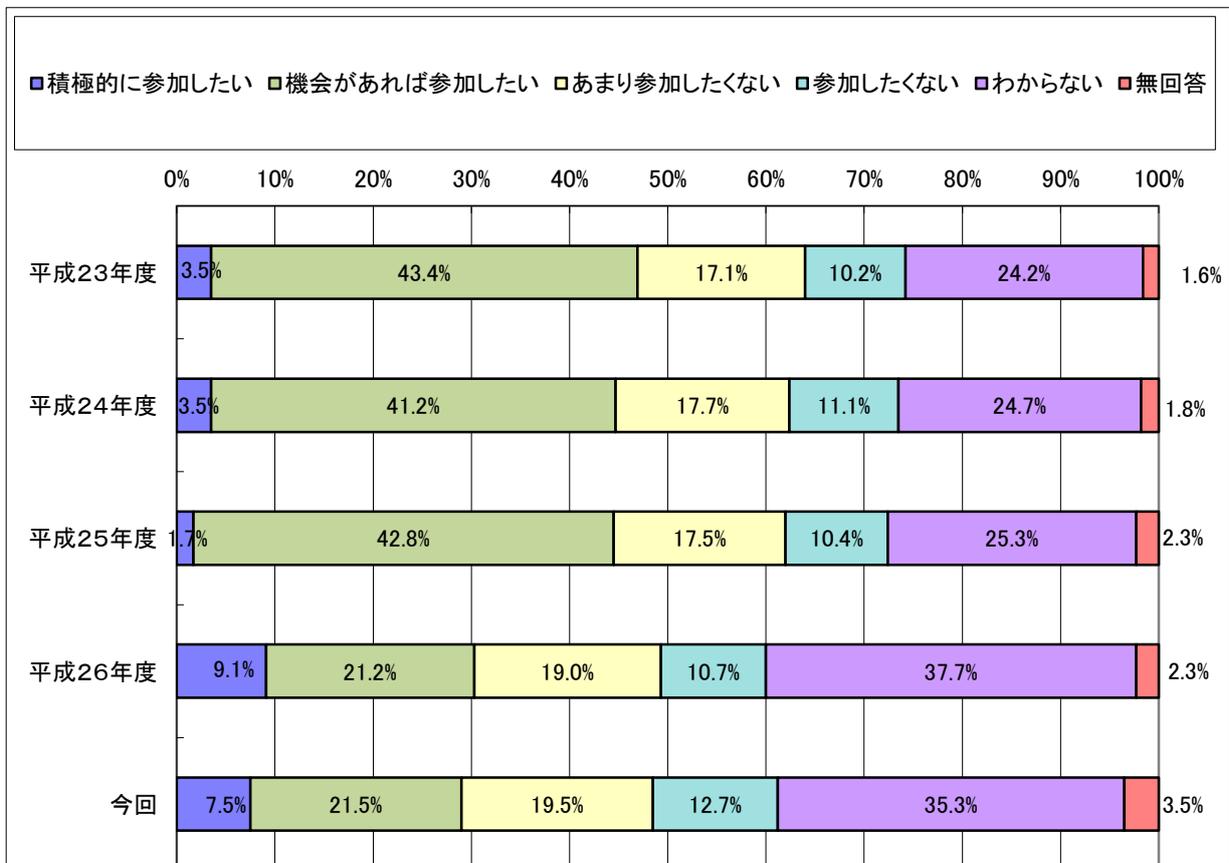


市政の計画づくりやまちづくりへの市民参加については、「積極的に参加したい」が7.5%、「機会があれば参加したい」が21.5%となっており、これらを合わせた29.0%の人が参加を望んでいることがわかります。このことから、市民参加の機会を拡充するなど行政の積極的な働きかけにより、市民参加が今以上に進む可能性が伺えます。

## < 経年変化 >

平成23年度からの推移を見ると、「積極的に参加したい」と「機会があれば参加したい」を合わせた市民活動に参加意向を持つ人の割合が減少傾向にある一方で、「わからない」の回答が増加傾向にあります。

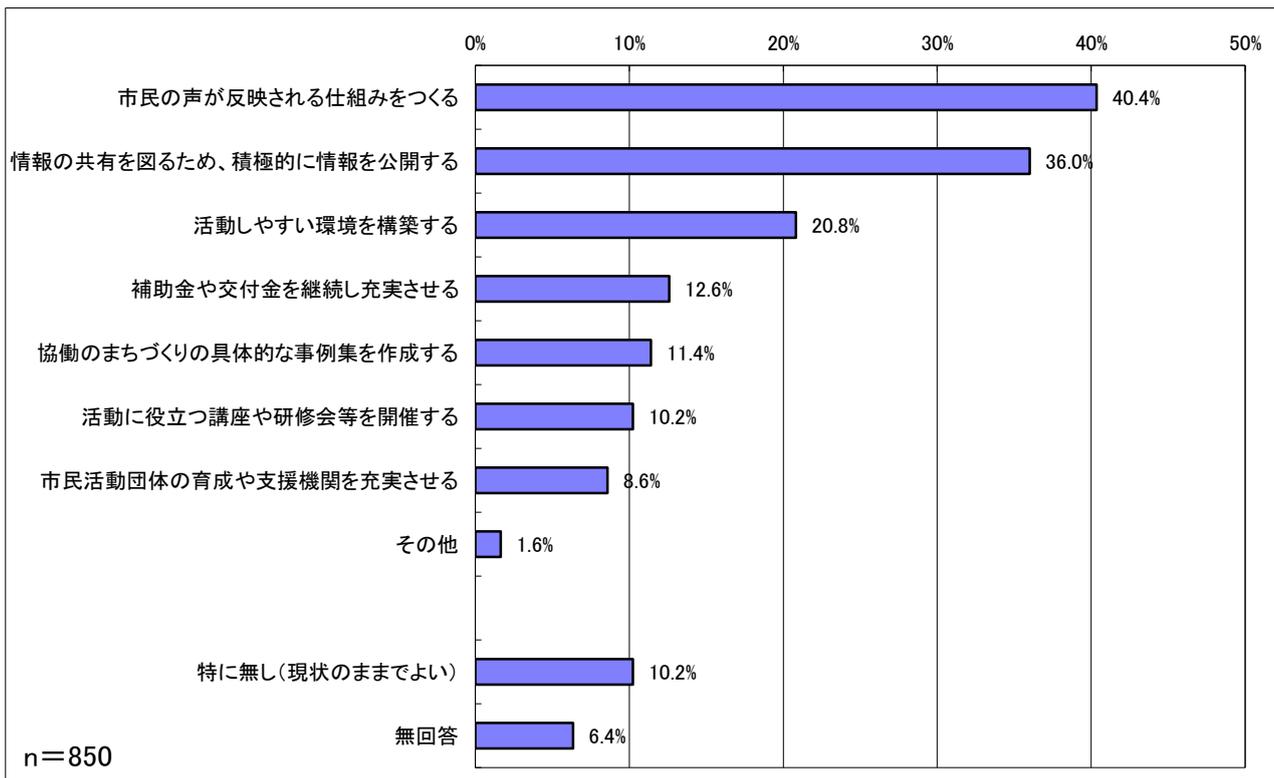
### ● 市政の計画づくりやまちづくりへの参加について(平成23年度からの推移)



<協働のまちづくりについて>

**問24** 市民との協働によるまちづくりを進めるために、行政はどのような取り組みを充実・改善すべきだと思いますか。(○印は2つ以内)

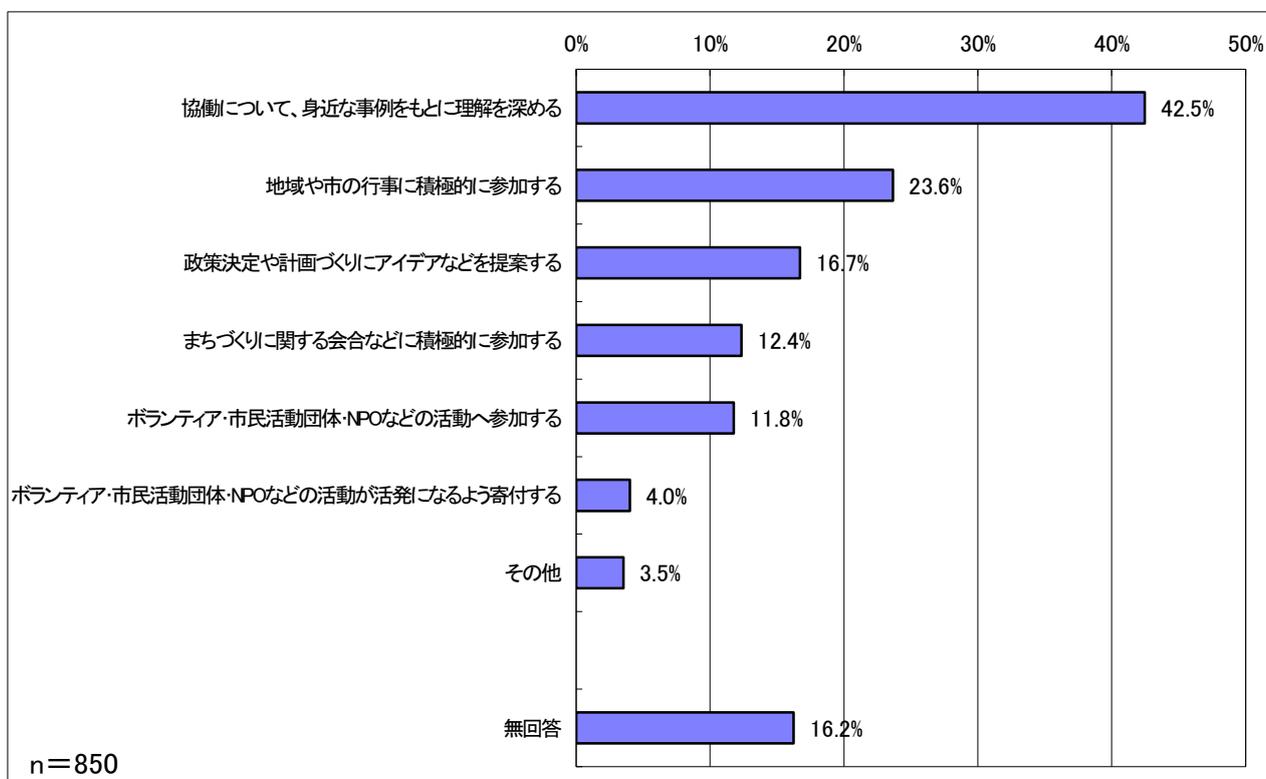
回答対象者: 850人	件数	割合	順位
市民の声が反映される仕組みをつくる	343	40.4%	1
情報の共有を図るため、積極的に情報を公開する	306	36.0%	2
活動しやすい環境を構築する	177	20.8%	3
補助金や交付金を継続し充実させる	107	12.6%	4
協働のまちづくりの具体的な事例集を作成する	97	11.4%	5
活動に役立つ講座や研修会等を開催する	87	10.2%	6
市民活動団体の育成や支援機関を充実させる	73	8.6%	7
その他	14	1.6%	-
特に無し(現状のままでよい)	87	10.2%	-
無回答	54	6.4%	-



市民との協働によるまちづくりを進めるために、行政はどのような取り組みを充実・改善すべきかたずねたところ、「市民の声が反映される仕組みをつくる」が40.4%、次いで「情報の共有を図るため、積極的に情報を公開する」が36.0%、「活動しやすい環境を構築する」が20.8%と続いています。

**問25** 協働によるまちづくりを進めるには、あなたは何をすればよいと思いますか。(○印は2つ以内)

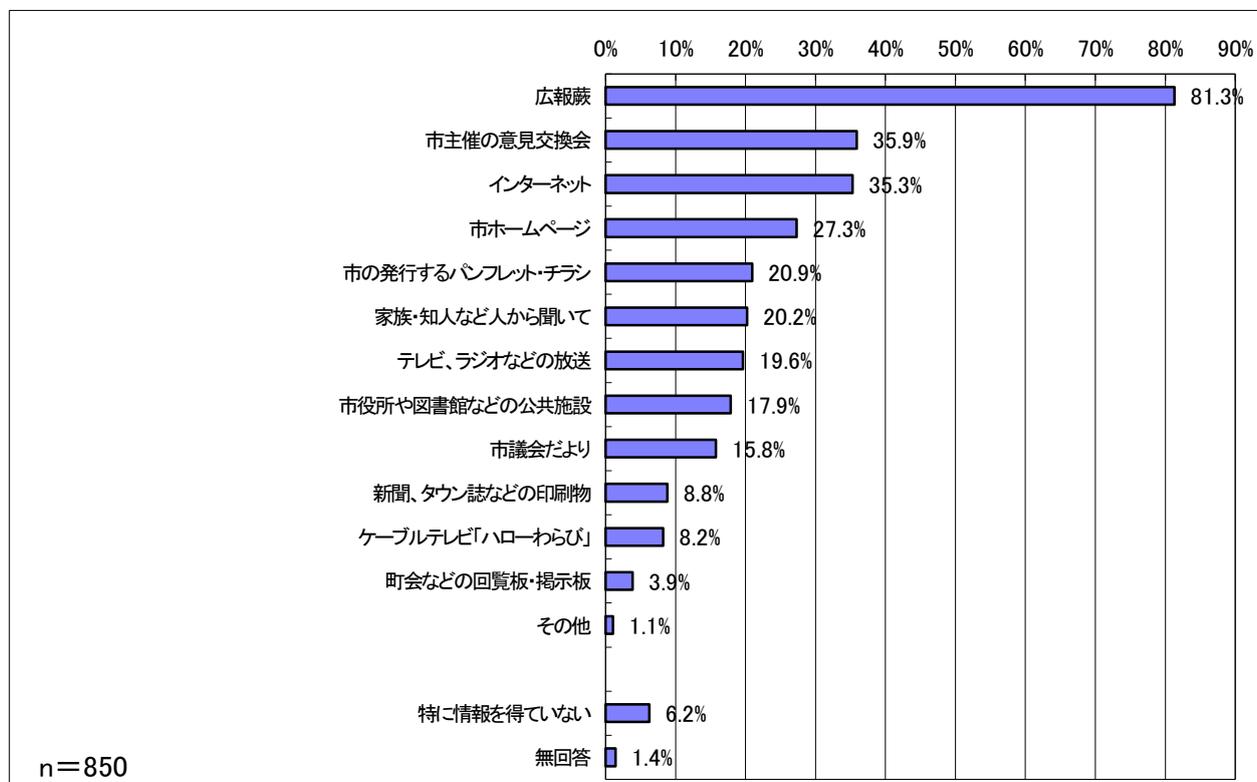
回答対象者: 850人	件数	割合	順位
協働について、身近な事例をもとに理解を深める	361	42.5%	1
地域や市の行事に積極的に参加する	201	23.6%	2
政策決定や計画づくりにアイデアなどを提案する	142	16.7%	3
まちづくりに関する会合などに積極的に参加する	105	12.4%	4
ボランティア・市民活動団体・NPOなどの活動へ参加する	100	11.8%	5
ボランティア・市民活動団体・NPOなどの活動が活発になるよう寄付する	34	4.0%	6
その他	30	3.5%	-
無回答	138	16.2%	



市民との協働によるまちづくりを進めるために、何をすればよいかたずねたところ、「協働について、身近な事例をもとに理解を深める」が42.5%、次いで「地域や市の行事に積極的に参加する」が23.6%、「政策決定や計画づくりにアイデアなどを提案する」が16.7%と続いています。

問26 あなたは、市の情報を得るときに、どのような方法を利用していますか。  
(○印はいくつでも)

回答対象者:850人	件数	割合	順位
広報蕨	691	81.3%	1
市主催の意見交換会	305	35.9%	2
インターネット	300	35.3%	3
市ホームページ	232	27.3%	4
市の発行するパンフレット・チラシ	178	20.9%	5
家族・知人など人から聞いて	172	20.2%	6
テレビ、ラジオなどの放送	167	19.6%	7
市役所や図書館などの公共施設	152	17.9%	8
市議会だより	134	15.8%	9
新聞、タウン誌などの印刷物	75	8.8%	10
ケーブルテレビ「ハローわらび」	70	8.2%	11
町会などの回覧板・掲示版	33	3.9%	12
その他	9	1.1%	—
特に情報を得ていない	53	6.2%	
無回答	12	1.4%	



市の情報を得るときに、どのような方法を利用しているかたずねたところ、「広報蕨」が81.3%と最も多く、次いで、「市主催の意見交換会」が35.9%、「インターネット」が35.3%と続いています。

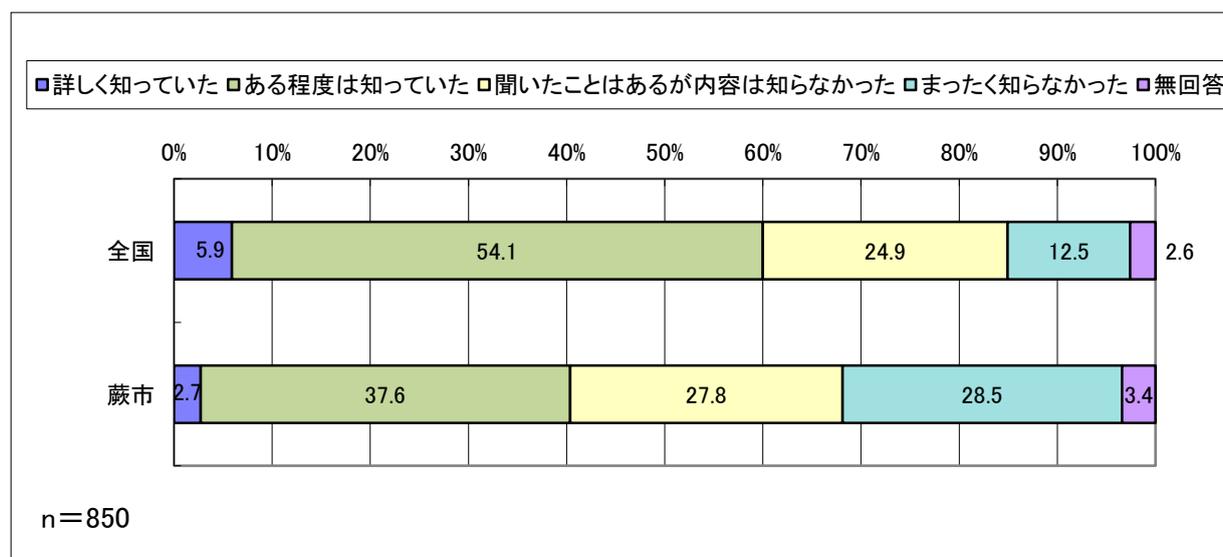
## 【今後の公共施設のあり方などについて】

問27 あなたは、全国的に、公共施設、インフラ(道路、上下水道、橋など)等の老朽化やこれに伴う建替え需要の増大が課題になっていることを、以前から知っていましたか。(〇印は1つ)

回答対象者:850人	件数	割合	順位
詳しく知っていた	50	5.9%	4
ある程度は知っていた	460	54.1%	1
聞いたことはあるが内容は知らなかった	212	24.9%	2
まったく知らなかった	106	12.5%	3
無回答	22	2.6%	

問28 蕨市においても、同じ課題を抱えていることを、以前から知っていましたか。(〇印は1つ)

回答対象者:850人	件数	割合	順位
詳しく知っていた	23	2.7%	4
ある程度は知っていた	320	37.6%	1
聞いたことはあるが内容は知らなかった	236	27.8%	3
まったく知らなかった	242	28.5%	2
無回答	29	3.4%	



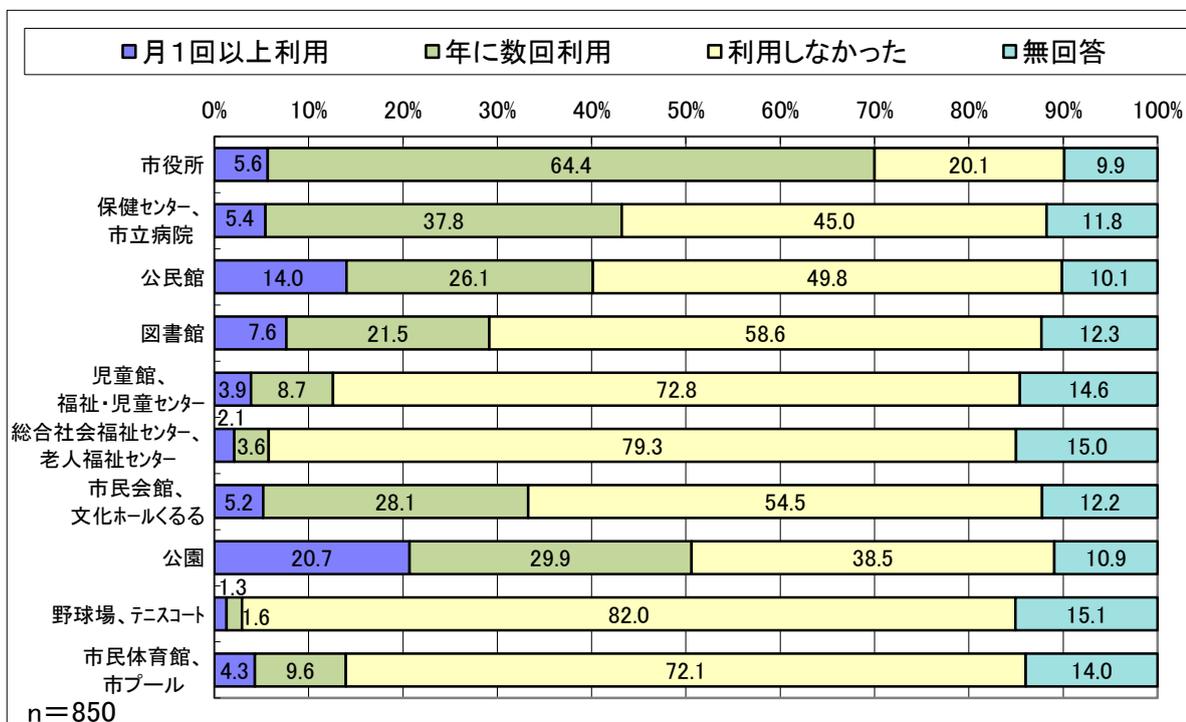
公共施設等更新問題の認知度をたずねたところ、全国的な課題については、「詳しく知っていた」5.9%、「ある程度は知っていた」54.1%を合わせると6割の人が認知しています。

一方で、蕨市の課題については、「詳しく知っていた」2.7%、「ある程度は知っていた」37.6%を合わせるとおよそ4割となり、認知度が下がる結果になりました。

問29 あなたは、過去1年間に下記の蕨市の公共施設をどのくらい利用しましたか。それぞれの施設について、該当する番号に○を付けてください。(○印は1つ)

回答対象者：850人

	月1回以上利用	年に数回利用	利用しなかった	無回答
市役所	48 5.6%	547 64.4%	171 20.1%	84 9.9%
保健センター、市立病院	46 5.4%	321 37.8%	383 45.0%	100 11.8%
公民館	119 14.0%	222 26.1%	423 49.8%	86 10.1%
図書館	65 7.6%	183 21.5%	498 58.6%	104 12.3%
児童館、 福祉・児童センター	33 3.9%	74 8.7%	619 72.8%	124 14.6%
総合社会福祉センター、 老人福祉センター	18 2.1%	31 3.6%	674 79.3%	127 15.0%
市民会館、 文化ホールくるる	44 5.2%	239 28.1%	463 54.5%	104 12.2%
公園	176 20.7%	254 29.9%	327 38.5%	93 10.9%
野球場、テニスコート	11 1.3%	14 1.6%	697 82.0%	128 15.1%
市民体育館、市プール	36 4.3%	82 9.6%	613 72.1%	119 14.0%



過去1年間の公共施設の利用状況についてたずねたところ、最も利用頻度が高い施設は、「月1回以上」が20.7%となっている公園となりました。また、市役所は、「年に数回利用」が64.4%と過半数を超えており、1年間に利用したことがある割合が最も高い施設となっています。

一方で、「総合社会福祉センター、老人福祉センター」、「野球場、テニスコート」は、1年間に利用したことがある人が、5%前後となっており、施設の特性によって、利用状況に大きな差があることが伺えます。

問29 (続き) 「利用しなかった」に○を付けた場合は、その理由に該当する番号に○を付けてください。(○印はいくつでも)

	利用料金が 高い	希望時間 に施設 を利用 でき ない	施設ま でのア クセ スが 不便	他市 や民 間施 設を 利用 して いる	行く 必要 がな い	施設 の存 在を 知ら ない	その他	無 回 答	回 答 対 象 者
市役所	0 0.0%	10 5.8%	9 5.3%	1 0.6%	145 84.8%	1 0.6%	7 4.1%	7 4.1%	171
保健センター、 市立病院	1 0.3%	20 5.2%	25 6.5%	71 18.5%	272 71.0%	9 2.3%	9 2.3%	18 4.7%	383
公民館	0 0.0%	13 3.1%	6 1.4%	9 2.1%	361 85.3%	25 5.9%	14 3.3%	15 3.5%	423
図書館	0 0.0%	29 5.8%	59 11.8%	41 8.2%	324 65.1%	13 2.6%	48 9.6%	20 4.0%	498
児童館、 福祉・児童センター	0 0.0%	7 1.1%	5 0.8%	3 0.5%	543 87.7%	21 3.4%	25 4.0%	27 4.4%	619
総合社会福祉センター、 老人福祉センター	1 0.1%	4 0.6%	10 1.5%	4 0.6%	588 87.2%	46 6.8%	24 3.6%	24 3.6%	674
市民会館、 文化ホールくるる	1 0.2%	8 1.7%	10 2.2%	15 3.2%	389 84.0%	22 4.8%	23 5.0%	14 3.0%	463
公園	1 0.3%	4 1.2%	7 2.1%	14 4.3%	270 82.6%	8 2.4%	25 7.6%	10 3.1%	327
野球場、 テニスコート	3 0.4%	16 2.3%	11 1.6%	20 2.9%	565 81.1%	56 8.0%	32 4.6%	25 3.6%	697
市民体育館、 市プール	4 0.7%	12 2.0%	28 4.6%	35 5.7%	465 75.9%	40 6.5%	35 5.7%	23 3.8%	613



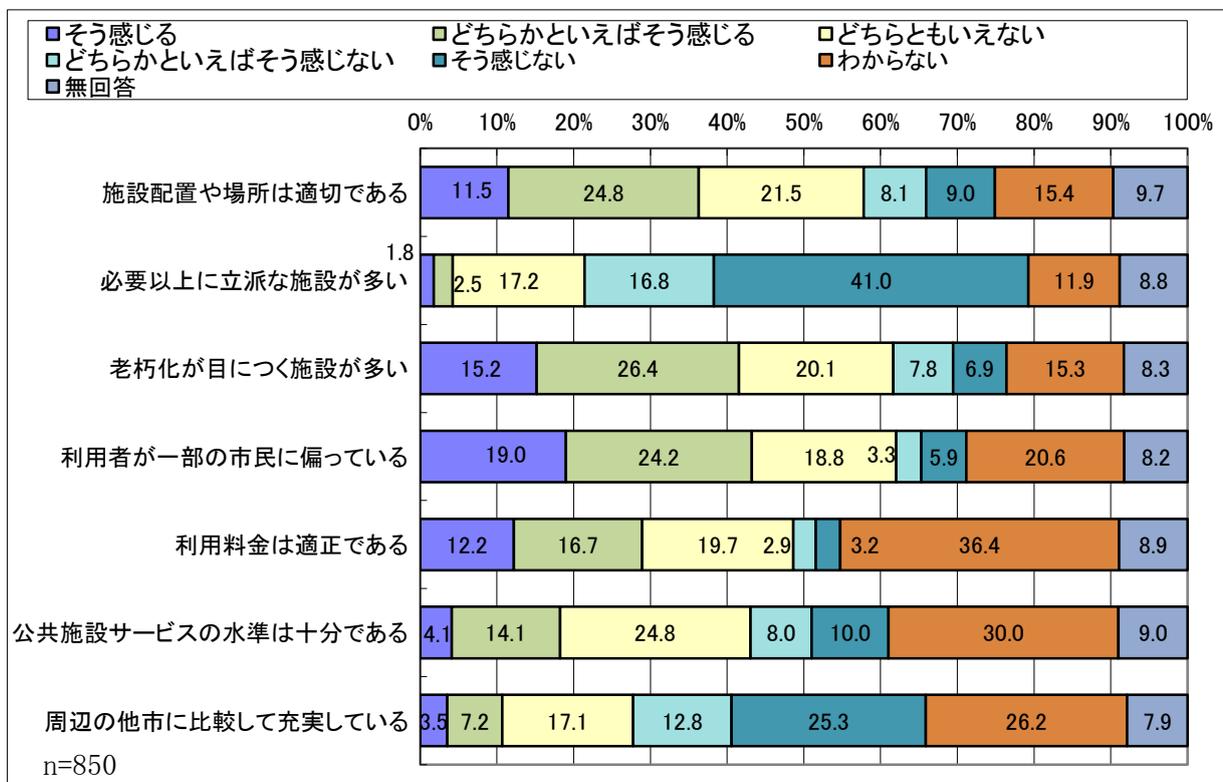
過去1年間に公共施設を利用しなかった人にその理由をたずねたところ、すべての施設において、「行く必要がない」が過半数を超える結果となりました。その他の理由としては、「保健センター、市立病院」の「他市や民間施設を利用している」、「図書館」の「施設までのアクセスが不便」が1割を越えており、潜在的な施設利用のニーズはあるものの、利用をしていない現状が伺えます。

問30 あなたは蕨市の公共施設、インフラ(道路、上下水道、橋など)等について、どのように感じていますか。あなたの気持ちに近いものをお選びください(○印はそれぞれ1つ)。

※公共施設

回答対象者：850人

	そう感じる	どちらかといえばそう感じる	どちらともいえない	どちらかといえばそう感じない	そう感じない	わからない	無回答
施設配置や場所は適切である	98 11.5%	211 24.8%	183 21.5%	69 8.1%	76 9.0%	131 15.4%	82 9.7%
必要以上に立派な施設が多い	15 1.8%	21 2.5%	146 17.2%	143 16.8%	349 41.0%	101 11.9%	75 8.8%
老朽化が目につく施設が多い	129 15.2%	224 26.4%	171 20.1%	66 7.8%	59 6.9%	130 15.3%	71 8.3%
利用者が一部の市民に偏っている	161 19.0%	206 24.2%	160 18.8%	28 3.3%	50 5.9%	175 20.6%	70 8.2%
利用料金は適正である	104 12.2%	142 16.7%	167 19.7%	25 2.9%	27 3.2%	309 36.4%	76 8.9%
公共施設サービスの水準は十分である	35 4.1%	120 14.1%	211 24.8%	68 8.0%	85 10.0%	255 30.0%	76 9.0%
周辺の他市に比較して充実している	30 3.5%	61 7.2%	145 17.1%	109 12.8%	215 25.3%	223 26.2%	67 7.9%



蕨市の公共施設についてどのように感じているかたずねたところ、「利用者が一部の市民に偏っている」が、「そう感じる」、「どちらかといえばそう感じる」の合計が43.2%と最も多く、次いで、「老朽化が目につく施設が多い」が41.6%、「施設配置や場所は適切である」が36.3%で続いています。

また、「必要以上に立派な施設が多い」が「どちらかといえばそう感じない」、「そう感じない」の合計が57.8%と過半数を越えており、施設の配置よりも老朽化や利用状況に課題があることが伺えます。

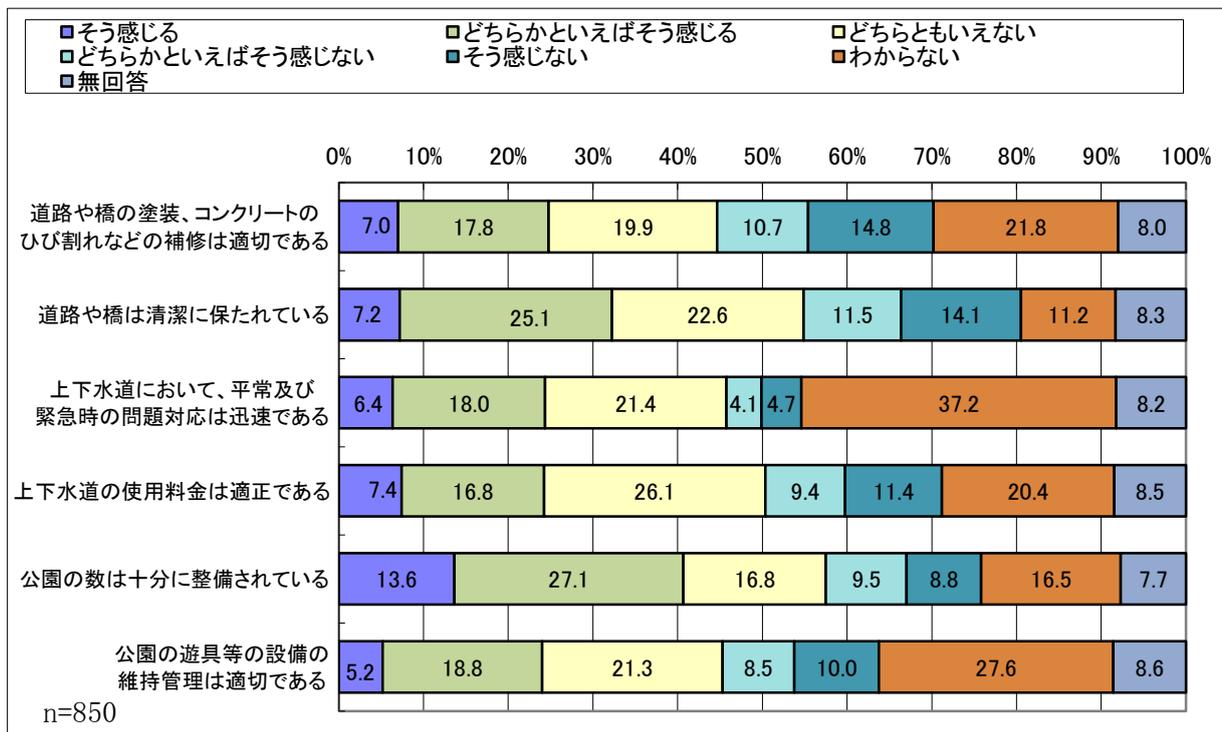
問30  
(続き)

あなたは蕨市の公共施設、インフラ(道路、上下水道、橋など)等について、どのように感じていますか。あなたの気持ちに近いものをお選びください(○印はそれぞれ1つ)。

※インフラ等

回答対象者: 850人

	そう感じる	どちらかといえばそう感じる	どちらともいえない	どちらかといえばそう感じない	そう感じない	わからない	無回答
道路や橋の塗装、コンクリートのひび割れなどの補修は適切である	60 7.0%	151 17.8%	169 19.9%	91 10.7%	126 14.8%	185 21.8%	68 8.0%
道路や橋は清潔に保たれている	61 7.2%	213 25.1%	192 22.6%	98 11.5%	120 14.1%	95 11.2%	71 8.3%
上下水道において、平常及び緊急時の問題対応は迅速である	54 6.4%	153 18.0%	182 21.4%	35 4.1%	40 4.7%	316 37.2%	70 8.2%
上下水道の使用料金は適正である	63 7.4%	143 16.8%	222 26.1%	80 9.4%	97 11.4%	173 20.4%	72 8.5%
公園の数は十分に整備されている	116 13.6%	230 27.1%	143 16.8%	81 9.5%	75 8.8%	140 16.5%	65 7.7%
公園の遊具等の設備の維持管理は適切である	44 5.2%	160 18.8%	181 21.3%	72 8.5%	85 10.0%	235 27.6%	73 8.6%



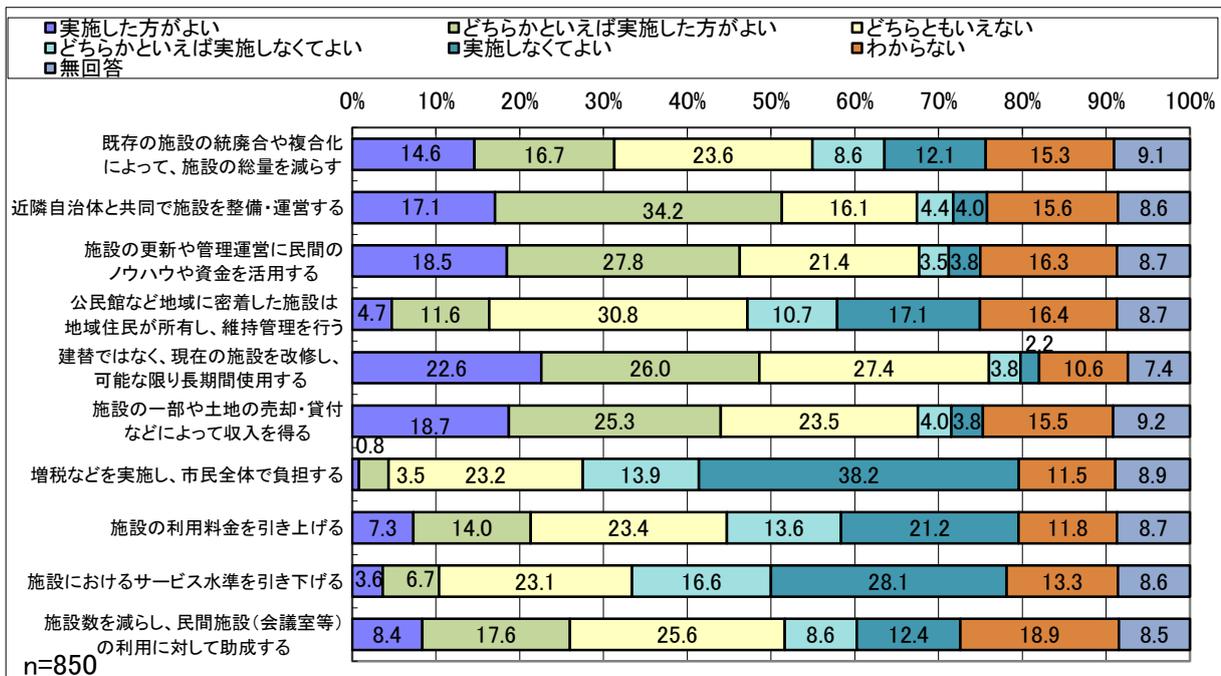
蕨市のインフラ等についてどのように感じているかたずねたところ、「公園の数は十分に整備されている」が「そう感じる」、「どちらかといえばそう感じる」の合計が40.7%ともっとも多く、次いで、「道路や橋は清潔に保たれている」が32.3%で続いています。なお、その他の項目は概ね25%程度となっています。

一方、「上下水道において、平常及び緊急時の問題対応は迅速である」は「わからない」の割合が37.2%となっており、インフラ等の整備・維持管理の状況については実感しにくいものもあることが伺えます。

問31 市では、財政状況が厳しくなるなか、公共施設において必要とされる公共サービスを安定的に提供していくため、様々な取り組みを検討しています。下記の取り組みを実施すべきかについて、あなたの気持ちに近いものをお選びください。(○印はそれぞれ1つ)

回答対象者：850人

	実施した方がよい	どちらかといえば実施した方がよい	どちらともいえない	どちらかといえば実施しなくてよい	実施しなくてよい	わからない	無回答
既存の施設の統廃合や複合化によって、施設の総量を減らす	124 14.6%	142 16.7%	201 23.6%	73 8.6%	103 12.1%	130 15.3%	77 9.1%
近隣自治体と共同で施設を整備・運営する	145 17.1%	291 34.2%	137 16.1%	37 4.4%	34 4.0%	133 15.6%	73 8.6%
施設の更新や管理運営に民間のノウハウや資金を活用する	157 18.5%	236 27.8%	182 21.4%	30 3.5%	32 3.8%	139 16.3%	74 8.7%
公民館など地域に密着した施設は地域住民が所有し、維持管理を行う	40 4.7%	99 11.6%	262 30.8%	91 10.7%	145 17.1%	139 16.4%	74 8.7%
建替ではなく、現在の施設を改修し、可能な限り長期間使用する	192 22.6%	221 26.0%	233 27.4%	32 3.8%	19 2.2%	90 10.6%	63 7.4%
施設の一部や土地の売却・貸付などによって収入を得る	159 18.7%	215 25.3%	200 23.5%	34 4.0%	32 3.8%	132 15.5%	78 9.2%
増税などを実施し、市民全体で負担する	7 0.8%	30 3.5%	197 23.2%	118 13.9%	325 38.2%	98 11.5%	75 8.9%
施設の利用料金を引き上げる	62 7.3%	119 14.0%	199 23.4%	116 13.6%	180 21.2%	100 11.8%	74 8.7%
施設におけるサービス水準を引き下げる	31 3.6%	57 6.7%	196 23.1%	141 16.6%	239 28.1%	113 13.3%	73 8.6%
施設数を減らし、民間施設(会議室等)の利用に対して助成する	71 8.4%	150 17.6%	218 25.6%	73 8.6%	105 12.4%	161 18.9%	72 8.5%



公共施設に係る今後の取り組みについて意向をたずねたところ、「近隣自治体と共同で施設を整備・運営する」が「実施した方がよい」、「どちらかといえば実施した方がよい」の合計が51.3%と最も多く、「建替ではなく、現在の施設を改修し、可能な限り長期間使用する」が48.6%で続いており、広域連携や施設の長寿命化に対する積極的な意向が伺えます。

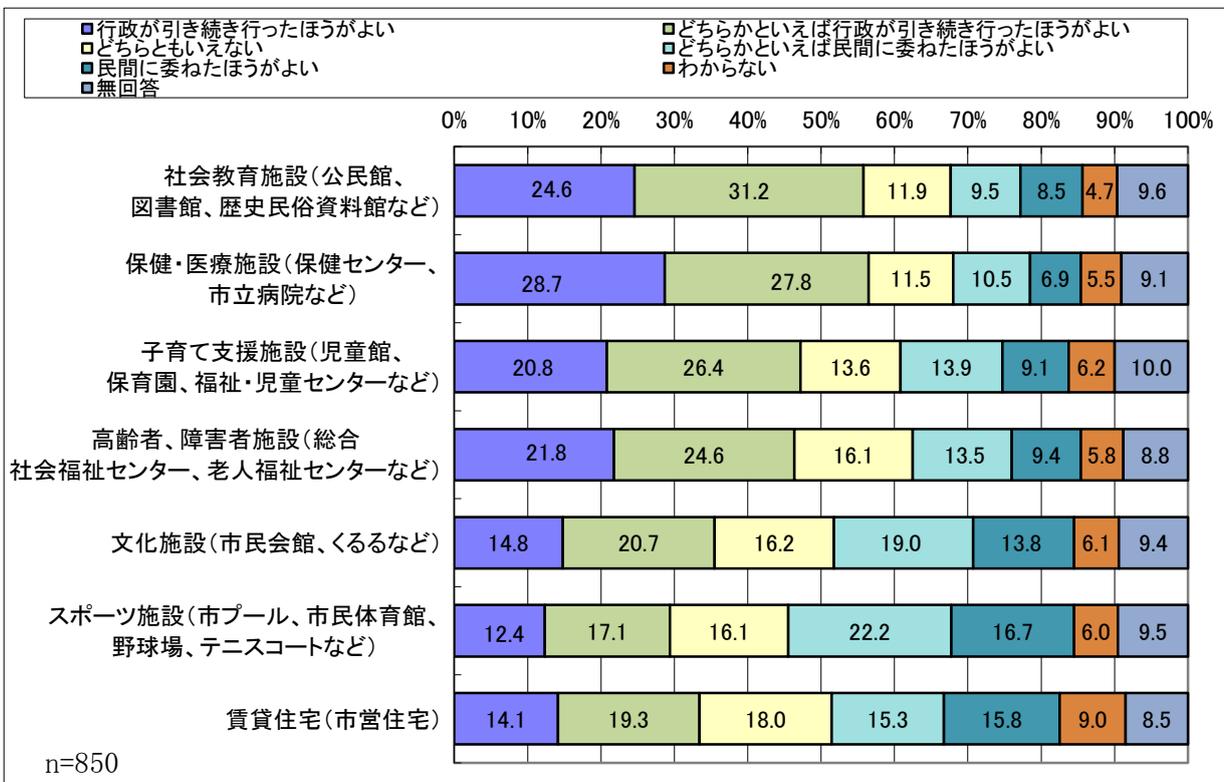
一方、「増税などを実施し、市民全体で負担する」は、「どちらかといえば実施しなくてよい」、「実施しなくてよい」の合計が52.1%と過半数を超えており、実施に対して消極的な意向が伺えます。

問32

今後、少子高齢化の進展など、人口構造の変化を踏まえたうえで、現在公共施設が提供している機能に関して、行政が引き続き実施した方がよいか、民間に委ねた方がよいかについて、あなたの気持ちに近いものを1つずつお選びください。  
(○印はそれぞれ1つ)

回答対象者：850人

	行政が引き続き行ったほうがよい	どちらかといえば行政が引き続き行ったほうがよい	どちらともいえない	民間に委ねたほうがよい	どちらかといえば民間に委ねたほうがよい	わからない	無回答
社会教育施設(公民館、図書館、歴史民俗資料館など)	209 24.6%	265 31.2%	101 11.9%	81 9.5%	72 8.5%	40 4.7%	82 9.6%
保健・医療施設(保健センター、市立病院など)	244 28.7%	236 27.8%	98 11.5%	89 10.5%	59 6.9%	47 5.5%	77 9.1%
子育て支援施設(児童館、保育園、福祉・児童センターなど)	177 20.8%	224 26.4%	116 13.6%	118 13.9%	77 9.1%	53 6.2%	85 10.0%
高齢者、障害者施設(総合社会福祉センター、老人福祉センターなど)	185 21.8%	209 24.6%	137 16.1%	115 13.5%	80 9.4%	49 5.8%	75 8.8%
文化施設(市民会館、くるるなど)	126 14.8%	176 20.7%	138 16.2%	161 19.0%	117 13.8%	52 6.1%	80 9.4%
スポーツ施設(市プール、市民体育館、野球場、テニスコートなど)	105 12.4%	145 17.1%	137 16.1%	189 22.2%	142 16.7%	51 6.0%	81 9.5%
賃貸住宅(市営住宅)	120 14.1%	164 19.3%	153 18.0%	130 15.3%	134 15.8%	77 9.0%	72 8.5%

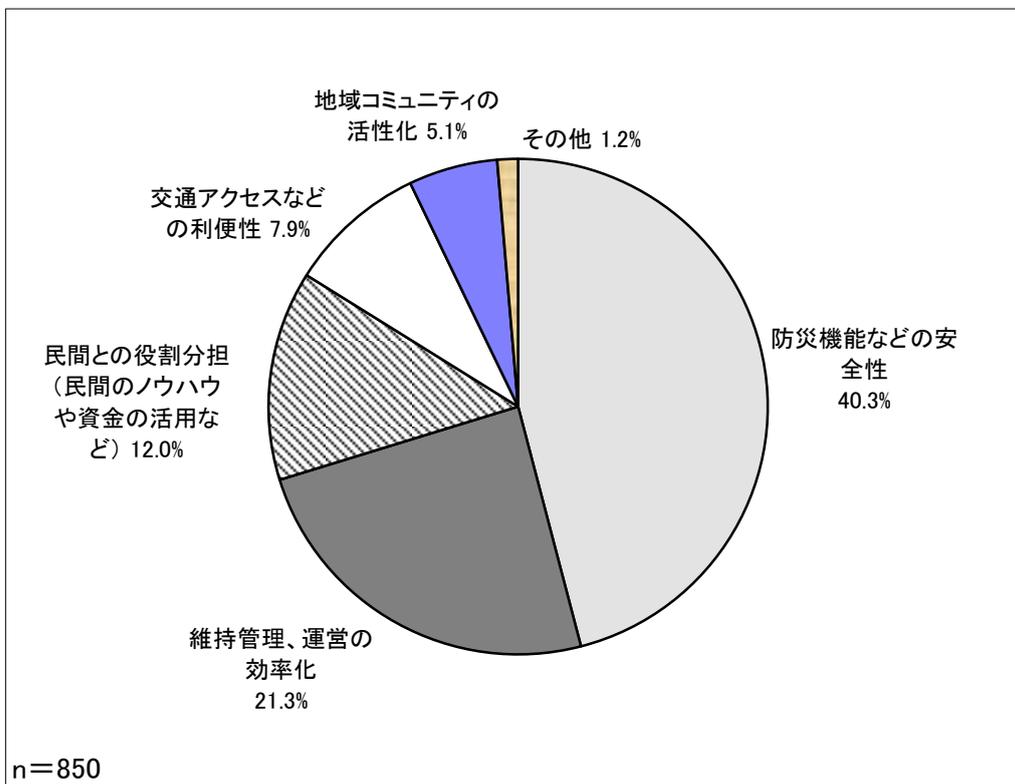


蕨市の公共施設が提供している機能について、行政と民間のどちらが実施すべきかたずねたところ、「保健・医療施設」が、「行政が引き続き行ったほうがよい」、「どちらかといえば行政が引き続き行ったほうがよい」の合計が56.5%と最も多く、次いで「社会教育施設」が55.8%でいずれも過半数を超えています。一方、「スポーツ施設」については、民間が実施すべきとする意向が行政を上回っており、「文化施設」、「賃貸住宅」もほぼ同数となっています。

問33

今後、公共施設やインフラ(道路、橋、上下水道など)等を維持・整備するにあたり、もっとも重視すべきと考えるものを1つだけ選び、該当する番号に○を付けてください。(○印は1つ)

回答対象者: 850人	件数	割合	順位
防災機能などの安全性	343	40.3%	1
維持管理、運営の効率化	181	21.3%	2
民間との役割分担(民間のノウハウや資金の活用など)	102	12.0%	3
交通アクセスなどの利便性	67	7.9%	4
地域コミュニティの活性化	43	5.1%	5
その他	10	1.2%	6
無回答	104	12.2%	



公共施設やインフラ等を維持・整備にあたって重視すべきことをたずねたところ、「防災機能などの安全性」が40.3%でもっとも多く、次いで、「維持管理、運営の効率化」が21.3%、「民間との役割分担(民間のノウハウや資金の活用など)」が12.0%となっています。

【重点施策（重要度）】 ※項目は、「コンパクトシティ蔵」将来ビジョン実現計画の柱に沿って掲載しています

問34 あなたにとって、次に示す市の施策の重要度・満足度はどのくらいですか。1～36の各項目について、あなたの気持ちに近いものをそれぞれ1つずつお選びください

1：重要である 2：どちらかといえば重要である 3：どちらともいえない  
4：どちらかといえば重要ではない 5：重要ではない 6：わからない

(件)

1	2	3	4	5	6	平均値
---	---	---	---	---	---	-----

【安全で安心して暮らせるまち】

( ) 内は昨年の順位

1) 防災対策	486	220	42	5	1	34	4.57	3(3)
2) 防犯対策	483	226	36	3	2	33	4.58	2(1)
3) 交通安全対策	364	295	73	8	4	33	4.35	6(4)
4) 消費者保護	224	274	172	22	12	65	3.96	17(18)
5) 消防・救急体制	495	168	43	3	4	44	4.61	1(2)

【豊かな個性を育み子供たちの未来輝くまち】

6) 子育て支援	342	228	79	6	6	92	4.35	7(10)
7) 学校教育の充実	351	223	80	8	0	95	4.39	4(9)
8) 青少年の健全育成	286	248	120	9	5	92	4.20	10(12)

【みんなにあたたかく健康に生活できるまち】

9) 地域における支え合いなど地域福祉活動の促進	189	305	164	24	13	59	3.91	20(20)
10) 国民健康保険、介護など社会保障の充実	354	265	101	11	3	44	4.30	8(6)
11) 高齢者の生きがいくりと社会参加の促進	188	313	163	20	13	64	3.92	19(21)
12) 障害者支援	259	306	105	16	8	65	4.14	12(13)
13) 健康づくりの推進	184	300	171	28	21	53	3.85	23(22)
14) 市立病院の充実	322	225	118	30	24	52	4.10	15(7)

【にぎわいと活力、市民文化と歴史がとけあう元気なまち】

15) 地域資源を活用したまちの魅力の発信	164	253	205	47	20	60	3.72	27(27)
16) 商店街の活性化	226	278	174	29	20	38	3.91	21(24)
17) 勤労者支援	162	271	200	26	14	80	3.80	25(26)
18) 生涯学習の充実	110	267	231	49	24	71	3.57	31(31)
19) 芸術・文化活動の振興	99	231	278	49	29	66	3.47	33(34)
20) スポーツ・レクリエーション活動の推進	98	246	267	51	28	65	3.49	32(32)

【快適で過ごしやすく環境にやさしいまち】

21) 駅周辺の整備	338	248	107	21	27	26	4.15	11(14)
22) 区画整理	205	235	196	33	37	52	3.76	26(25)
23) 道路・歩道の整備	295	292	114	18	19	20	4.12	14(11)
24) コミュニティバスなどの公共交通の充実	225	287	165	38	24	34	3.88	22(23)
25) 上・下水道の整備、雨水対策	322	292	102	11	10	34	4.23	9(8)
26) 公園緑地の整備、身近な緑と花の充実	184	322	170	30	25	32	3.83	24(19)
27) 市営住宅の整備	102	163	257	67	70	104	3.24	36(35)
28) ごみの減量とリサイクル、自然エネルギーの利用促進	232	306	142	18	17	42	4.00	16(16)

【一人ひとりの心でつなぐ笑顔あふれるまち】

29) 地域コミュニティ・市民活動の活性化	143	277	226	31	20	67	3.71	28(28)
30) 人権擁護と平和意識の高揚	146	229	217	44	33	84	3.61	30(29)
31) 国際交流の推進	87	208	253	63	47	94	3.34	35(36)
32) 男女共同参画の推進	102	202	263	56	35	94	3.43	34(33)

【その他】

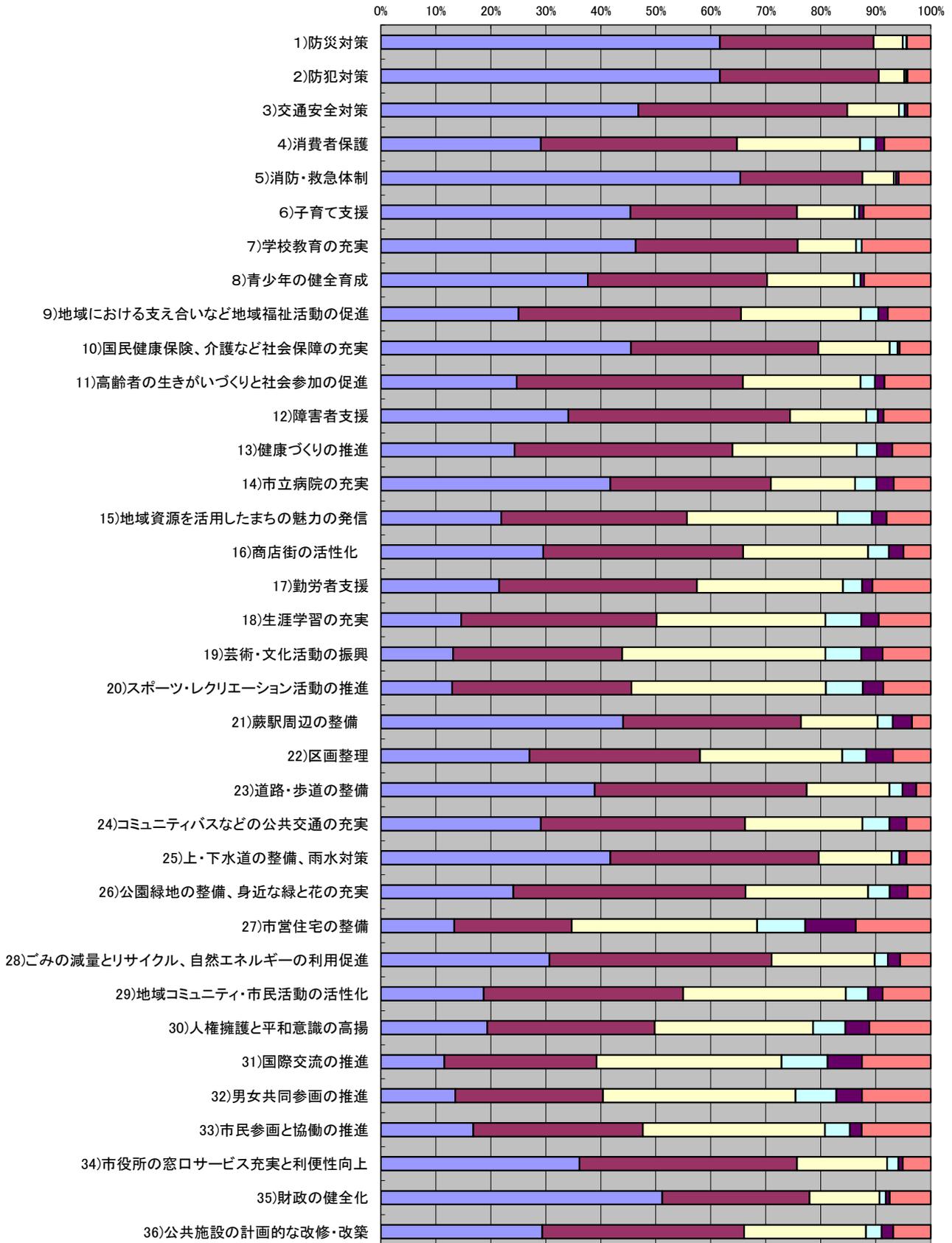
33) 市民参画と協働の推進	126	231	248	34	16	94	3.64	29(30)
34) 市役所の窓口サービス充実と利便性向上	278	304	126	16	6	39	4.14	13(15)
35) 財政の健全化	390	204	97	9	5	57	4.37	5(5)
36) 公共施設の計画的な改修・改築	224	280	169	22	16	52	3.95	18(17)

施策全体重要度平均 3.96

※平均値とは、選択肢「重要である」を5点、「どちらかといえば重要である」を4点、「どちらともいえない」を3点、「どちらかといえば重要ではない」を2点、「重要ではない」を1点と数値化し、その加重平均のことを示します。平均値は1～5点となり、5点に近いほど「重要度が高い」と捉えます。

# 各施策の重要度

■重要である   
 ■どちらかといえば重要である   
 ■どちらともいえない   
 ■どちらかといえば重要ではない   
 ■重要ではない   
 ■わからない



平均値順（重要度）

※各項目は上位3つ、下位3つを網掛け。

(参考)

順位	項目	1	2	3	4	5	6	平均値	昨年	比較
1	5) 消防・救急体制	495	168	43	3	4	44	4.61	4.71	▲ 0.10
2	2) 防犯対策	483	226	36	3	2	33	4.58	4.72	▲ 0.14
3	1) 防災対策	486	220	42	5	1	34	4.57	4.71	▲ 0.14
4	7) 学校教育の充実	351	223	80	8	0	95	4.39	4.44	▲ 0.05
5	35) 財政の健全化	390	204	97	9	5	57	4.37	4.48	▲ 0.11
6	3) 交通安全対策	364	295	73	8	4	33	4.35	4.52	▲ 0.17
7	6) 子育て支援	342	228	79	6	6	92	4.35	4.40	▲ 0.05
8	10) 国民健康保険、介護など社会保障の充実	354	265	101	11	3	44	4.30	4.48	▲ 0.18
9	25) 上・下水道の整備、雨水対策	322	292	102	11	10	34	4.23	4.45	▲ 0.22
10	8) 青少年の健全育成	286	248	120	9	5	92	4.20	4.30	▲ 0.10
11	21) 蕨駅周辺の整備	338	248	107	21	27	26	4.15	4.28	▲ 0.13
12	12) 障害者支援	259	306	105	16	8	65	4.14	4.30	▲ 0.16
13	34) 市役所の窓口サービス充実と利便性向上	278	304	126	16	6	39	4.14	4.27	▲ 0.13
14	23) 道路・歩道の整備	295	292	114	18	19	20	4.12	4.32	▲ 0.20
15	14) 市立病院の充実	322	225	118	30	24	52	4.10	4.47	▲ 0.37
16	28) ごみの減量とリサイクル、自然エネルギーの利用促進	232	306	142	18	17	42	4.00	4.16	▲ 0.16
17	4) 消費者保護	224	274	172	22	12	65	3.96	4.12	▲ 0.16
18	36) 公共施設の計画的な改修・改築	224	280	169	22	16	52	3.95	4.14	▲ 0.19
19	11) 高齢者の生きがいづくりと社会参加の促進	188	313	163	20	13	64	3.92	4.09	▲ 0.17
20	9) 地域における支え合いなど地域福祉活動の促進	189	305	164	24	13	59	3.91	4.09	▲ 0.18
21	16) 商店街の活性化	226	278	174	29	20	38	3.91	4.00	▲ 0.09
22	24) コミュニティバスなどの公共交通の充実	225	287	165	38	24	34	3.88	4.00	▲ 0.12
23	13) 健康づくりの推進	184	300	171	28	21	53	3.85	4.04	▲ 0.19
24	26) 公園緑地の整備、身近な緑と花の充実	184	322	170	30	25	32	3.83	4.12	▲ 0.29
25	17) 勤労者支援	162	271	200	26	14	80	3.80	3.88	▲ 0.08
26	22) 区画整理	205	235	196	33	37	52	3.76	3.92	▲ 0.16
27	15) 地域資源を活用したまちの魅力の発信	164	253	205	47	20	60	3.72	3.81	▲ 0.09
28	29) 地域コミュニティ・市民活動の活性化	143	277	226	31	20	67	3.71	3.78	▲ 0.07
29	33) 市民参画と協働の推進	126	231	248	34	16	94	3.64	3.74	▲ 0.10
30	30) 人権擁護と平和意識の高揚	146	229	217	44	33	84	3.61	3.75	▲ 0.14
31	18) 生涯学習の充実	110	267	231	49	24	71	3.57	3.72	▲ 0.15
32	20) スポーツ・レクリエーション活動の推進	98	246	267	51	28	65	3.49	3.65	▲ 0.16
33	19) 芸術・文化活動の振興	99	231	278	49	29	66	3.47	3.57	▲ 0.10
34	32) 男女共同参画の推進	102	202	263	56	35	94	3.43	3.59	▲ 0.16
35	31) 国際交流の推進	87	208	253	63	47	94	3.34	3.51	▲ 0.17
36	27) 市営住宅の整備	102	163	257	67	70	104	3.24	3.57	▲ 0.33

施策重要度平均 3.96 4.11 ▲ 0.15

●市民が重要と思う施策は、平均値からみると、1位「消防・救急体制」（前年2位）、2位「防犯対策」（前年1位）、3位「防災対策」（前年3位）となり、前年度と同様に、【安全で安心して暮らせるまち】の分野が高位を占める結果になりました。それに対し、「市営住宅の整備」、「国際交流の推進」、「男女共同参画の推進」などの施策は、重要度が下位となっています。

●各項目の順位に大きな変化はありませんが、「市立病院の充実」が前年度の7位から順位を下げて15位となっています。

●施策全体の平均は前年度と比べて0.15ポイント下がっていますが、本設問は最終設問であるため、公共施設等マネジメントに係る設問を約3ページ追加したことによる大幅な設問数の増加が、「どちらともいえない」という回答の増加につながった可能性はあります。ただし、「市立病院の充実」、「市営住宅の整備」、「公園緑地の整備、身近な緑と花の充実」は、前年度から平均値が0.3ポイント前後減少しており、市民の重要度が下がっている可能性が推測できます。

【重点施策（満足度）】 ※項目は、「コンパクトシティ 蕨」将来ビジョン実現計画の柱に沿って掲載しています

問34 あなたにとって、次に示す市の施策の重要度・満足度はどのくらいですか。1～3の6の各項目について、あなたの気持ちに近いものをそれぞれ1つずつお選びください

1：満足している 2：どちらかといえば満足している 3：どちらともいえない  
4：どちらかといえば満足していない 5：満足していない 6：わからない

(件)

1	2	3	4	5	6	平均値
---	---	---	---	---	---	-----

【安全で安心して暮らせるまち】

( ) 内は昨年の順位

1) 防災対策	38	170	327	56	41	122	3.17	2(3)
2) 防犯対策	29	141	313	92	82	94	2.91	24(24)
3) 交通安全対策	25	160	324	77	56	102	3.03	11(10)
4) 消費者保護	21	71	372	50	34	195	2.99	18(16)
5) 消防・救急体制	87	212	220	35	30	126	3.50	1(1)

【豊かな個性を育み子供たちの未来輝くまち】

6) 子育て支援	27	118	248	52	37	241	3.10	7(7)
7) 学校教育の充実	19	103	250	60	37	256	3.01	12(11)
8) 青少年の健全育成	15	73	278	54	38	264	2.94	23(21)

【みんなにあたたかく健康に生活できるまち】

9) 地域における支え合いなど地域福祉活動の促進	15	103	325	44	25	204	3.08	9(8)
10) 国民健康保険、介護など社会保障の充実	19	115	306	61	46	178	3.00	15(12)
11) 高齢者の生きがいづくりと社会参加の促進	12	79	321	51	26	231	3.00	15(14)
12) 障害者支援	13	73	305	34	30	266	3.01	13(13)
13) 健康づくりの推進	16	109	323	50	20	202	3.10	6(6)
14) 市立病院の充実	12	100	258	93	103	163	2.69	32(32)

【にぎわいと活力、市民文化と歴史がとけあう元気なまち】

15) 地域資源を活用したまちの魅力の発信	8	52	315	81	85	168	2.66	34(33)
16) 商店街の活性化	4	42	228	142	187	120	2.23	36(36)
17) 勤労者支援	6	39	292	77	62	238	2.68	33(35)
18) 生涯学習の充実	14	78	324	52	36	208	2.96	21(25)
19) 芸術・文化活動の振興	12	66	324	58	43	205	2.89	27(26)
20) スポーツ・レクリエーション活動の推進	7	79	317	47	46	213	2.91	25(20)

【快適で過ごしやすく環境にやさしいまち】

21) 蕨駅周辺の整備	22	135	215	127	155	72	2.61	35(34)
22) 区画整理	20	100	276	82	93	152	2.78	30(28)
23) 道路・歩道の整備	30	132	261	113	121	65	2.75	31(30)
24) コミュニティバスなどの公共交通の充実	59	179	250	81	68	92	3.13	3(2)
25) 上・下水道の整備、雨水対策	46	165	259	76	64	116	3.09	8(4)
26) 公園緑地の整備、身近な緑と花の充実	47	177	272	77	61	91	3.11	4(5)
27) 市営住宅の整備	16	45	286	41	38	294	2.91	26(27)
28) ごみの減量とリサイクル、自然エネルギーの利用促進	23	107	291	68	57	175	2.95	22(22)

【一人ひとりの心でつなぐ笑顔あふれるまち】

29) 地域コミュニティ・市民活動の活性化	22	94	331	41	23	215	3.10	5(9)
30) 人権擁護と平和意識の高揚	19	64	327	33	20	259	3.06	10(15)
31) 国際交流の推進	14	66	316	32	29	262	3.01	14(23)
32) 男女共同参画の推進	14	47	326	36	21	275	2.99	17(19)

【その他】

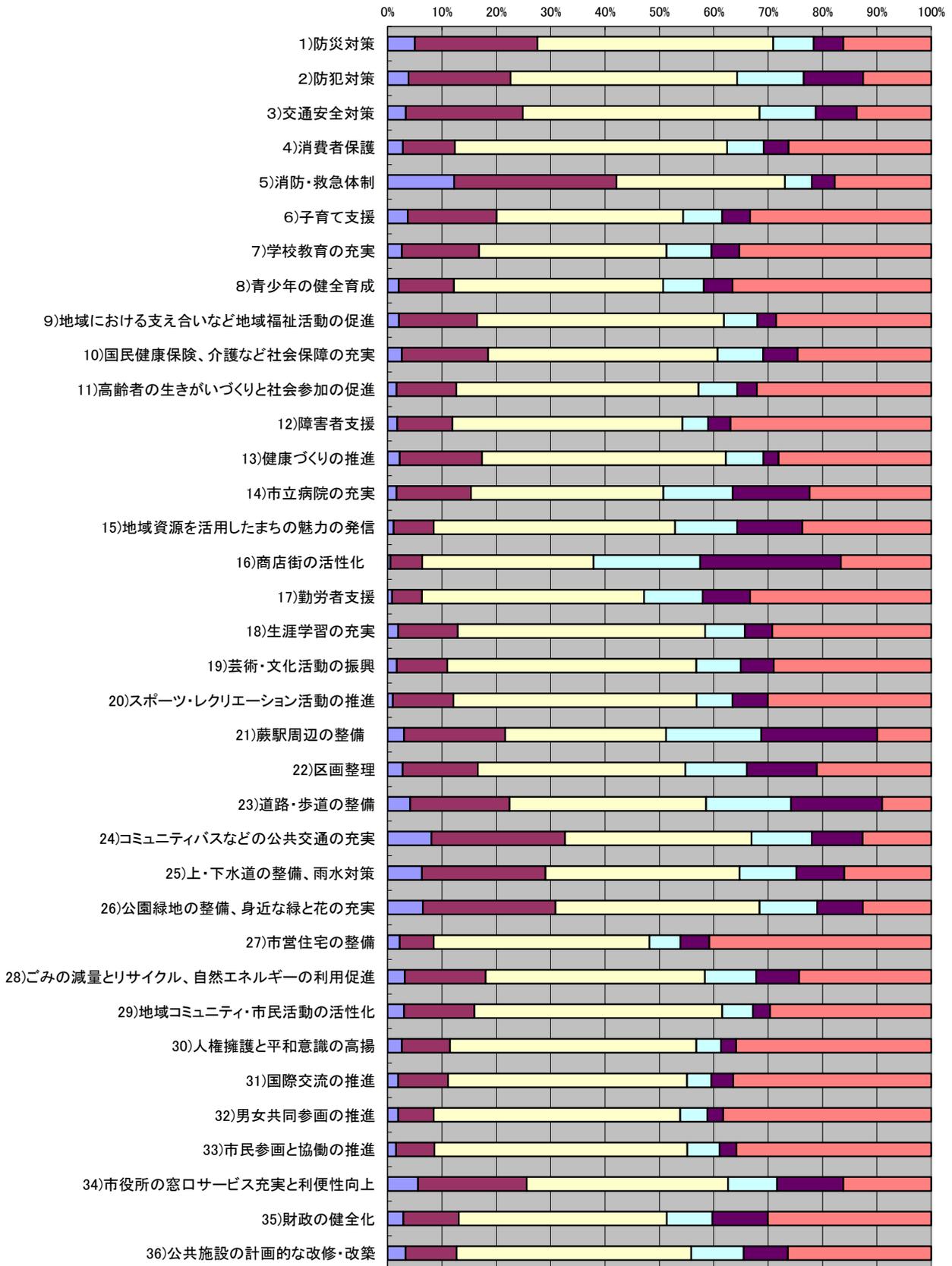
33) 市民参画と協働の推進	11	50	330	42	22	254	2.97	20(17)
34) 市役所の窓口サービス充実と利便性向上	41	146	271	66	89	118	2.97	19(18)
35) 財政の健全化	21	74	278	61	74	218	2.82	29(31)
36) 公共施設の計画的な改修・改築	24	68	313	70	59	191	2.87	28(29)

施策全体満足度平均 2.94

※平均値とは、選択肢「重要である」を5点、「どちらかといえば重要である」を4点、「どちらともいえない」を3点、「どちらかといえば重要ではない」を2点、「重要ではない」を1点と数値化し、その加重平均のことを示します。平均値は1～5点となり、5点に近いほど「重要度が高い」と捉えます。

# 各施策の満足度

■満足している   
 ■どちらかといえば満足している   
 ■どちらともいえない   
 ■どちらかといえば満足していない   
 ■満足していない   
 ■わからない



平均値順(満足度)

平均値順(満足度)

※各項目は上位3つ、下位3つを網掛け。

(参考)

順位	項目	1	2	3	4	5	6	平均値	昨年	比較
1	5) 消防・救急体制	87	212	220	35	30	126	3.50	3.47	▲ 0.03
2	1) 防災対策	38	170	327	56	41	122	3.17	3.28	▲ 0.11
3	24) コミュニティバスなどの公共交通の充実	59	179	250	81	68	92	3.13	3.28	▲ 0.15
4	26) 公園緑地の整備、身近な緑と花の充実	47	177	272	77	61	91	3.11	3.26	▲ 0.15
5	29) 地域コミュニティ・市民活動の活性化	22	94	331	41	23	215	3.10	3.22	▲ 0.12
6	13) 健康づくりの推進	16	109	323	50	20	202	3.10	3.24	▲ 0.14
7	6) 子育て支援	27	118	248	52	37	241	3.10	3.23	▲ 0.13
8	25) 上・下水道の整備、雨水対策	46	165	259	76	64	116	3.09	3.28	▲ 0.19
9	9) 地域における支え合いなど地域福祉活動の促進	15	103	325	44	25	204	3.08	3.23	▲ 0.15
10	30) 人権擁護と平和意識の高揚	19	64	327	33	20	259	3.06	3.13	▲ 0.07
11	3) 交通安全対策	25	160	324	77	56	102	3.03	3.17	▲ 0.14
12	7) 学校教育の充実	19	103	250	60	37	256	3.01	3.16	▲ 0.15
13	12) 障害者支援	13	73	305	34	30	266	3.01	3.16	▲ 0.15
14	31) 国際交流の推進	14	66	316	32	29	262	3.01	3.07	▲ 0.06
15	10) 国民健康保険、介護など社会保障の充実	19	115	306	61	46	178	3.00	3.16	▲ 0.16
16	11) 高齢者の生きがいづくりと社会参加の促進	12	79	321	51	26	231	3.00	3.15	▲ 0.15
17	32) 男女共同参画の推進	14	47	326	36	21	275	2.99	3.09	▲ 0.10
18	4) 消費者保護	21	71	372	50	34	195	2.99	3.13	▲ 0.14
19	34) 市役所の窓口サービス充実と利便性向上	41	146	271	66	89	118	2.97	3.09	▲ 0.12
20	33) 市民参画と協働の推進	11	50	330	42	22	254	2.97	3.11	▲ 0.14
21	18) 生涯学習の充実	14	78	324	52	36	208	2.96	3.03	▲ 0.07
22	28) ごみの減量とリサイクル、自然エネルギーの利用促進	23	107	291	68	57	175	2.95	3.07	▲ 0.12
23	8) 青少年の健全育成	15	73	278	54	38	264	2.94	3.08	▲ 0.14
24	2) 防犯対策	29	141	313	92	82	94	2.91	3.06	▲ 0.15
25	20) スポーツ・レクリエーション活動の推進	7	79	317	47	46	213	2.91	3.08	▲ 0.17
26	27) 市営住宅の整備	16	45	286	41	38	294	2.91	2.98	▲ 0.07
27	19) 芸術・文化活動の振興	12	66	324	58	43	205	2.89	3.03	▲ 0.14
28	36) 公共施設の計画的な改修・改築	24	68	313	70	59	191	2.87	2.92	▲ 0.05
29	35) 財政の健全化	21	74	278	61	74	218	2.82	2.87	▲ 0.05
30	22) 区画整理	20	100	276	82	93	152	2.78	2.96	▲ 0.18
31	23) 道路・歩道の整備	30	132	261	113	121	65	2.75	2.89	▲ 0.14
32	14) 市立病院の充実	12	100	258	93	103	163	2.69	2.84	▲ 0.15
33	17) 勤労者支援	6	39	292	77	62	238	2.68	2.76	▲ 0.08
34	15) 地域資源を活用したまちの魅力の発信	8	52	315	81	85	168	2.66	2.82	▲ 0.16
35	21) 蕨駅周辺の整備	22	135	215	127	155	72	2.61	2.77	▲ 0.16
36	16) 商店街の活性化	4	42	228	142	187	120	2.23	2.32	▲ 0.09

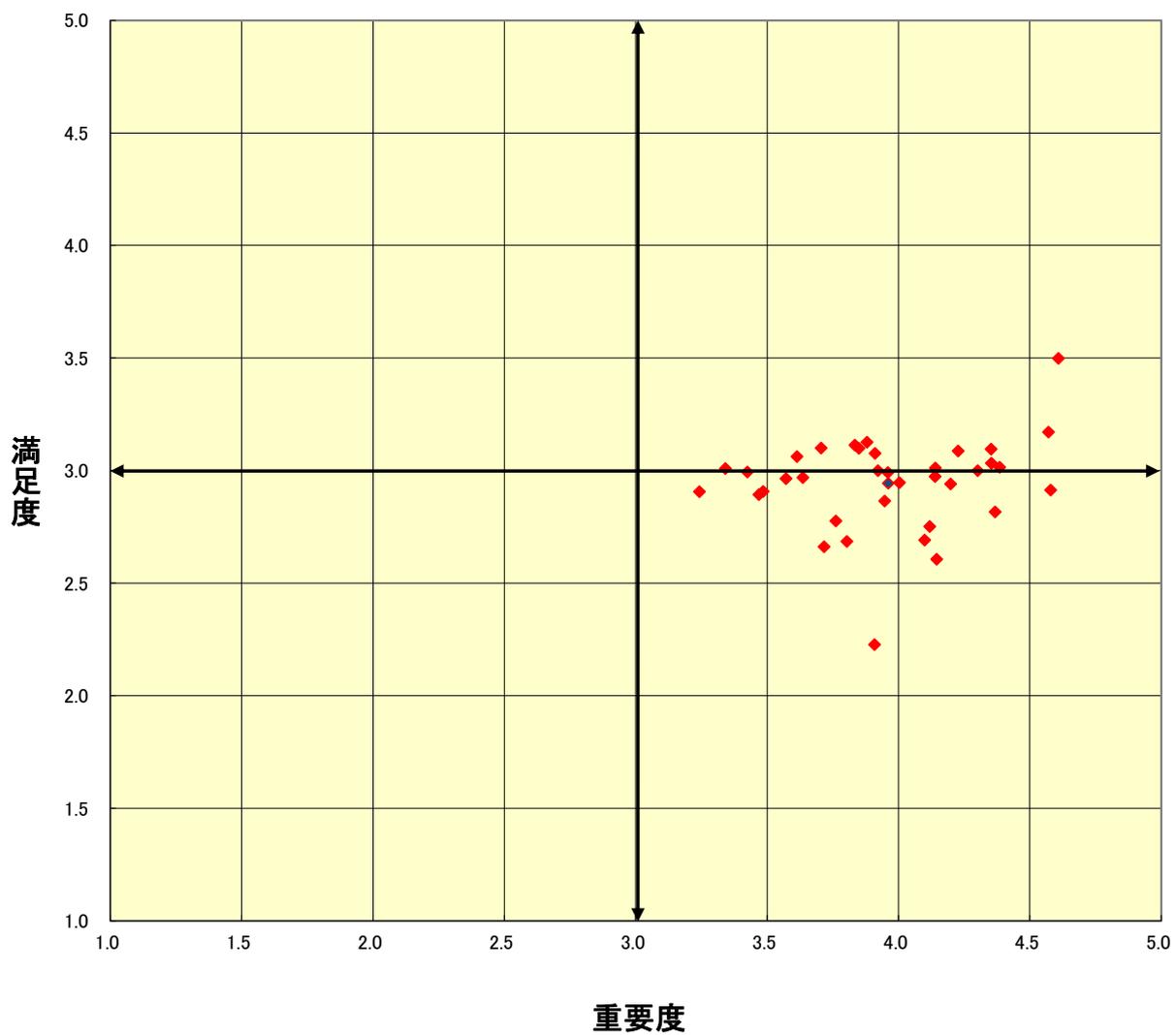
施策満足度平均 2.94 3.07 ▲ 0.13

●市民の満足度が高い施策は、1位「消防・救急体制」(前年1位)、2位「防災対策」(前年3位)、3位「コミュニティバスなどの公共交通の充実」(前年2位)となっています。それに対し、「商店街の活性化」、「蕨駅周辺の整備」、「地域資源を活用したまちの魅力の発信」は、満足度が低くなっており、各項目の順位については、前年度と同様の傾向が続いています。

●満足度は「わからない」という回答が全体に多く、直接かかわりが実感しにくい施策については、市の施策やその効果がよくわからないということが考えられます。そうした傾向が顕著な施策としては、6「わからない」の割合が4割前後に位置する「市営住宅の整備」、「男女共同参画の推進」、「障害者支援」が挙げられます。

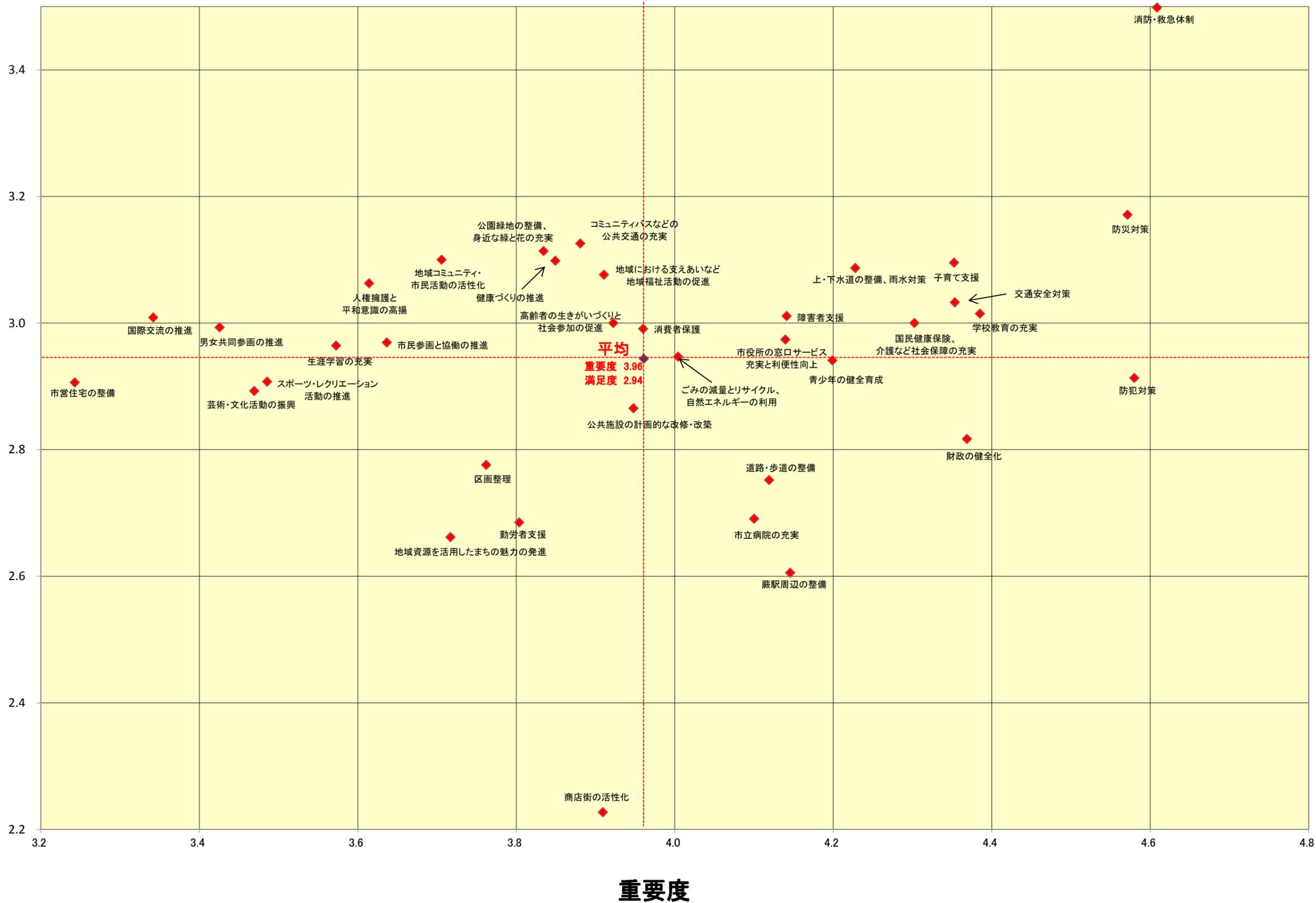
●施策全体の平均は前年度と比べて0.13ポイント下がっていますが、本設問は最終設問であるため、公共施設等マネジメントに係る設問を約3ページ追加したことによる大幅な設問数の増加が、「どちらともいえない」という回答の増加につながった可能性はあります。なお、「消防・救急体制」については、唯一前年度から平均値が上がっています。

# ポジショニングマップ(全体)



# ポジショニングマップ(拡大図)

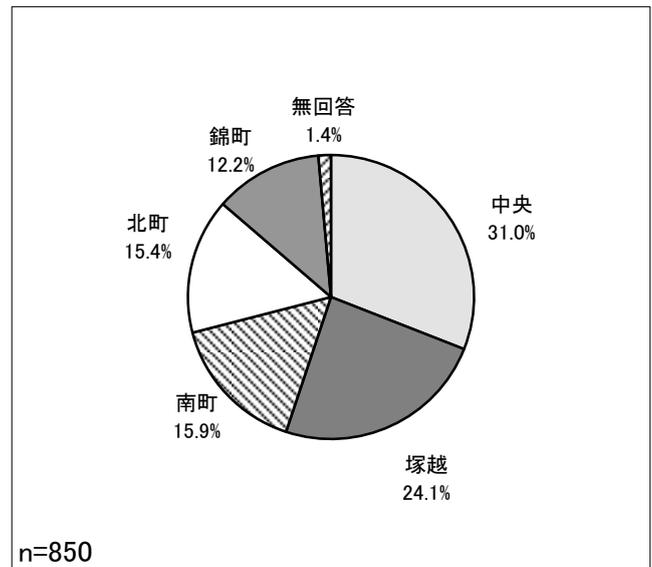
満足度



# 【属性】

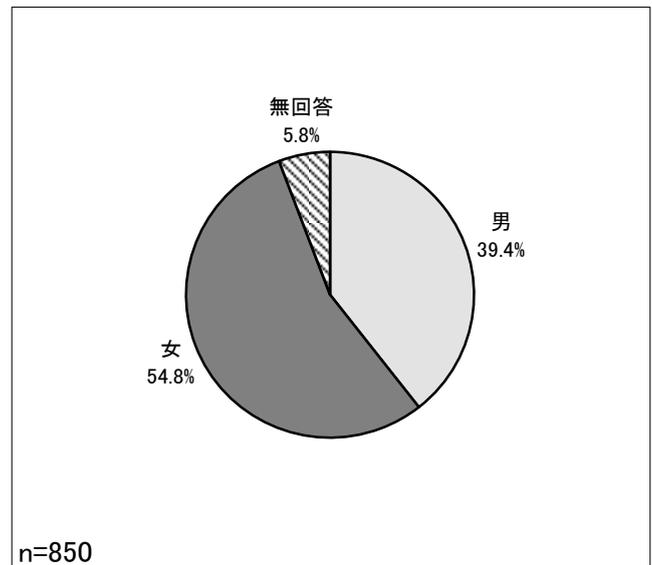
## ア. 地区

回答対象者:850人	件数	割合	順位
中央	263	31.0%	1
塚越	205	24.1%	2
南町	135	15.9%	3
北町	131	15.4%	4
錦町	104	12.2%	5
無回答	12	1.4%	



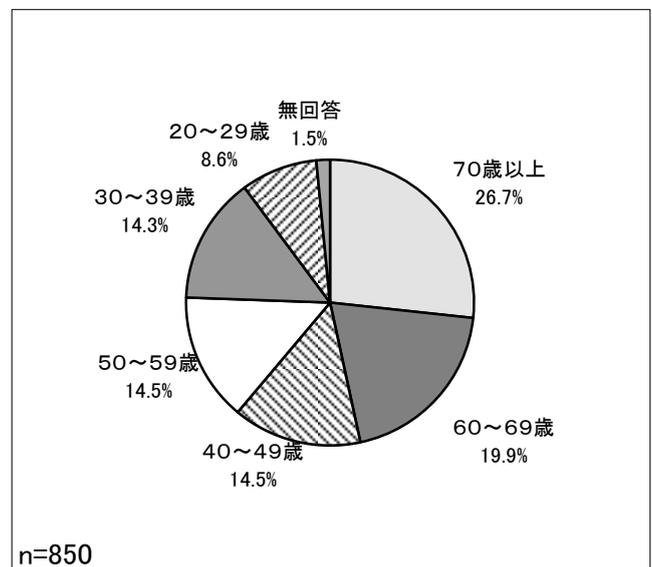
## イ. 性別

回答対象者:850人	件数	割合
男	335	39.4%
女	466	54.8%
無回答	49	5.8%



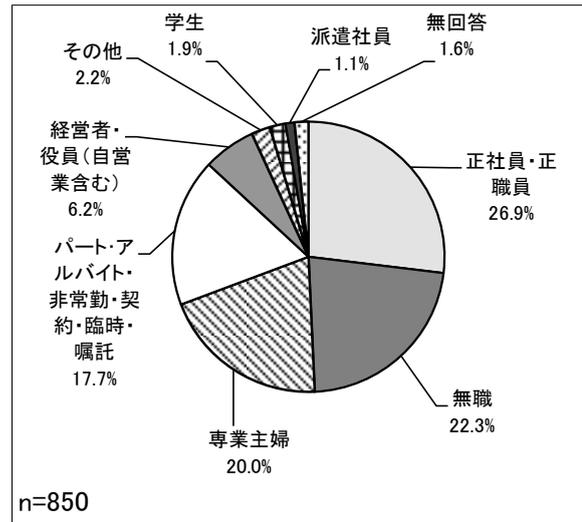
## ウ. 年齢層

回答対象者:850人	件数	割合	順位
70歳以上	227	26.7%	1
60~69歳	169	19.9%	2
40~49歳	123	14.5%	3
50~59歳	123	14.5%	3
30~39歳	122	14.3%	5
20~29歳	73	8.6%	6
無回答	13	1.5%	



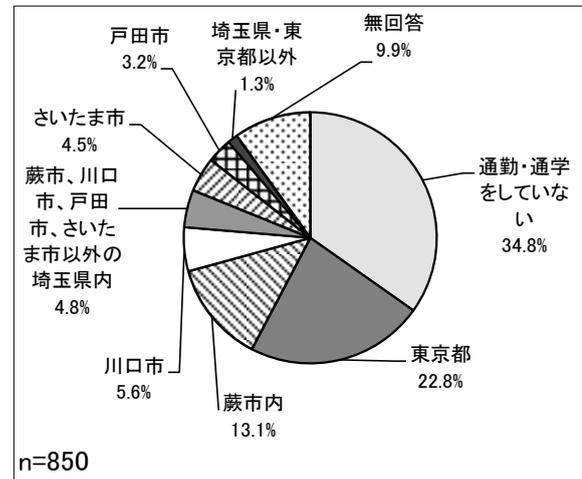
## 工. 職業

回答対象者:850人	件数	割合	順位
正社員・正職員	229	26.9%	1
無職	190	22.4%	2
専業主婦	170	20.0%	3
パート・アルバイト・非常勤・契約・臨時・嘱託	150	17.7%	4
経営者・役員(自営業含む)	53	6.2%	5
その他	19	2.2%	6
学生	16	1.9%	7
派遣社員	9	1.1%	8
無回答	14	1.6%	



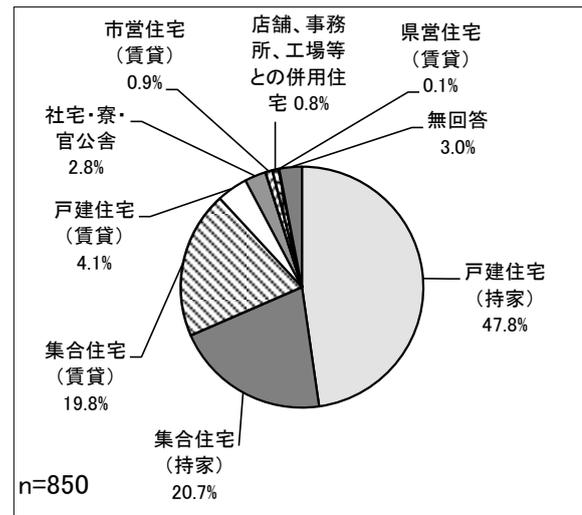
## オ. 通勤・通学地

回答対象者:850人	件数	割合	順位
通勤・通学をしていない	296	34.8%	1
東京都	194	22.8%	2
蕨市内	111	13.1%	3
川口市	48	5.6%	4
蕨市、川口市、戸田市、さいたま市以外の埼玉県内	41	4.8%	5
さいたま市	38	4.5%	6
戸田市	27	3.2%	7
埼玉県・東京都以外	11	1.3%	8
無回答	84	9.9%	



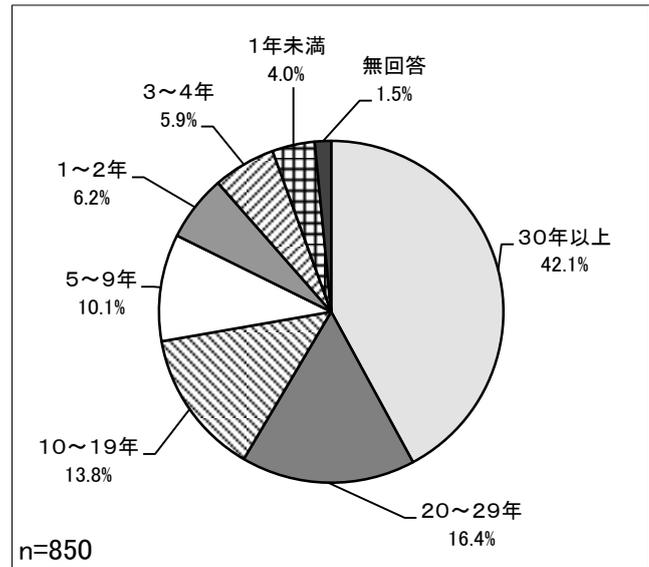
## カ. 住宅形態

回答対象者:850人	件数	割合	順位
戸建住宅(持家)	406	47.8%	1
集合住宅(持家)	176	20.7%	2
集合住宅(賃貸)	168	19.8%	3
戸建住宅(賃貸)	35	4.1%	4
社宅・寮・官公舎	24	2.8%	5
市営住宅(賃貸)	8	0.9%	6
店舗、事務所、工場等との併用住宅	7	0.8%	7
県営住宅(賃貸)	1	0.1%	8
無回答	25	3.0%	



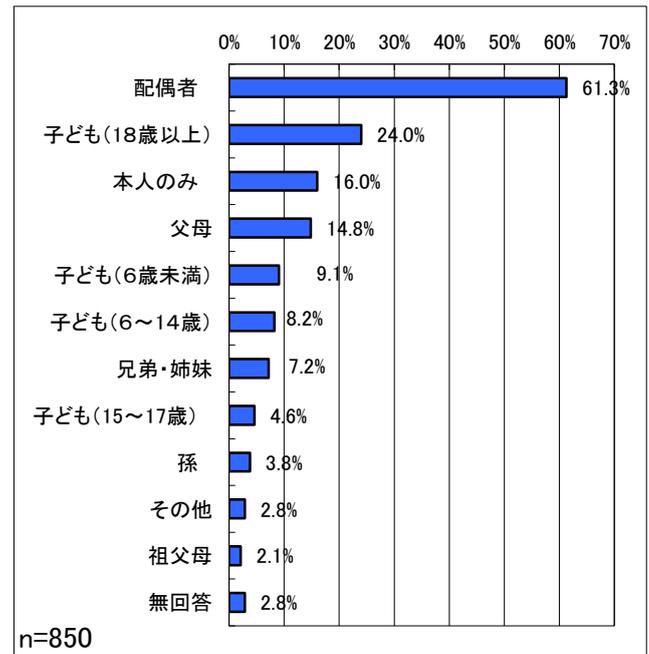
### キ. 居住年数

回答対象者:850人	件数	割合	順位
30年以上	358	42.1%	1
20~29年	139	16.4%	2
10~19年	117	13.8%	3
5~9年	86	10.1%	4
1~2年	53	6.2%	5
3~4年	50	5.9%	6
1年未満	34	4.0%	7
無回答	13	1.5%	



### ク. 家族構成

回答対象者:850人	件数	割合	順位
配偶者	521	61.3%	1
子ども(18歳以上)	204	24.0%	2
本人のみ	136	16.0%	3
父母	126	14.8%	4
子ども(6歳未満)	77	9.1%	5
子ども(6~14歳)	70	8.2%	6
兄弟・姉妹	61	7.2%	7
子ども(15~17歳)	39	4.6%	8
孫	32	3.8%	9
その他	24	2.8%	10
祖父母	18	2.1%	11
無回答	24	2.8%	



# 平成27年度市民意識調査報告書

平成27年11月発行

発行 蕨市

編集 蕨市総務部政策企画室

〒335-8501 蕨市中央5-14-15

電話 048-433-7698

E-Mail [seisaku@city.warabi.saitama.jp](mailto:seisaku@city.warabi.saitama.jp)